

北海道立埋蔵文化財センター 重要遺跡確認調査報告書

第11集

岩内町 東 山 1 遺 跡
湧別町 シブノツナイ竪穴住居群

平成27年度
北海道立埋蔵文化財センター

北海道立埋蔵文化財センター
重要遺跡確認調査報告書

第11集

岩内町 東 山 1 遺 跡
湧別町 シブノツナイ竪穴住居群

平成27年度
北海道立埋蔵文化財センター



1 岩内町東山1遺跡遠景（南西から）



2 岩内町東山1遺跡「史跡」地区西側段丘崖（南西から）



1 岩内町東山1遺跡「史跡」地区全景（東から）



2 岩内町東山1遺跡「第2地点」地区調査（北から）



1 湧別町シブノツナイ竪穴住居群遠景（左がオホーツク海、右がシブノツナイ湖 西から）



2 湧別町シブノツナイ竪穴住居群全景（東から）



1 残雪時の竪穴住居群（竪穴群中央部 西から）



2 残雪時の竪穴住居群（防風林内 東から）

例 言

- 1 本書は平成27年度に北海道立埋蔵文化財センター指定管理者 公益財団法人北海道埋蔵文化財センターが実施した重要遺跡確認調査の報告書（第11集）である。
- 2 本報告書では岩内町東山1遺跡、湧別町シブノツナイ竪穴住居群についての調査成果を所収した。
- 3 本書の執筆、編集は藤井浩（第1調査部普及活用課）が担当した。
- 4 写真撮影及び図版作成は吉田裕吏洋（第1調査部第1調査課）が行った。
- 5 基準点測量およびトータルステーションシステム、遺跡管理システムなど測量機材の借用については(株)シン技術コンサルに委託した。特に、現地では作業員への機材操作指導などの協力も得た。
- 6 本報告書は年次報告の性格上、整理途中の成果報告を含むため、前年度報告に誤りや変更等がある場合については本報告にあらためて訂正し掲載、報告した。
- 7 調査・報告にあたり、下記の諸機関及び各位のご指導・ご協力をいただいた（順不同・敬称略）。

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

北海道大学 小杉 康

岩内町教育委員会 中村輝幸 川上清輝

岩内町郷土館 坂井弘治 枝元るみ

湧別町教育委員会 牧野裕司 岡崎公俊 梅津茂樹 中島一之 林 勇介

湧別町農業協同組合 内山裕行

岩内町東山保育園 本庄 博

職業訓練法人 岩内地域人材開発センター

目 次

口絵

例言

目次

I 重要遺跡確認調査について	1
1 重要遺跡確認調査	1
2 今年度の調査について	1
II 岩内町東山1遺跡の調査	3
1 調査の概要	3
(1) 調査要項	3
(2) 調査の経緯	3
(3) 調査体制	3
(4) 調査の経過	4
2 遺跡周辺の環境	4
3 発掘調査	6
(1) 調査の方法	6
(2) 基本土層	8
(3) 「史跡」地区の状況	8
(4) 「第2地点」地区の状況	13
(5) 出土遺物の概要	17
i 「史跡」地区出土遺物	
ii 「第2地点」地区出土遺物	
iii 「東山15、16-1・2番地」地区（平成26年度調査）出土遺物	
4 関連資料調査	21
(1) 調査の概要	21
(2) 道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」の調査	21
(3) 昭和33年発行「岩内遺跡」掲載資料との関連	21
5 調査成果と課題	22
III 湧別町シブノツナイ竪穴住居群の調査	30
1 調査の概要	30
(1) 調査要項	30
(2) 調査の経緯	30
(3) 調査体制	30
(4) 調査の経過	32
2 遺跡周辺の環境	32
(1) 遺跡の立地	32
(2) 窪みで残る大規模な竪穴群の分布について	32

3 測量調査	34
(1) 調査の方法	34
(2) 測量調査の成果	34
4 調査成果と課題	38
写真図版	45
報告書抄録	81

挿図目次

図Ⅰ-1 国、道指定史跡の位置と重要遺跡確認 調査対象遺跡	1
図Ⅱ-1 遺跡の位置と周辺地形	5
図Ⅱ-2 調査対象地区位置図	7
図Ⅱ-3 「史跡」地区発掘区設定図	10
図Ⅱ-4 トレンチ土層断面図	11
図Ⅱ-5 テストピット土層断面図	12
図Ⅱ-6 「第2地点」地区発掘区設定図	14
図Ⅱ-7 トレンチ調査成果図	15
図Ⅱ-8 トレンチ土層断面図	16
図Ⅱ-9 「東山15、16-1・2番地」地区発掘調 査成果図	18
図Ⅱ-10 盛土遺構の堆積（発掘区1）	19
図Ⅱ-11 東山1遺跡調査成果概要図	24
図Ⅲ-1 遺跡の位置と道指定史跡範囲	31
図Ⅲ-2 窪みで残る竪穴群の位置	33
図Ⅲ-3 シブノツナイ竪穴住居群 竪穴分布図	35
図Ⅲ-4 シブノツナイ竪穴住居群 竪穴群詳細 測量図	37

表目次

表Ⅰ-1 重要遺跡確認調査概要一覧	2
表Ⅱ-1 「史跡」地区トレンチ、テストピット 調査一覧	9
表Ⅱ-2 出土遺物一覧	19
表Ⅱ-3 道指定有形文化財一覧	25
表Ⅱ-4 道指定有形文化財詳細内容一覧	26
表Ⅲ-1 窪みで残る竪穴群一覧（国、道指定史 跡を中心に）	33
表Ⅲ-2 確認竪穴一覧	39

写真図版目次

口絵1	1 岩内町東山1遺跡遠景
	2 岩内町東山1遺跡「史跡」地区 西側段丘崖
口絵2	1 岩内町東山1遺跡「史跡」地区 全景
	2 岩内町東山1遺跡「第2地点」 地区調査
口絵3	1 湧別町シブノツナイ竪穴住居群 遠景
	2 湧別町シブノツナイ竪穴住居群 全景
口絵4	1 残雪時の竪穴住居群
	2 残雪時の竪穴住居群
図版Ⅱ-1	東山1遺跡の立地環境
	1 遺跡遠景
	2 「史跡」地区西側段丘崖
図版Ⅱ-2	東山1遺跡 「史跡」地区全景
	1 東から 2 西から
図版Ⅱ-3	「史跡」地区トレンチ調査(1)
	1 トレンチ2 調査状況
	2 トレンチ5 調査状況
	3 トレンチ3 調査状況
	4 トレンチ1
図版Ⅱ-4	「史跡」地区トレンチ調査(2)
	1 トレンチ2 2 トレンチ3
	3 トレンチ4 4 トレンチ5
図版Ⅱ-5	「史跡」地区テストピット調査
	1 テストピット1
	2 テストピット3
	3 テストピット2
	4 テストピット2土層断面
	5 テストピット4
	6 テストピット5

図版Ⅱ-6 「第2地点」地区トレンチ調査(1)

- 1 調査前状況
- 2 トレンチ調査状況
- 3 トレンチ完掘状況
- 4 トレンチ北側完掘状況

図版Ⅱ-7 「第2地点」地区トレンチ調査(2)

- 1 盛土遺構遺物出土状況
- 2 トレンチ北側完掘状況
- 3 トレンチ北側遺構確認状況
- 4 トレンチ南側完掘状況

図版Ⅱ-8 「第2地点」地区トレンチ土層断面

- 1 トレンチ北側盛土遺構土層断面
- 2 トレンチ中央旧調査部土層断面
- 3 トレンチ南側盛土遺構土層断面

図版Ⅱ-9 現状復元作業状況

- 1 「史跡」地区
- 2 「史跡」地区作業状況
- 3 「第2地点」地区作業状況
- 4 「第2地点」地区トレンチ1

図版Ⅱ-10 道指定有形文化財(1)土器

図版Ⅱ-11 道指定有形文化財(2)土器

図版Ⅱ-12 道指定有形文化財(3)土器

図版Ⅱ-13 道指定有形文化財(4)土器、土・石製品

図版Ⅱ-14 道指定有形文化財(5)石器

図版Ⅱ-15 道指定有形文化財(6)石器

図版Ⅱ-16 道指定有形文化財(7)石器

図版Ⅱ-17 道指定有形文化財(8)石器

図版Ⅱ-18 道指定有形文化財(9)石器

図版Ⅱ-19 道指定有形文化財(10)石器

図版Ⅱ-20 道指定有形文化財(11)石器

図版Ⅱ-21 道指定有形文化財(12)石器

図版Ⅱ-22 道指定有形文化財(13)石器

図版Ⅱ-23 道指定有形文化財(14)石器、
昭和31・32年調査状況（岩内町教委
所蔵）

図版Ⅲ-1 シブノツナイ堅穴住居群の立地環境

- 1 オホーツク海とシブノツナイ堅
穴住居群
- 2 シブノツナイ湖

図版Ⅲ-2 堅穴群の概況(1)

- 1 堅穴群東縁
- 2 堅穴群北東縁

図版Ⅲ-3 堅穴群の概況(2)

- 1 堅穴群中央部東寄り
- 2 堅穴群中央部西寄り

図版Ⅲ-4 堅穴群の概況(3)

- 1 堅穴群南西部防風林内の状況
- 2 堅穴群西側段丘縁の状況

図版Ⅲ-5 堅穴群の状況(1)

- 1 第8号（中型）堅穴周辺の堅穴
群（堅穴群東端部分）
- 2 第21号（大型）堅穴周辺の堅穴
群（堅穴群東部分）

図版Ⅲ-6 堅穴群の状況(2)

- 1 第121号（特大型）堅穴周辺の
堅穴群（堅穴群東部分）
- 2 第105号（大型）堅穴周辺の堅
穴群（堅穴群北東部分）

図版Ⅲ-7 堅穴群の状況(3)

- 1 第144号（特大型）堅穴周辺の
堅穴群（堅穴群中央部分）
- 2 第189号（大型）堅穴周辺の堅
穴群（堅穴群北部分）

図版Ⅲ-8 堅穴群の状況(4)

- 1 第177号（特大型）堅穴周辺の
堅穴群（堅穴群北東部分）
- 2 第268号（大型）堅穴周辺の堅
穴群（堅穴群西部分）

図版Ⅲ-9 残雪時の堅穴群

- 1 堅穴群西部
- 2 堅穴群西部

図版Ⅲ-10 残雪時及び台風直後の堅穴群

- 1 残雪時の堅穴（堅穴群西部）
- 2 台風直後の堅穴（堅穴群北東部）

図版Ⅲ-11 測量調査の状況

- 1 詳細測量の状況
- 2 放牧時の状況

I 重要遺跡確認調査について

1 重要遺跡確認調査（表 I - 1）

北海道立埋蔵文化財センターは、北海道教育委員会（以下、道教委）が北海道史をたどる上で重要とした遺跡の重要遺跡確認調査を行ってきた。平成12年度の小樽市・余市町の西崎山ストーンサークルに始まり、現在に至る調査成果の概要を表 I - 1 にまとめた。平成26年度からは岩内町東山1 遺跡（道指定史跡「岩内東山円筒文化遺跡」）と湧別町シブノツナイ堅穴住居群（道指定史跡「シブノツナイ堅穴住居跡」）の調査に着手した。特に東山1 遺跡の調査では、縄文時代前期後半から中期前半にかけての盛土遺構を中心に、堅穴住居群や墓坑の可能性のある土坑群の存在を明らかにした。

2 今年度の調査について

昨年度に続き、本年度も岩内町東山1 遺跡及び湧別町シブノツナイ堅穴住居群、2か所の遺跡を調査対象とした。調査の具体的な内容は道教委による「平成26～29年度重要遺跡確認調査実施要領」に基づき、道教委、岩内町及び湧別町教育委員会との打ち合わせを経て計画した。

東山1 遺跡については道指定史跡範囲等を対象とした発掘調査、シブノツナイ堅穴住居群については測量調査を行った。

本報告書（重要遺跡確認調査報告書第11集）は、今年度の東山1 遺跡での発掘調査と、道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」についての資料調査の成果、シブノツナイ堅穴住居群での測量成果をまとめた。

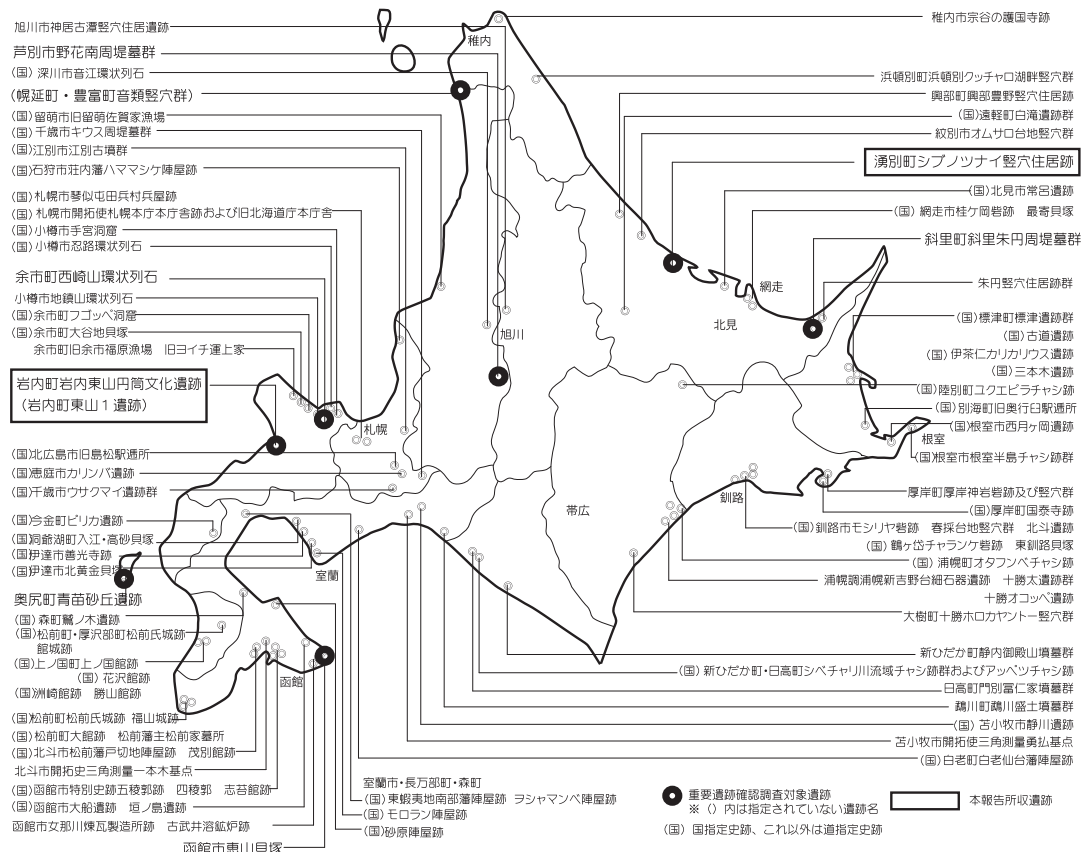


図 I - 1 国、道指定史跡の位置と重要遺跡確認調査対象遺跡

表 I - 1 重要遺跡確認調査概要一覧

年度	対象遺跡	登録番号	所在地	種別	主な調査方法	調査面積	主な時期	主な遺構	主な出土遺物	掲載報告書
平成12年度	小樽市 余市町 西崎山 ストーン サークル	01203- D-01-64 (小樽市) 01408- D-19-04 (余市町)	小樽市蘭島 余市町栄町	配石 遺構	発掘調査	140㎡	縄文時代 後期	配石遺構	縄文時代後期、晩 期の土器、黒曜石 の剥片	重要遺跡確 認調査報告 書 第1集
平成13年度	奥尻町 青苗砂丘 遺跡	01367- C-07-04	奥尻郡奥尻町 字青苗364・ 368番地	集落跡	発掘調査	90㎡	オホーツク 文化期 擦文文化期	住居跡1軒 土壇1基 貝塚1か所 焼土3か所	オホーツク式土器、 土師器 石器、 石製品 金属製品 骨角器 自然遺物	重要遺跡確 認調査報告 書 第2集
平成14年度		01367- C-07-04	奥尻郡奥尻町 字青苗364・ 368番地	集落跡	発掘調査	90㎡	オホーツク 文化期 擦文文化期	住居跡4軒 墓2か所 貝塚1か所	恵山式土器 オホーツク式土器 土師器及び擦文土器 石器類など石製品 骨角製品、金属製 品、自然遺物	重要遺跡確 認調査報告 書 第3集
平成15年度	函館市 恵山貝塚	01202- B-10-35	函館市字恵山 308番地の1 ほか	貝塚	発掘調査	97㎡	統縄文時代 前半	堅穴式建物の可 能性のあるもの 6か所 墓の可能性のある もの4か所 遺構覆土中に形 成された魚骨層 を2か所で確認	土器、石器、骨角器	重要遺跡確 認調査報告 書 第4集
平成16年度			函館市字恵山 308番地の2 ほか	貝塚	発掘調査	169㎡	統縄文時代 前半	盛土遺構(統縄 文時代のもので、 厚さは1mを超 える) 堅穴住居跡1か所 土壇2か所 集積1か所 焼土	土器、石器、 骨角製品	重要遺跡確 認調査報告 書 第5集
平成17年度	幌延町・ 豊富町音類 堅穴群	01488(幌 延町)～ 01510(豊 富町)～ G-09-01	天塩郡幌延町 字浜里188 ほか 国有林174～ 175林班	集落跡	測量調査 踏査	約6km ²	擦文文化期 アイヌ文化 期	堅穴状の窪み 796か所 チャシ跡3か所	踏査のため出土遺 物はなし。	重要遺跡確 認調査報告 書 第6集
平成18年度										重要遺跡確 認調査報告 書 第7集
平成19年度										
平成20年度										
平成21年度	斜里町 斜里朱門周 堤墓群	01545- I-08-38	斜里郡斜里町 朱門西76番地 1	墳墓	発掘調査	210㎡ (トレンチ 調査面積)	縄文時代 後期	周堤墓2基 (A号、B号)	縄文土器片 ※昭和23、24年度 調査時の出土遺物 の資料化を行う	重要遺跡確 認調査報告 書 第8集
平成22年度										
平成23年度	芦別市 野花南 周堤墓群	01216- E-04-21	芦別市野花南 町3256、3257	墳墓	発掘調査	86.5㎡ (トレンチ 調査面積)	縄文時代 後期	周堤墓2基 (1号、2号)	縄文時代後期から 晩期土器片、黒曜 石石器類	重要遺跡確 認調査報告 書 第9集
平成24年度										
平成25年度	岩内町 東山1遺跡	01402- D-13-01	岩内郡岩内町 東山15、16-1・ 2番地	集落跡	発掘調査	600㎡ (トレンチ 調査等面 積)	縄文時代 前期 縄文時代 中期	盛土遺構1 堅穴住居跡4 土坑13 柱穴状ビット7 焼土12 (表面確認分を含む)	縄文土器片 (前期から中期) 石器類 (礫石器を主とする)	重要遺跡確 認調査報告 書 第10集
平成26年度			北海道湧別群 湧別町川西 499-1、499-2 930 722-1 722-2 722-3 720 719 503 502-1,2 714 717 718	集落跡	踏査	139486㎡ (史跡指定 範囲及び 測量範囲)	擦文文化期	堅穴状の窪み 665か所 ※文献資料による。	なし	
平成27年度	岩内町 東山1遺跡 (道指定史跡 岩内東山円 筒文化遺跡 を含む)	01402- D-13-01	岩内郡岩内町 東山2番地1・ 14番地1	集落跡	発掘調査	60㎡ (トレンチ 調査等面 積)	縄文時代 前期 縄文時代 中期	盛土遺構1 土坑6 (いずれも14番 地1)	縄文土器片 (前期から中期) 石器類 (礫石器を主とす る)	重要遺跡確 認調査報告 書 第11集 (本報告書)
	湧別町 シブノツナイ 堅穴住居群 (道指定史跡 シブノツナイ 堅穴住居跡)	01559- I-21-35	北海道湧別群 湧別町川西 499-1、499-2 930 722-1 722-2 722-3 720 719 503 502-1,2 714 717 718	集落跡	測量調査	139486㎡ (史跡指定 範囲及び 測量範囲)	統縄文時代 擦文文化期 オホーツク 文化期	大小様々な堅穴 状の窪み435か 所を確認し、位 置を計測。この うち139か所の詳 細測量を行った。	なし	

Ⅱ 岩内町東山1遺跡の調査

1 調査の概要

(1) 調査要項

調 査 名 称 重要遺跡確認調査

調 査 対 象 岩内町東山1遺跡（埋蔵文化財包蔵地登録番号 D-13-01）
北海道指定史跡「岩内東山円筒文化遺跡」（昭和43年3月29日指定）

所 在 地 岩内町字東山2番地1（「道指定史跡（以下、史跡）」地区）
岩内町字東山14番地1（「第2地点」地区）

対 象 面 積 「史跡」地区 3,171.2㎡（史跡指定範囲）
「第2地点」地区 565.32㎡

（発掘調査）

発 掘 期 間 平成27年7月23日（水）から8月7日（金）まで

発 掘 面 積 60㎡（「史跡」地区 45㎡、「第2地点」地区 15㎡）

（関連資料調査）

調 査 内 容 道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」についての調査

資 料 収 蔵 機 関 岩内町教育委員会（岩内町郷土館）

(2) 調査の経緯

本遺跡の調査は、昭和31年、32年に大場利夫、桐井力蔵を担当者とする岩内町教育委員会（以下、町教委）によって最初に行われ、その成果は昭和33年9月に報告書『岩内遺跡』にまとめられた。

この成果を受け、昭和43年に遺跡は「岩内東山円筒文化遺跡」として道指定史跡に、出土遺物は「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」として道の有形文化財に指定された。

その後、史跡を範囲に含む東山1遺跡において行なわれた、町道の改良や東山団地の除却工事、斎場建設などに伴う調査により、遺跡の範囲や様相が少しずつ明らかになってきた。平成13～15年度に行われた町道改良に伴う町教委による発掘調査では、集落跡、墓域、盛土遺構（報告書では捨場遺構と呼称）の存在を明らかにされた。

平成26年度にはじまる重要遺跡確認調査では、まず東山15、16-1・2番地内を対象とした発掘調査を行った。ここでは縄文時代前期から中期にかけての盛土遺構の一部や竪穴住居跡、土坑などの遺構と数多くの遺物を確認した。今年度の調査は、遺跡の北側に当たる2番地1（「史跡」地区）と南側の14番地1（「第2地点」地区）を対象とし、より広範な遺跡の様相を確認することを目的とした。

(3) 調査体制

北海道立埋蔵文化財センター指定管理者 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター

理 事 長 越田賢一郎

副 理 事 長 中田 仁

事 務 局 長 山田 寿雄

常 務 理 事 長沼 孝

総務部	部長 和田 基興
第1調査部	部長 長沼 孝
普及活用課	課長 鎌田 望（発掘担当者）
	主査 藤井 浩（発掘担当者）
第1調査課	主査 吉田裕吏洋

(4) 調査の経過

【発掘調査】

本調査は「平成26～29年度重要遺跡確認調査実施要領」に基づき、平成27年5月19日（火）に道教委文化財・博物館課、6月17日（水）に町教委との打ち合わせを経て計画したものである。

本調査に先行して(株)シン技術コンサルに委託した基準点測量と発掘区の設定が平成27年7月21日（火）、22日（水）に行われた。

発掘調査は平成27年7月23日（木）に着手した。3名の調査員と3名の作業員により足掛け3週間、延べ12日間にわたって作業を行い、8月7日（金）に現地での作業を終了した。期間内には北海道大学 小杉康教授、道教委文化財・博物館課 西脇対名夫主幹、中田裕香主任の視察があり、調査指導を受けた。

遺跡北側に位置する2番地1（「史跡」地区）では、7月23日（木）からトレンチとテストピットによる試掘調査を行った。除草から地表面の精査を経て掘削を行った。14番地1（「第2地点」地区）では7月29日（水）にトレンチ調査に着手した。数多くの遺物が出土したため、幅の狭いトレンチでの調査は困難を伴ったが8月7日（金）には両地区ともに埋め戻しを行い、現状に復した。

【関連資料調査】

昨年度に得られた資料を基に、道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」（以下、指定文化財）についての確認調査を開始した。指定文化財は岩内町郷土館収蔵庫（岩内町清住）内にて保管されており、その一部が郷土館の常設展示に展示されている。

平成27年6月17日（水）と現地発掘調査期間中に、遺物に注記された整理番号と登録台帳とを照らしつつ、確認作業用の写真撮影を行った。これを基に現状変更申請を行い、許可後の平成27年12月18日（金）に北海道立埋蔵文化財センターへと移動、計測や写真撮影などの資料化作業を開始した。

2 遺跡周辺の環境（図Ⅱ－1）

【遺跡の位置】

東山1遺跡は岩内町の東部にあたる東山地区に位置する。周辺は岩内町の市街地にあたり、公営団地などが立ち並ぶ住宅街である。遺跡は標高20～30mの海岸段丘上に立地する。この海岸段丘は東山地区を中心に北東から南西に弧を描くように延び、日本海側の海岸低地に面している。

【周辺の遺跡と立地の関係】

岩内町内では東山1遺跡を含めて12か所の遺跡が埋蔵文化財包蔵地として登録されている。

東山1遺跡近辺では、北側に隣接する東山5遺跡（縄文中・後期）は東山1遺跡から分離されて登録されたものである。南に接するのが東山2遺跡（縄文）である。

東山1遺跡の南側には栄1遺跡（縄文中・後期）、栄2遺跡（縄文中期）、東山3遺跡（縄文）、東山4遺跡（縄文）が同じ標高20mの段丘上に立地する。いずれもポニイワナイ川の谷を望む斜面に位置する。高台1、2、栄3遺跡（時期不明）もポニイワナイ川を望む標高10mの段丘面上に立地する。



図Ⅱ－1 遺跡の位置と周辺地形（国土地理院地形図「岩内」（1：25000）より作成したものである）

標高10mの段丘最西端に立地するのが全修寺遺跡（縄文）である。また、海岸砂丘低地内の大浜地区には大浜1遺跡（縄文）が確認されている。

東山1遺跡と同じ段丘に立地する共和町内の遺跡は梨野舞納段丘1遺跡（縄文前・中期）、同2遺跡（縄文）、同3遺跡（縄文、擦文）、同4遺跡（縄文）があり、標高30mの高さに位置する。段丘最北端の標高20mには上リヤムナイ遺跡（旧石器、縄文前・中・後期）が立地する。

【遺跡の範囲】（図Ⅱ－2）

現在の埋蔵文化財包蔵地の範囲は300m四方の範囲で、その現況は東山墓地の全域、東山公園の一部、東山団地跡地、宅地からなる。道指定史跡「岩内東山円筒文化遺跡」は遺跡内の北端に位置し、標高約26mから30m、北東から南西方向に緩やかに下る傾斜のある地形となっている。遺跡内に広がる東山墓地は明治23年に始まる墓地で、開発が及ばなかったため、その域内には起伏に富んだ本来の微地形が残っている。また、墓地の北側は比高差約20mの急崖となっているが、その崖際、現在の無線局（電波塔）の近辺に貝塚と思われる場所があったとの情報もある（註）。いずれも遺跡の様相を知るうえでの重要な手掛かりになるとと思われる。

（註）道教委文化財・博物館課 西脇対名夫主幹からの情報提供による。岩内町文化財保護審議会副会長 阿部鎮夫氏からの聞き取りにより明らかになった。

3 発掘調査

（1）調査の方法

【調査対象と範囲】（図Ⅱ－2）

調査は東山2番地1（道指定史跡範囲、町有地）と東山14番地1（町有地）を対象として行った。各対象地については東山2番地1を「史跡」地区、東山14番地1を「第2地点」地区と呼称した。

「史跡」地区は東山1遺跡包蔵地範囲のうち、道指定史跡「岩内東山円筒文化遺跡」の範囲に相当する。長軸約80m、最大幅50mの範囲で、面積は3,171.2㎡である。東山1遺跡内の最北端に位置し、昭和31年調査時の第1地点はこの範囲内にあるとも言われている。指定範囲は登録時の図面上では16か所の境界標で区画されているが、現地では確認出来なかった。また、史跡範囲の北東端には「北海道指定史跡 岩内東山円筒文化遺跡」の石碑がある。

「第2地点」地区は昭和32年調査時の第2地点にあたる場所とされている。東山1遺跡の南に位置し、奥行き30m、幅22mで、面積は565.32㎡である。町有地ではあるが、敷地範囲を示す境界標等を確認できなかった。北側の町道に面して「東山遺跡」の由来案内板が建てられている。

【土工】

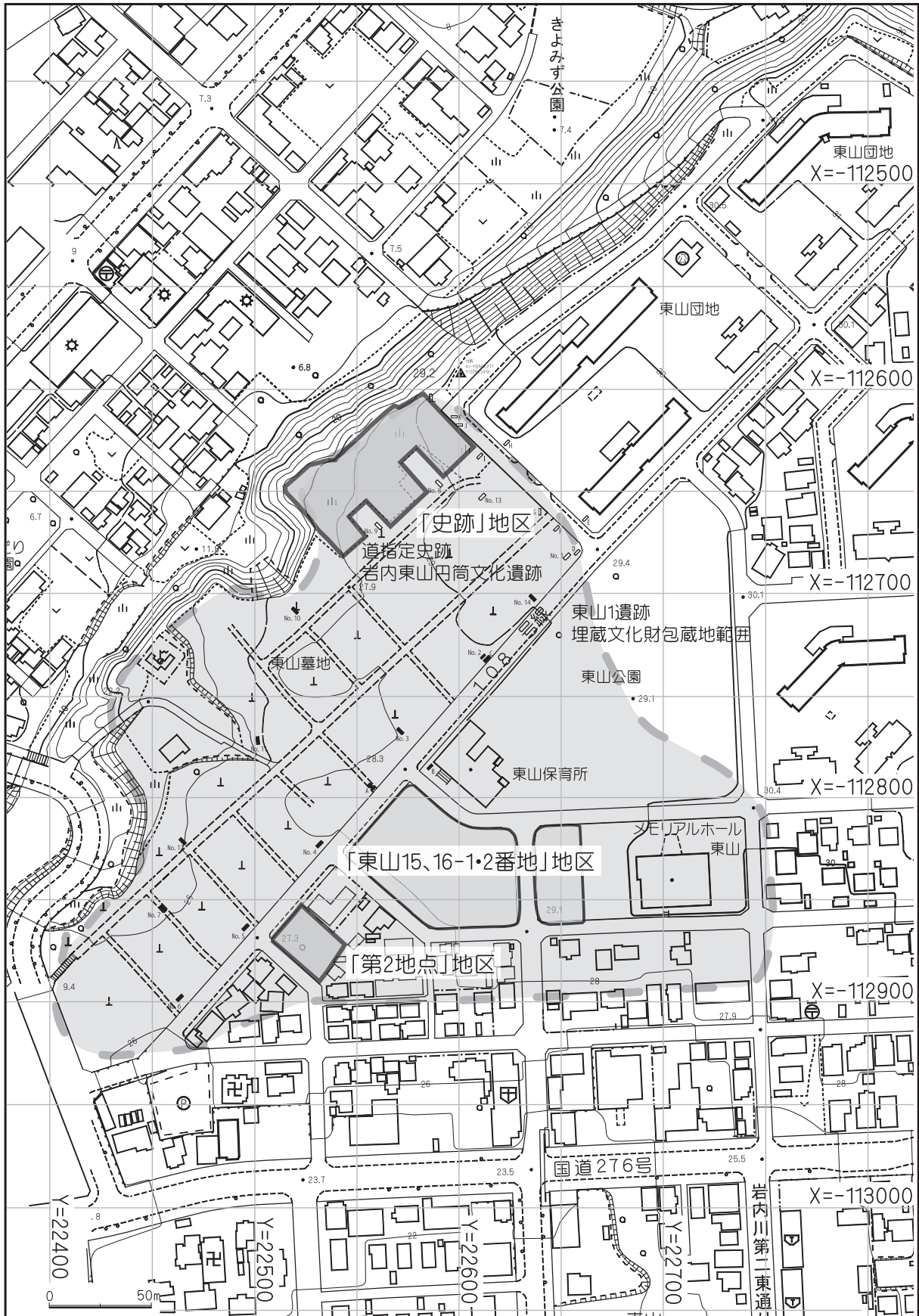
両地区ともに、掘削の範囲を設定したのち、雑草の除去及び精査を行って地表面の状況を確認した。掘り下げは表層土のみスコップを用い、その後、移植ゴテ、ネジリ鎌によって慎重に行った。排土については後の埋め戻しを考慮して、すべてポリエチレン製土嚢袋に詰めて保管した。

埋め戻しは掘削部分すべて同様に行った。テストピット、トレンチの底面および壁面をポリエチレン製土嚢袋で覆い養生し、今後の調査に備えて今回の掘削範囲及び深さを示すよう配慮した。

【測量】

測量作業は、基準点測量や図化などを㈱シン技術コンサルに委託し、調査結果の記録実測は現地調査員が行った。この測量作業により地区ごとに遺跡の現況平面図（1/1000）を作成するとともに（図Ⅱ－3、6、7）、平成26年度に行った現地測量の成果とを組み合わせた作図も行った（図Ⅱ－8）。

基準点は昨年度に設定した3級基準点（H26T1、H26T2）より、調査区周辺にH27T1（X＝



図Ⅱ－2 調査対象地区位置図（図の上が北を示す）

-112828.904 Y=22531.365)、H27T2 (X=-112754.898 Y=22596.001)、H27T3 (X=-112678.598 Y=22531.270)、H27T4 (X=-112611.776 Y=22593.465) の4級基準点を設置した(平面直角座標系X I系)。また、水準は昨年度設置の水準点(H26T2)からH27T1(26.963m)、H27T4(28.925m)に設置した。

史跡範囲及び調査範囲内には発掘調査のための測量基準杭を5カ所設置した。No1 (X=-112880.0 Y=22530.0 Z=27.331)、No2 (X=-112865.0 Y=22530.0 Z=27.420)、No3 (X=-112655.0 Y=22535.0 Z=26.175)、No4 (X=-112655.0 Y=22570.0 Z=27.259)、No5 (X=-112635.0 Y=22570.0 Z=27.113)である。

【現地撮影等】

現地での撮影には6×7判のカメラを主体にし、4×5判のカメラとデジタルカメラを用いた。

【出土品の収集】

出土品についてはトレンチ、テストピットなどを層位及び1m角グリッド毎に取り上げて収集した。遺構に伴う遺物や大型の礫については掘削の妨げにならない限り、現地保存とした。

(2) 基本土層

遺跡内における表層地質については『岩内町東山1遺跡Ⅱ』(2010)での区分に則し、以下の通り、記述に用いた。

0層	近現代の人為層	I層	漆黒色のシルト
Ⅱ層	黒色の粘土質シルト 砂混じり	Ⅲ層	黒褐色の粘土質シルト 砂混じり、遺物を含む
Ⅳ層	暗褐色砂混じり粘土質シルト	Ⅴ層	黄褐色砂混じり粘土質シルト(黄色粘土層)
Ⅵ層	褐色、灰色、橙色などの変化のある砂、砂質シルト、「岩内砂層」の上部にあたる		

調査時には遺跡内の地区毎に様々な変化が見られたため、個別に記載した。

特に遺跡の北側、海食崖に近い発掘区では、I層直下に上記区分にない黄褐色砂が見られたところがある。また、Ⅴ層の黄色粘土直上に橙褐色砂と灰褐色砂質シルトの堆積が見られた場所もあった。いずれも風成堆積の影響による砂丘堆積物と思われる。

(3) 「史跡」地区の状況(表Ⅱ-1)

【「史跡」地区の現況】

「史跡」地区は東山墓地から段丘際までの間の細長い範囲である。標高25~29m、東から西に下る比高差4mの緩斜面は、南の墓地寄りが旧耕作地で、北の段丘際が笹藪と林地となっている。史跡指定地範囲を示すものはほとんどなく、一部墓地との境に設けられたフェンスのみである。

【「史跡」地区における調査】(図Ⅱ-3)

「史跡」地区においてはトレンチ5カ所、テストピット5カ所を設定して発掘調査を行った。テストピット、トレンチともに史跡範囲内の地形変化に配慮しつつ、公共座標に沿って設定した。

トレンチは5m×1mの範囲で長軸を東西に沿って設置した。トレンチ間の間隔は約20mである。範囲内の地表面の精査を行い、保存状態の良い側の土層観察面に沿って50cm幅を掘り下げた。

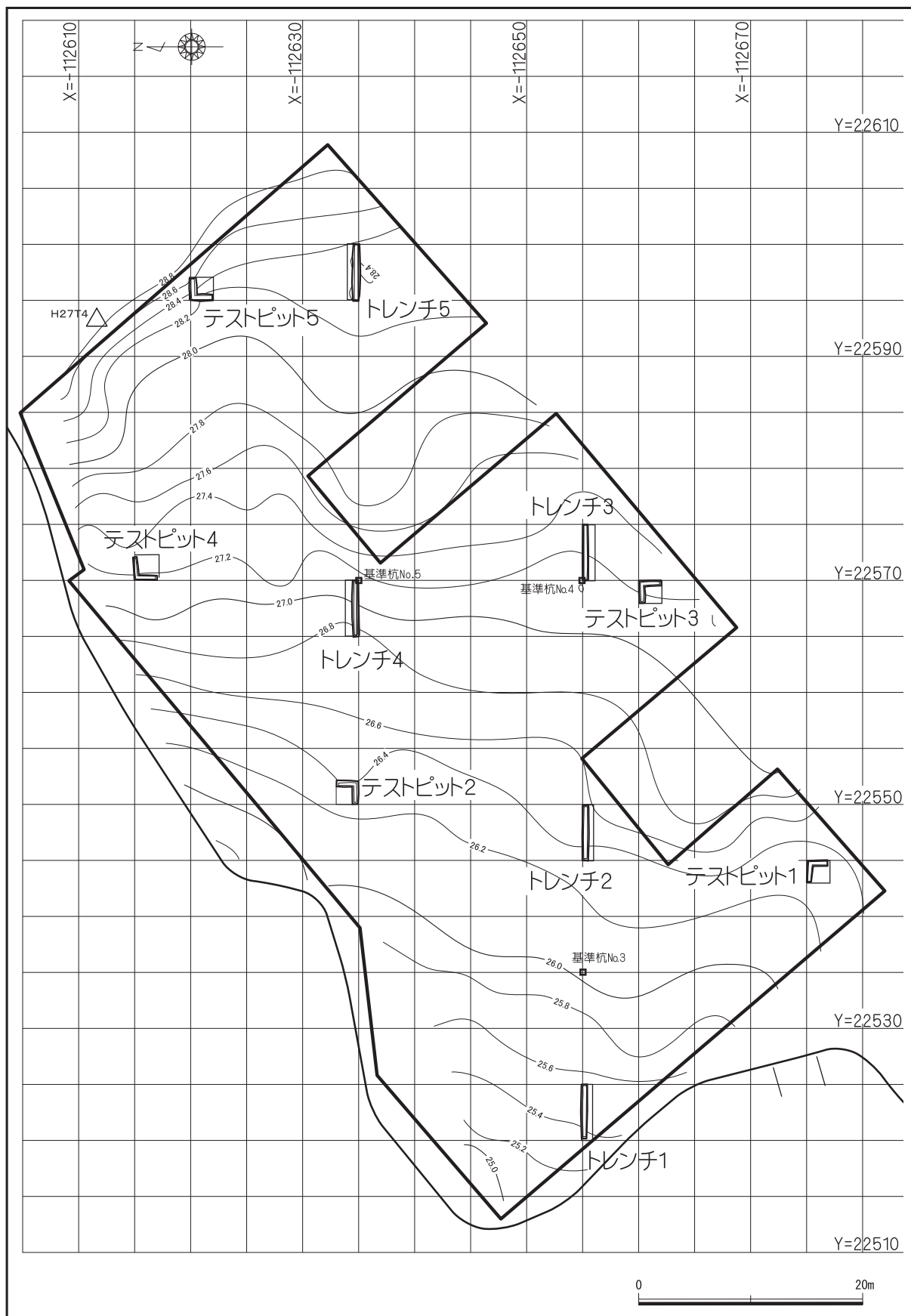
テストピットはトレンチ間を補うよう、5カ所に配置した。2m四方の正方形の範囲で地表面を精査し、保存状態の良い側の土層観察面に沿って50cm幅を掘り下げた。

【トレンチの状況】(図Ⅱ-4)

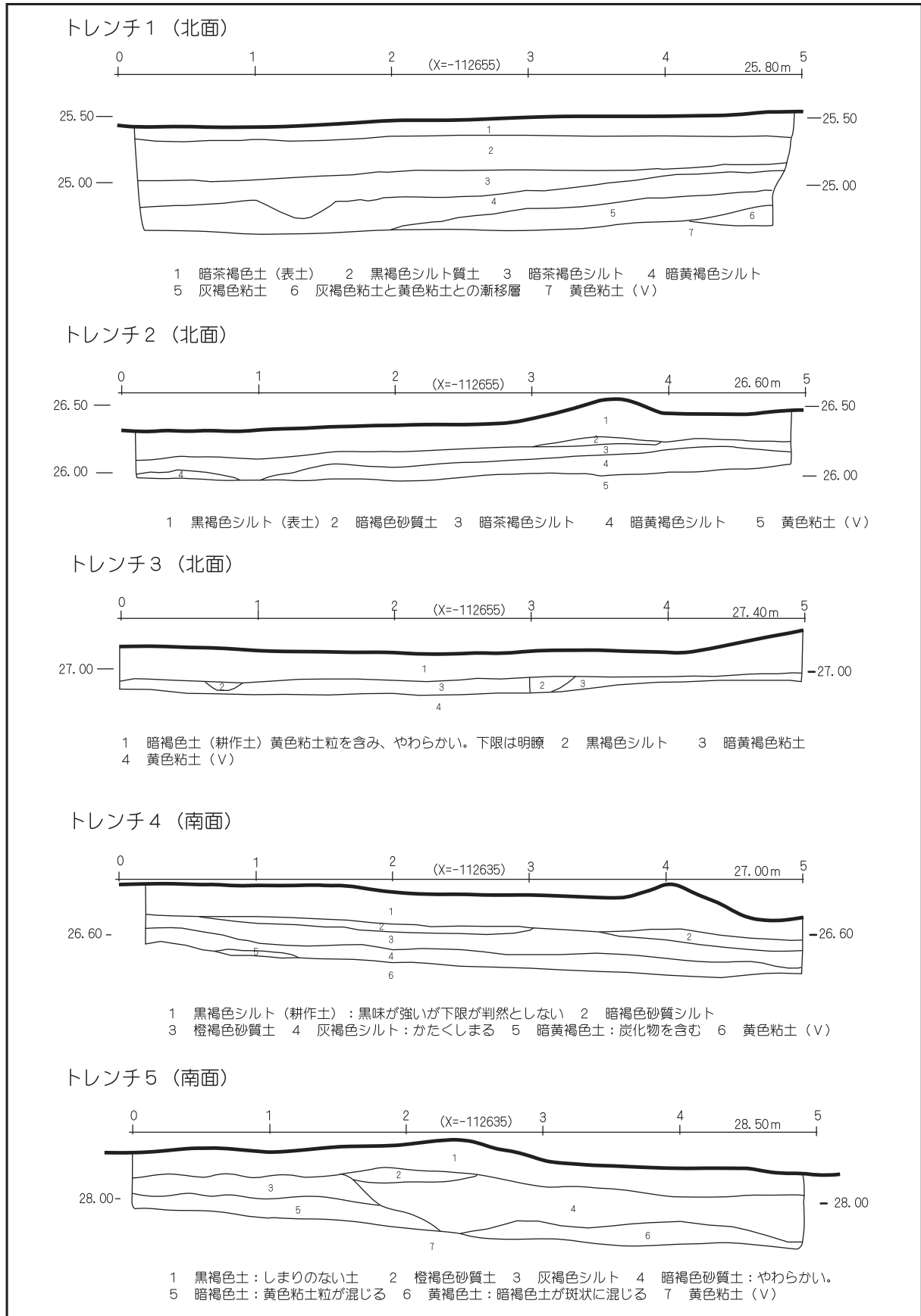
各トレンチの状況については表Ⅱ-1にまとめた。

表Ⅱ-1 「史跡」地区トレンチ、テストピット調査一覧

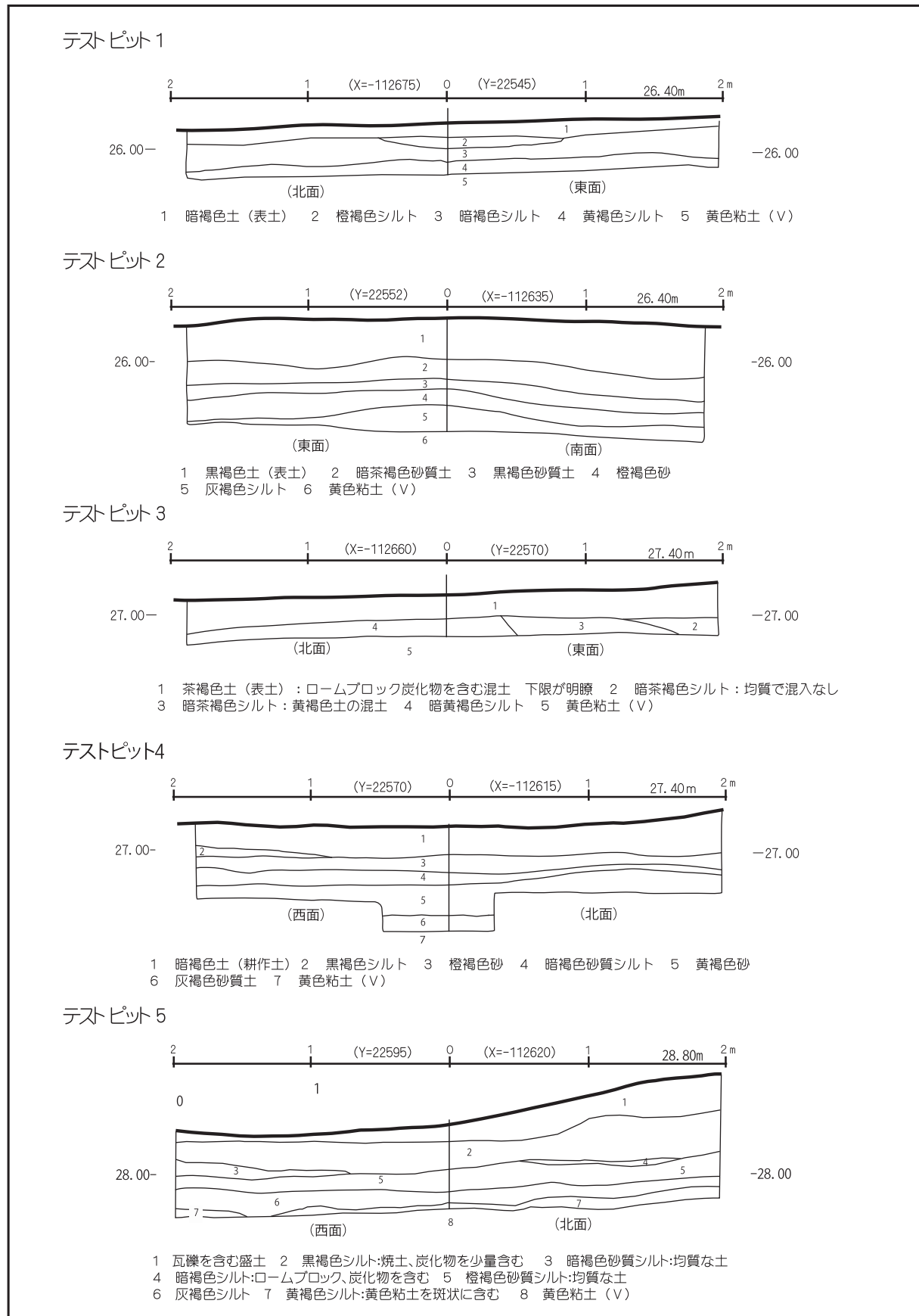
発掘区名称		位 置		現 況	観察記録 土層断面	地表面状態	底面状態	堆積状態	遺構、遺物
トレンチ	トレンチ 1	X--112655 ～112656 Y = 22520 ～22525	史跡範囲 最西端 西側崖	笹藪内 (標高25.4 ～25.5m)	北面	西に向かっ て緩やかに 下る	黄色粘土層 面で南に向 かってやや 下る	80cmほどの堆積 全体的に暗色 橙褐色砂層が見 られる	縄文中期 土器片 黒曜石製 フレイク
	トレンチ 2	X--112655 ～112656 Y = 22545 ～22550	史跡範囲 西側中央 緩斜面 草中	笹藪内 耕作時の 畝が残る (標高26.4 ～26.6m)	北面	北に向かっ て緩やかに 下る	黄色粘土層 面で平坦で ある	40cmほどの堆積 耕作土が厚い	なし
	トレンチ 3	X--112655 ～112656 Y = 22570 ～22575	史跡範囲 中央南側 緩斜面	旧耕作地 (標高27.1 ～27.3m)	北面	西に向かっ て緩やかに 下る	黄色粘土層 面で西に向 かってわず かに下がる	30cmほどの堆積 耕作土が主を占 める	小ピット状の 堆積が見られ るがはっきり しない
	トレンチ 4	X--112634 ～112635 Y = 22565 ～22570	史跡範囲 中央やや 東寄り	旧耕作地 耕作時の 畝が残る (標高26.8 ～27.2m)	南面	わずかに西 側を下る傾 斜がある	黄色粘土層 面で平坦で ある	60cmほどの堆積 砂丘堆積と思わ れる橙褐色砂質 層が見られる	なし
	トレンチ 5	X--112634 ～112635 Y = 22595 ～22600	史跡範囲 東側	旧耕作地 耕作時の 畝が残る (標高28.2 ～28.4m)	南面	東から西方 向に下る	黄色粘土層 面で地表同 様の傾斜で ある	60cmほどの堆積 砂丘堆積と思わ れる橙褐色砂質 層がわずかに見 られる	なし
テストピット	テスト ピット 1	X--112675 ～112677 Y = 22543 ～22545	史跡範囲 南西隅	南側東山墓 地に近接 旧耕作地 (標高 26.3m)	東面 北面	東から西方 向に下る	黄色粘土層 面で平坦で ある	35cmほどの堆積 砂丘堆積と考え られる橙褐色砂 質層がわずかに 残る	なし
	テスト ピット 2	X--112633 ～112635 Y = 22550 ～22552	史跡範囲 中央西寄り 北側崖付近	南側東山墓 地に近接 旧耕作地 (標高26.3 ～26.4m)	南面 西面	北に向かっ てわずかに 下る	地表面同様 の緩やかな 傾斜である	80cmほどの厚い 堆積 砂丘堆積と思わ れる層を確認。各 層が水平に堆積	なし
	テスト ピット 3	X--112660 ～112662 Y = 22568 ～22570	史跡範囲 中央南側 緩斜面	南側東山墓 地に近接 旧耕作地 (標高 27.2m)	北面 東面	平坦面	地表面と同 様に平坦で ある	40cmほどの堆積 ほとんどが表土 耕作土層にあた る	なし
	テスト ピット 4	X--112615 ～112617 Y = 22570 ～22572	史跡範囲 中央東寄り 北側崖付近	笹藪、 林の中 (標高27.2 ～27.3m)	北面 西面	平坦面	黄色粘土層 面の検出は 一部である	80cmほどの堆積 砂丘堆積と思わ れる橙褐色砂質 土層の堆積が見 られた	なし
	テスト ピット 5	X--112620 ～112622 Y = 22595 ～22597	史跡範囲 東側 緩斜面	旧耕作地 東側、街路 に近接 (標高28.2 ～28.6m)	北面 西面	西側に下る	平坦である。黄色粘 土層面がか たくしまる	60～80cmほどの 堆積 表土には道路砂 利が含まれる	なし



図Ⅱ－3 「史跡」地区発掘区設定図



図Ⅱ-4 トレンチ土層断面図



図Ⅱ-5 テストピット土層断面図

トレンチ5か所ともにすべて基盤とした黄色粘土層（Ⅴ層）まで掘り下げ、遺物、遺構の確認を行った。遺物についてはトレンチ1の黒褐色土層直上から出土が見られたが、遺構についてはすべてのトレンチにおいて確認されなかった。

各トレンチの堆積状況からは南の墓地側のトレンチ2、3において黄色粘土層より上層の堆積が薄く、基本土層の上層に当たる部分が大きく失われている可能性が考えられる。北側のトレンチ1、4と東側の5においては本来の土層堆積が保れているものと考えられた。1、4、5においては黄褐色～橙褐色の砂の堆積が見られ、これまでの調査でも指摘されてきた風成によるものと思われる。「史跡」地区内においてはこの風成層が基本土層を構成するものと思われる。

【テストピットの状況】（図Ⅱ－5）

各テストピットの状況については表Ⅱ－1にまとめた。

5か所のテストピットについても、すべて基盤とした黄色粘土層（Ⅴ層）まで掘り下げ、遺物、遺構の確認を行った。いずれにおいても遺構、遺物は発見されなかった。トレンチ同様に墓地側のテストピットは基本土層の上層に当たる部分が失われていたが、Ⅲ層の一部からⅣ層以下を確認することができた。北側のテストピット3、4においてはⅠ層以下が保存され、特に風成によると思われる砂質土も確認することができた。

（4）「第2地点」地区の状況

【「第2地点」地区の現況】（図Ⅱ－6）

「第2地点」地区は東山地区の住宅街の一角にあたる。町有地として遺跡が保護されており、住宅街にあって木々の生い茂る環境となっている。周囲は、北西から南西にかけて街路に面し、北東から南東にかけて住宅地と接している。中でも北西側は平成13～15年に調査の行われた町道108号線に面し、特に縄文時代前期から中期にかけての盛土遺構（捨場遺構）が確認された地点と近接している。

敷地内は概ね平坦であるが、中央部には長軸8m、短軸5m、深さ約40～50cmの楕円形をした窪みが残されている。昭和32年調査時に掘られた部分が残ったものと思われるが、詳細は明らかではない。

【トレンチの状況】（図Ⅱ－7、8）

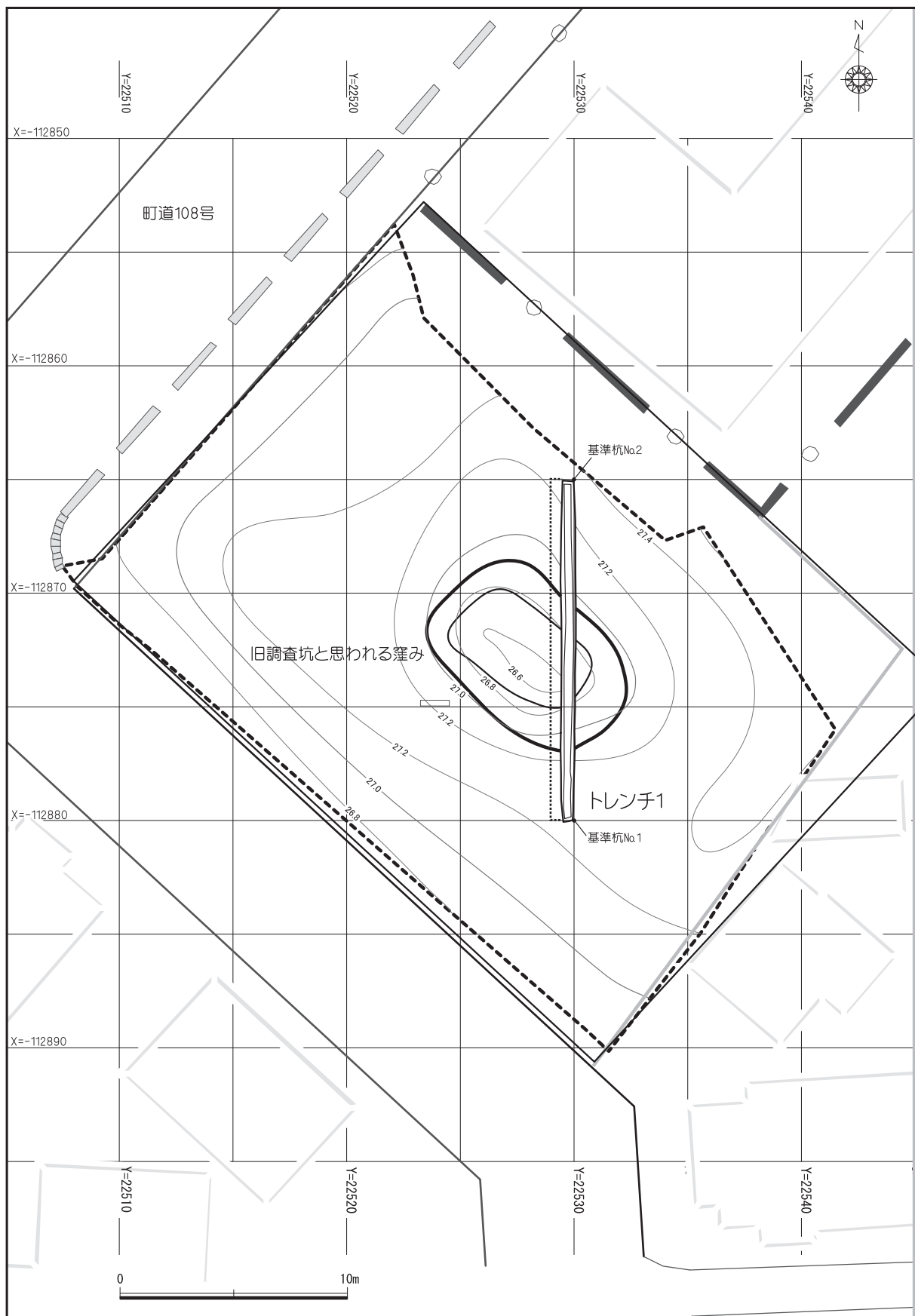
トレンチは長さ15m、幅1mの範囲で、窪みの中心を通るように公共座標に沿って設定した。除草後の精査を経て、トレンチ東側の幅50cmを先に掘り下げた。

窪みの外側にあたるトレンチの北、南の両端では、10cmほど掘り下げたところで土器個体を主とする遺物の出土に始まり、その後、焼土、礫、炭化物が混じり合う複雑な堆積が見られた。掘り下げが困難なほどの土器、石器等の出土状況や土層の堆積状況からこれらを盛土遺構と判断し、黄色粘土層（Ⅴ層）まで掘り下げて土層断面の記録観察を行った。

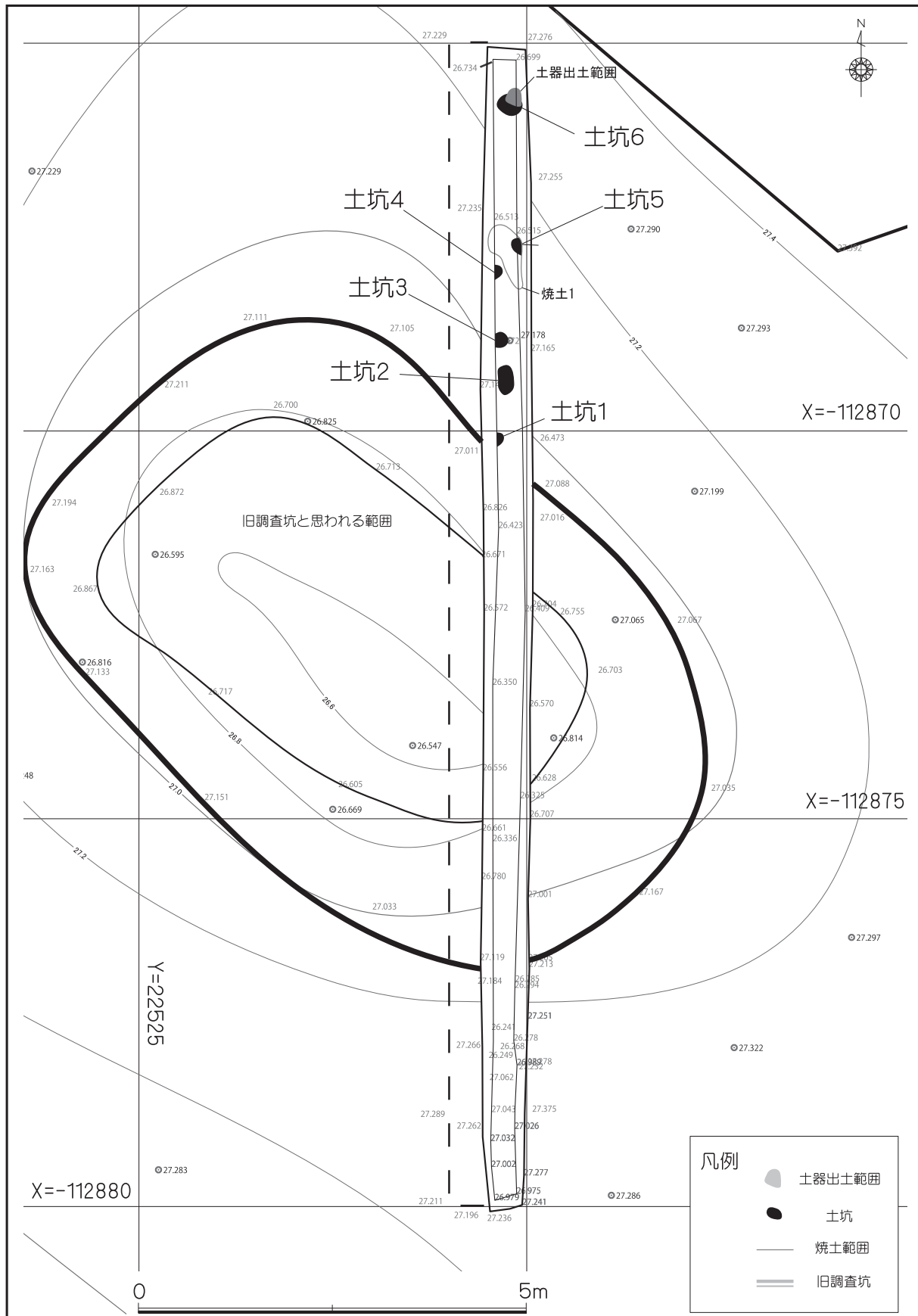
トレンチ中央部の窪みの部分では、昭和32年調査時の痕跡を確認するよう努めた。予想外に掘削範囲の境界が不明瞭ではあったが、トレンチ中央部分の約5m幅で近代の掘削と考えられる部分を確認した。その北側には盛土遺構の後に築かれた遺構の覆土と考えられる堆積が見られた。竪穴の可能性も考えられるが確実ではない。また、黄色粘土層面上ではトレンチ北側で小土坑を6か所確認した。

【盛土遺構】

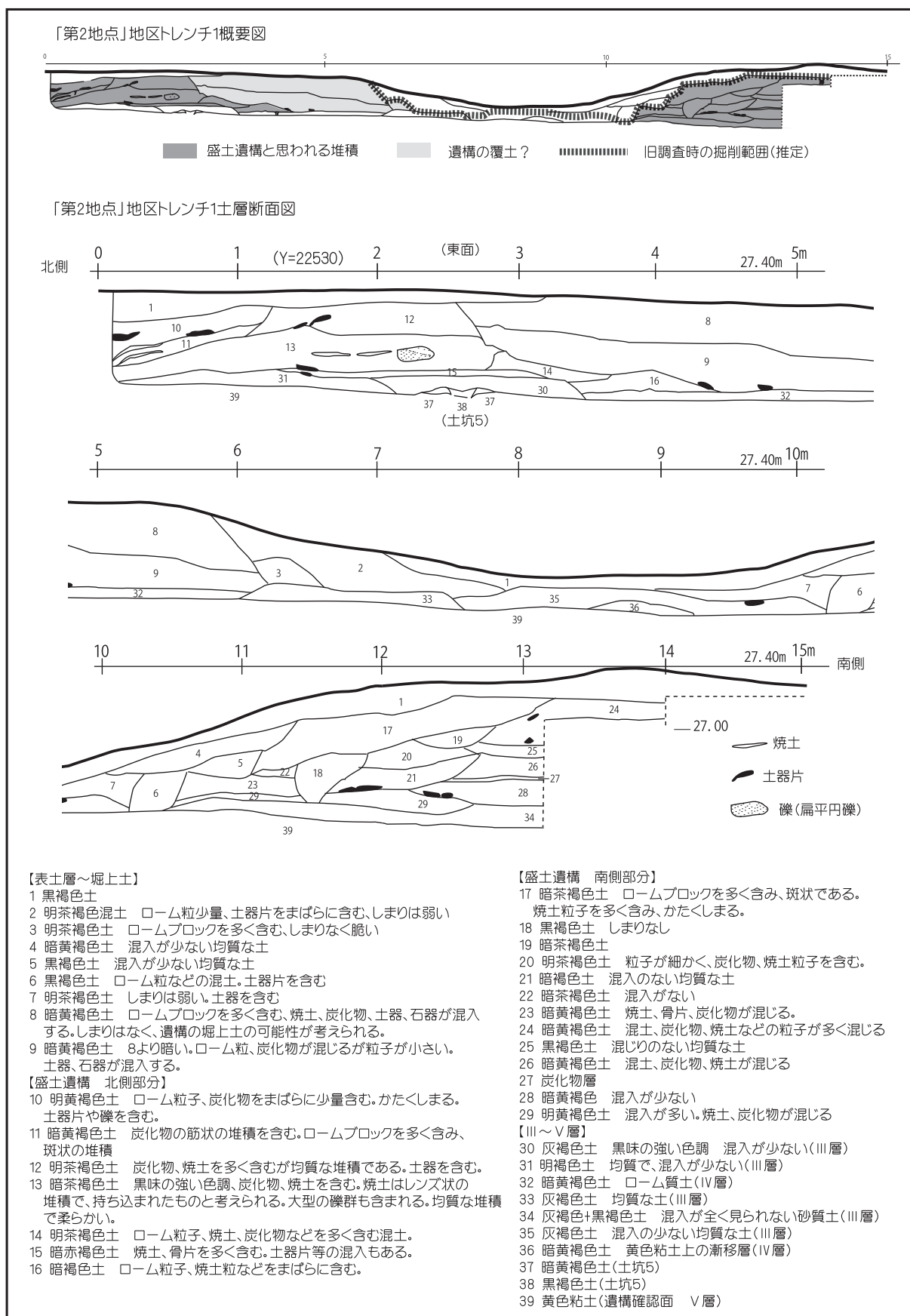
盛土遺構はトレンチ北側の部分では厚さ50cm、南側の部分では80cmほどの盛土の堆積層として確認することが出来た。筋状の焼土や炭化物の層が互層の状態に堆積し、黄色粘土の粒子などとともに土器片や石器、径50cmほどの礫なども出土した。遺物は上層からは縄文時代中期前半（円筒上層式期）の土器片が出土し、大きな破片がまとまって確認された。下層になると、破片は小さくなり、縄文時



図Ⅱ－6 「第2地点」地区発掘区設定図



図Ⅱ-7 トレンチ調査成果図



図Ⅱ－8 トレンチ土層断面図

代前期後半（円筒土器下層式期）の土器片が多くみられるようになった。

【土坑】

盛土遺構北側の範囲では、盛土遺構下より黄色粘土層面上で土坑と思われる覆土を確認した。確認した土坑は6か所で、全体を確認できたものはない。いずれも直径が30～40cmほどの柱穴状のもので、南から1, 2, 3, 4, 5, 6と番号を付した。遺物の出土がなかったため時期は明らかではない。なお確認できたのは北側のみで、トレンチ中央部から南側の盛土遺構下では確認されなかった。

【旧調査の痕跡の可能性のある窪み】

昭和32年調査時のものと思われる窪みについては、トレンチ中央部で確認された近代の掘削の跡が相当する可能性がある。当時の報告では遺構を確認しているはずが、底面の黄色粘土層まで掘り下げられていないことや、調査の際の掘り上げ土が見当たらないこと、埋め戻されずに窪みのまま残されたことなどが疑問である。今回のトレンチ調査の範囲では限界があり、今後の課題としたい。

(5) 出土遺物の概要（表Ⅱ－2）

発掘調査で出土した遺物については昨年度の調査分も含めて出土状況と分類結果の概要のみの報告とした。詳細については来年度に報告する。

i 「史跡」地区出土遺物

史跡地区では土器片19点、石器（フレイク・チップ）16点、礫40点が出土した。そのすべてがトレンチ1から出土したものである。トレンチ上層の黒色土層から一括集中して出土した。遺構に伴う可能性も考えられたが、土層断面からは確認できなかった。土器は小破片のみであるが、粗い斜行縄文が見られ、縄文時代中期前半（円筒土器上層式）の時期のものと思われる。石器はフレイク・チップのみで黒曜石製のものがほとんどである。

ii 「第2地点」地区出土遺物

第2地点地区では土器2451点、石器・礫等805点の合計3256点の遺物が出土した。その大半が盛土遺構に伴うものである。盛土遺構の上層ではまとまって縄文時代中期前半（円筒土器上層式）の土器が出土した。盛土遺構を掘り下げたに当たって、小破片が目立つようになり、縄文時代前期後半（円筒土器下層式）の土器片が主となった。全体においては縄文時代前期後半（円筒土器下層式）の土器が主体である。

石器については、剥片石器が少なく、たたき石、すり石、台石などの礫石器が多く、石斧や扁平打製石器、北海道式石冠なども見られた。

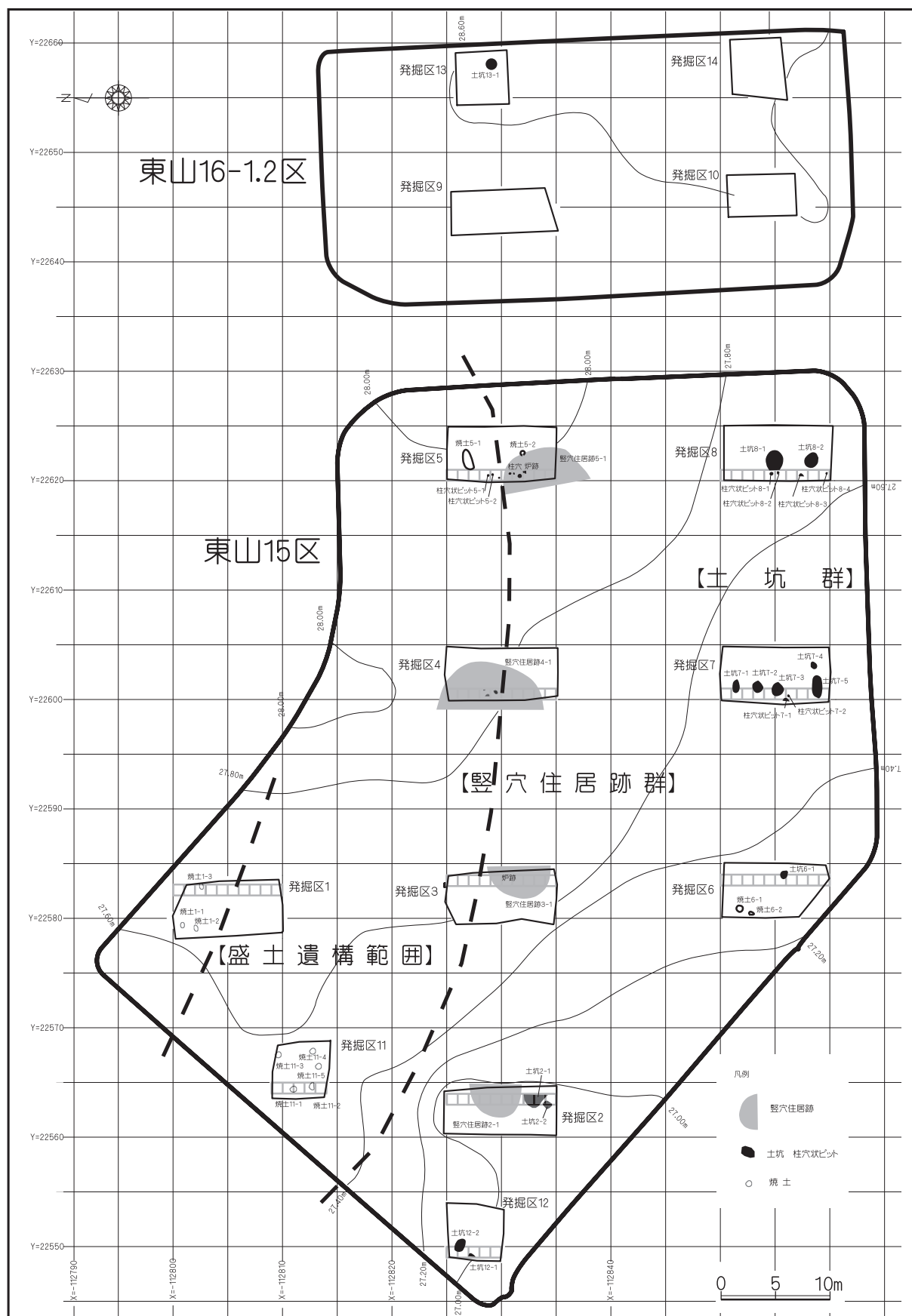
iii 「東山15、16-1・2番地」地区（平成26年度調査）出土遺物（図Ⅱ－9, 10）

本報告は昨年度調査した東山15、16-1・2番地における各発掘区で出土したものである。出土遺物総点数は4966点で、内訳は土器が3368点、石器・礫類が1598点である。

各発掘区の遺物出土状況は以下のとおりである。

【発掘区1】（東山15区） 遺構は盛土遺構1か所、焼土3か所を確認した。遺物総点数は554点で、土器が444点、石器・礫類が110点である。盛土遺構を中心に遺物が多く出土した。土器についてはまとまった出土が少なく、小破片が多くみられた。縄文時代前期後半と思われる土器片が主体を占める。石器はたたき石、すり石、台石などの礫石器が目立つ。

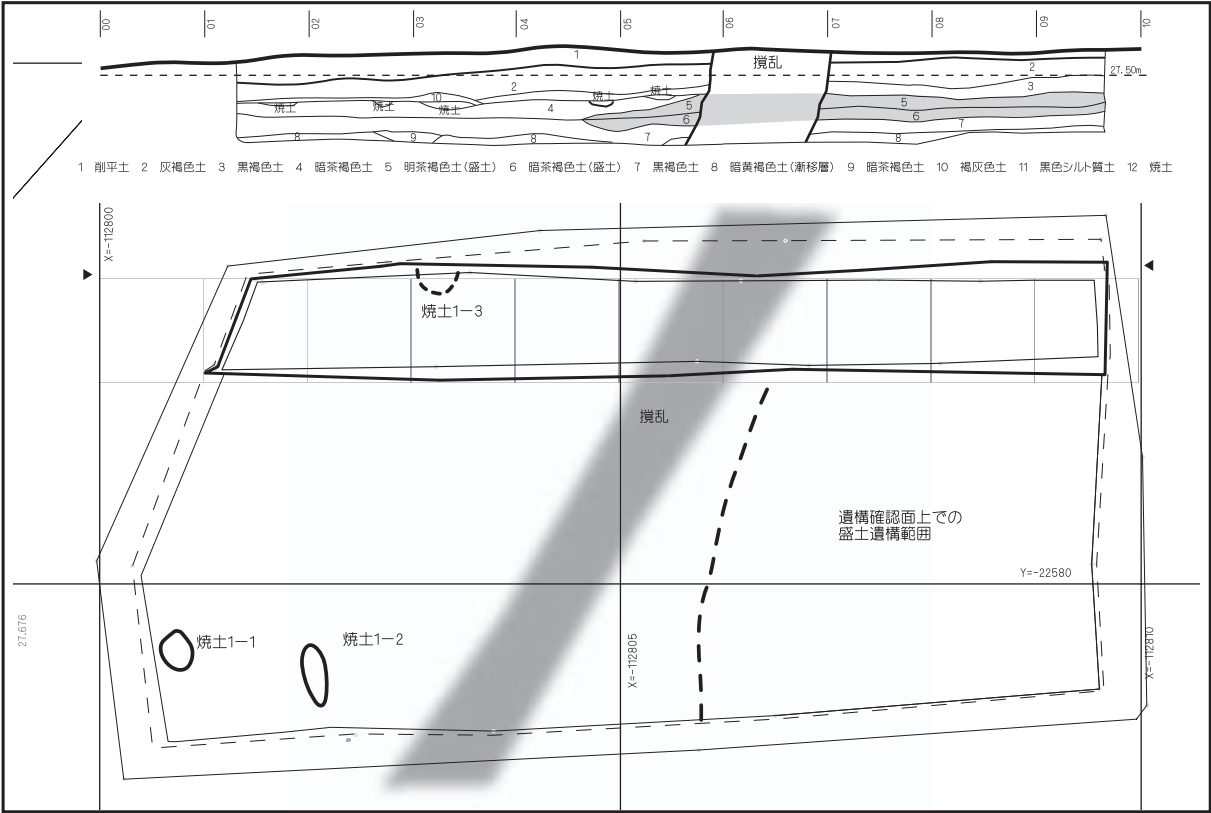
【発掘区2】（東山15区） 遺構は竪穴住居跡1か所、土坑2か所を確認した。遺物総点数は139点で、土器が82点、石器・礫類が57点である。竪穴住居跡に伴って縄文時代中期前半の土器が出土している。石器は礫石器が多い。



図Ⅱ－9 「東山15、16－1・2番地」地区発掘調査成果図

表Ⅱ－2 出土遺物一覧

調査年度	発掘区	土 器					石 器 ・ 礫															総 計		
		縄文前期後半	縄文中期前半	縄文前期～中期	小破片など不明	(土器合計)	剥 片 石 器					礫 石 器								礫、礫片ほか	石器・礫合計			
							石鏃	石鏃またはナイフ	石鏃	つまみ付きナイフ	スクレイパー	フレイク・チップ	石斧	たたき石	扁平打製石器	石鋸	北海道式石冠	すり石	台石				礫石器片	
平成26年度	東山15区	1	105	26	120	193	444						16	1	3	2		1	2	3	4	78	110	554
		2	4	32	17	29	82		1				20		2	1			1		7	25	57	139
		3	1	8	4	70	83						24		1	1			2	1	2	56	87	170
		4	82	41	41	145	309				1		68	1	7	3	1	1	16	4		127	229	538
		5	189	253	82	300	824	1			2	3	60	4	11	3		14	12	4	8	180	302	1126
		6					0																0	0
		7			1		1						1					2				3	6	7
	東山16区	8	51	30	88	3	172						3					1	2			14	20	192
		9	19	1	13	27	60				1	12										1	14	74
		10	15		1	19	35					1										1	2	37
		11	728	4	38	298	1068						439	2	5	4		2	10	4		261	727	1795
		12		6	12	15	33				1		1		1			1			1	16	21	54
		13			3	1	4						2		1			1					4	8
		14	109	1	19	118	247	1					9			1						7	18	265
平成27年度	表 採			6		6															1	1	7	
	(平成26年度合計)	1303	402	445	1218	3368	2	1	1	3	4	656	8	31	15	1	20	48	16	22	770	1598	4966	
	史跡地区				19	19						16									40	56	75	
	第2地点地区	1126	65	850	410	2451	5		3	1	1	235	2	18	5	1	1	13	9	40	471	805	3256	
(平成27年度合計)		1126	65	850	429	2470	5		3	1	1	235	2	18	5	1	1	13	9	40	527	861	3331	
総合計		2429	467	1295	1647	5838	7	1	4	4	5	891	10	49	20	2	21	61	25	62	1297	2459	8297	



図Ⅱ－10 盛土遺構の堆積（発掘区1）
（重要遺跡確認調査報告書 第10集 図Ⅱ－3を訂正したものです）

【発掘区 3】（東山15区） 遺構は盛土遺構の一部と竪穴住居跡 1 か所を確認した。遺物総点数は170点で、土器が83点、石器・礫類が87点である。土器はすべて竪穴に伴うが、時期の特定できるものは少ない。石器もほとんどが竪穴に伴うものである。

【発掘区 4】（東山15区） 遺構は盛土遺構の一部と竪穴住居跡1か所を確認し、トレンチの範囲で竪穴の床面まで掘り下げた。遺物総点数は538点で、土器が309点、石器・礫類が229点である。竪穴よりも盛土遺構出土の遺物が多いが、ともに縄文時代前期後半の土器が多い。石器についてはすり石、たたき石、台石などの礫石器が盛土遺構から多く出土した。

【発掘区 5】（東山15区） 遺構は盛土遺構の一部と竪穴住居跡 1 か所、焼土、柱穴状ピットを確認した。遺物総点数は1126点で、土器が824点、石器・礫類が302点である。盛土遺構には縄文時代前期後半から中期前半の土器が含まれ、竪穴住居の覆土からは縄文前期後半の土器が主に出土している。石器は盛土遺構では少なく、竪穴住居跡に多くみられた。特に覆土中から北海道式石冠が 6 点まとまって出土した。

【発掘区 6】（東山15区） 遺構は土坑 1 か所、焼土 2 か所を確認したが、遺物は出土しなかった。

【発掘区 7】（東山15区） 遺構は土坑 5 か所、柱穴状ピット 2 か所を確認した。遺物総点数は 7 点で、土器が 1 点、石器・礫類が 6 点である。石器は土坑に伴ってすり石が出土した。

【発掘区 8】（東山15区） 遺構は土坑 2 か所、柱穴状ピット 4 か所を確認した。遺物総点数は192点で、土器が172点、石器・礫類が20点である。遺構に伴う遺物はなく、包含層から縄文前期後半の土器が多く出土した。

【発掘区 9】（東山16-1・2区） 遺構は検出されなかった。遺物総点数は74点で、土器が60点、石器・礫類が14点である。数は少ないが、土器は縄文前期後半のものが多くみられた。

【発掘区10】（東山16-1・2区） 遺構は検出されなかった。遺物総点数は37点で、土器が35点、石器・礫類が 2 点である。土器は縄文前期後半のものが多くみられた。

【発掘区11】（東山15区） 発掘区全体が盛土遺構の中にある。遺物総点数は1795点で、土器が1068点、石器・礫類が727点である。調査面積は少ないが、最も遺物量の多い発掘区である。土器は縄文時代前期後半にあたるものがほとんどで復元可能な個体も数点出土した。石器は礫石器が多く、盛土層に伴うものが大半である。礫石器は、扁平礫を素材とし、一部に平坦面がみられるすり石が数多くみられ、その多くに炭化物が付着しているのが特徴である。

【発掘区12】（東山15区） 遺構は土坑 2 か所を確認した。遺物総点数は54点で、土器が33点、石器・礫類が21点である。土器は縄文中期前半のものである。

【発掘区13】（東山16-1・2区） 遺構は検出されなかった。遺物総点数は 8 点で、土器が 4 点、石器・礫類が 4 点である。時期を特定できる土器はないが、北海道式石冠とたたき石がみられる。

【発掘区14】（東山16-1・2区） 遺構は検出されなかった。出土遺物総点数は265点で、土器が247点、石器・礫類が18点である。土器は縄文前期後半が主体である。

以上を整理すると本調査区での出土遺物の主体は縄文時代前期後半の円筒下層式の時期のものであり、すり石や扁平打製石器などの礫石器を主とする石器群が伴う。特に盛土遺構の主体は円筒土器下層式の時期であり、竪穴住居跡の中には縄文時代中期前半、円筒土器上層式の時期のものが含まれる。

4 関連資料調査（道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」）

（1）調査の概要

調査対象は道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」である。これは昭和43年3月29日に岩内東山円筒文化遺跡が道指定史跡として指定されたと同時にその出土遺物が有形文化財に指定されたものである。岩内町教委所蔵の道文化財指定申請資料（岩内町教育委員会「北海道文化財指定申請資料写真有形文化財 東山遺跡発掘品（土器石器類）195点」）によると東山遺跡発掘品（土器、石器類）は195点で、内訳は土器個体27点、土・石製品4点、石器類164点となっている。ここでは各出土資料について出土の時期や地点などの情報は添付されていない。これらは主に岩内町郷土館に収蔵されている。

また、今回の調査中に昭和31、32年調査時の写真アルバムや8ミリフィルムなども郷土館に保管されていることが明らかになった。その一部を借用し掲載することが出来た（図版Ⅱ-23）。

（2）道指定有形文化財「岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物」の調査（表Ⅱ-3、4、図版Ⅱ-10～23）

今回の調査対象は道指定有形文化財のうちの186点とした。内訳は土器個体18点、石器、土・石製品168点であり、そのすべてに整理符号としてA-1～A-195までの番号が注記されている。一部注記が剥がれるなど判読不明のものもあり、申請写真資料から判断したものもある。これらの内容について一覧表と写真を掲載した。

指定された土器個体はA-1～27までの27個体であるが、このうちの18点を今回の調査対象とした。

土器個体はA-1～16が縄文時代前期後半に相当する「円筒下層式」、A-17～27が縄文時代中期前半に相当する「円筒上層式」と指定時に分類されている。調査対象のうち、A-5、6、7、9、10、13、14、15の8個体が円筒土器下層式、A-17、18、19、21～27の10個体が円筒土器上層式に相当する。ただし、復原土器は口縁から底部まで残るものは少なく、残りがわずかでも全体を想定復原しているものが多い。分類の詳細は次年度にあらためて掲載する予定である。

土・石製品は4点である。A-28、29、31が玉であるが、29、31は穿孔されていない。30は環状土製品である。

石器は168点である。A-32～54が石斧で23点、A-55、56が両面調整石器で2点、A-57～64、160が石槍またはナイフで9点、A-65～92が石鏃で28点、A-93、94が石錐で2点、A-95～126がつまみ付きナイフで38点、A-127～159がスクレイパーで33点、A-161～173が扁平打製石器で13点、A-174～186、188、191が北海道式石冠で15点、A-187は礫で1点、A-189が台石、石皿で1点、192、193は石錘で2点、194、195はたたき石で2点である。剥片石器112点、礫石器が51点となった。

（3）昭和33年発行『岩内遺跡』掲載資料との関連

昭和33年9月30日発行の『岩内遺跡』は岩内町及び町教委により発行された報告書である。岩内町東山遺跡、岩内町栄遺跡、共和町上リヤムナイ遺跡、下リヤムナイ遺跡についての調査成果が収められている。

このうち、東山遺跡（東山1遺跡）では昭和31、32年の2度調査が行われている。第1回の調査は昭和31年9月28日より同10月5日まで行なわれ（第1地点）、第2回の調査は昭和32年7月18日より同7月25日まで行われた（第2地点）。両年とも調査は大場利夫が指導し、桐井力蔵が担当した。

道指定有形文化財の195点については分類が記載されるのみで、出土地点、層位については記載が

ない。しかし、その一部が報告書『岩内遺跡』に掲載されていることが明らかになり、照合により一部ではあるが指定文化財の出土情報を復元することができた。

指定有形文化財のうち土器 9 点、土・石製品 3 点、石器 56 点が実測図で掲載されていた。

土器については A-13、18、19（縄文前期後半）、21、27（縄文中期前半）が第 1 地点第 3 層出土、A-9（縄文前期後半）、23、26（縄文中期前半）が第 2 地点第 3 層出土、A-5（縄文前期後半）が第 2 地点第 5 層出土のものである。

土・石製品については A-28（ヒスイ製玉）、29（環状土製品）、31（玉？）が第 2 地点第 3 層出土である。

石器については 56 点が掲載されていた。出土地点、層位ごとにまとめると第 1 地点第 3 層出土が石鏃 3 点（A-67, 69, 76）つまみ付きナイフ 2 点（A-95, 96）スクレイパー 1 点（A-148）、石斧 1 点（A-43）である。第 1 地点第 4、5 層出土が石槍またはナイフ 2 点（A-58, 60）、両面調整石器 1 点（A-56）である。第 2 地点第 3 層出土が石鏃 3 点（A-65, 70, 86）、つまみ付きナイフ 2 点（A-109, 115）、石斧 1 点（A-39）、石のみ 1 点（A-53）である。第 2 地点第 4 層出土が、石槍またはナイフ（A-57, 63）、石鏃 1 点（A-94）、つまみ付きナイフ 5 点（A-102, 107, 111, 117, 124）、スクレイパー 1 点（A-129）、石斧 2 点（A-38, 49）、扁平打製石器 1 点（A-164）である。第 2 地点第 5 層出土が石鏃 2 点（66, 81）、石槍またはナイフ 1 点（A-62）、つまみ付きナイフ 8 点（A-97, 98, 103, 112, 114, 119, 120, 125）、スクレイパー 1 点（A-146）、石斧 2 点（A-45, 51）、両面調整石器 1 点（A-55）である。第 2 地点第 6 層では石鏃 1 点（A-74）、石槍またはナイフ 1 点（A-160）、石鏃 1 点（A-192）、つまみ付きナイフ 1 点（A-126）、スクレイパー 5 点（A-127, 128, 132, 139, 151）が出土した。北海道式石冠 2 点（A-181, 183）と礫（A-187）については、掲載されているものの出土地点は明らかになっていない。

遺物の出土層位について『岩内遺跡』では下記のとおりである。

第 1 層 灰黒色砂質土層	第 5 層 茶褐色粘土質層（遺物出土）
第 2 層 黒色土層	第 6 層 黒褐色粘土層
第 3 層 茶褐色粘質土層（下層より遺物出土）	第 7 層 黄色粘土層
第 4 層 黄褐色粘土質層（遺物出土）	

上記の層位を基本土層に対比すると第 1 層は 0 層、I 層、第 2 層は II 層、第 3 層は III 層、第 6 層が IV 層、第 7 層が V 層に対応すると思われる。第 4 層と第 5 層は昨年度調査の結果と比較すると二次的な堆積、盛土遺構の可能性が考えられる。この場合、第 1、第 2 地点ともに盛土遺構に当たる部分を調査したものと思われ、結果的に有形文化財のほとんどが盛土遺構に伴って出土したものと考えられる。

5 調査成果と課題（図 II - 11）

これまでの調査結果及び昨年度を含めた調査の成果より明らかになった点を項目毎にまとめた。

【遺跡の時期】

今回調査した範囲内では遺跡の時期は概ね縄文時代前期後半（円筒土器下層式）から縄文時代中期前半（円筒土器上層式）までと考えられる。特に縄文時代前期末の土器の出土が顕著であり、主体的な時期と思われる。昭和 31、32 年調査及び平成 13～15 年調査等で出土した土器の時期が縄文時代前期後半から中期前半に及ぶのに比べると限定的である。

【遺跡の範囲】

「史跡」地区において遺構、遺物がほとんど確認されなかったことは、遺跡の範囲を考えるうえで重視される。遺物包含層が何らかの理由で削平された可能性もあるが、トレンチでの土層堆積状態を考えると一概ではなく、遺跡の範囲そのものが史跡地区に及んでいない可能性が強い。これまでの試掘調査の結果と照らし合わせると、東山墓地内の北部、「史跡」地区の南端周辺に遺跡範囲の北限があると考えられる。

【盛土遺構】

「第2地点」地区で盛土遺構と思われる堆積が確認され、昨年度東山15区で確認された盛土遺構とあわせて注目される結果となった。「第2地点」に隣接する町道からは平成15年調査時に盛土遺構（捨場遺構）が確認されていたため、「第2地点」地区の盛土遺構はこれと一連のものと考えられる。この結果、東山1遺跡には東山15区と「第2地点」地区の2つの盛土遺構が存在すると考えられる。現地調査の時点ではその主体的な時期において両遺構間に違いがあるのではないかと考えたが、大まかな遺物分類を終えた段階では2つの盛土遺構の出土遺物に大きな時期差は見られない。また、両盛土遺構間には竪穴住居群、土坑群が存在することが明らかであり、より広範囲に遺構の広がりを追及する必要がある。

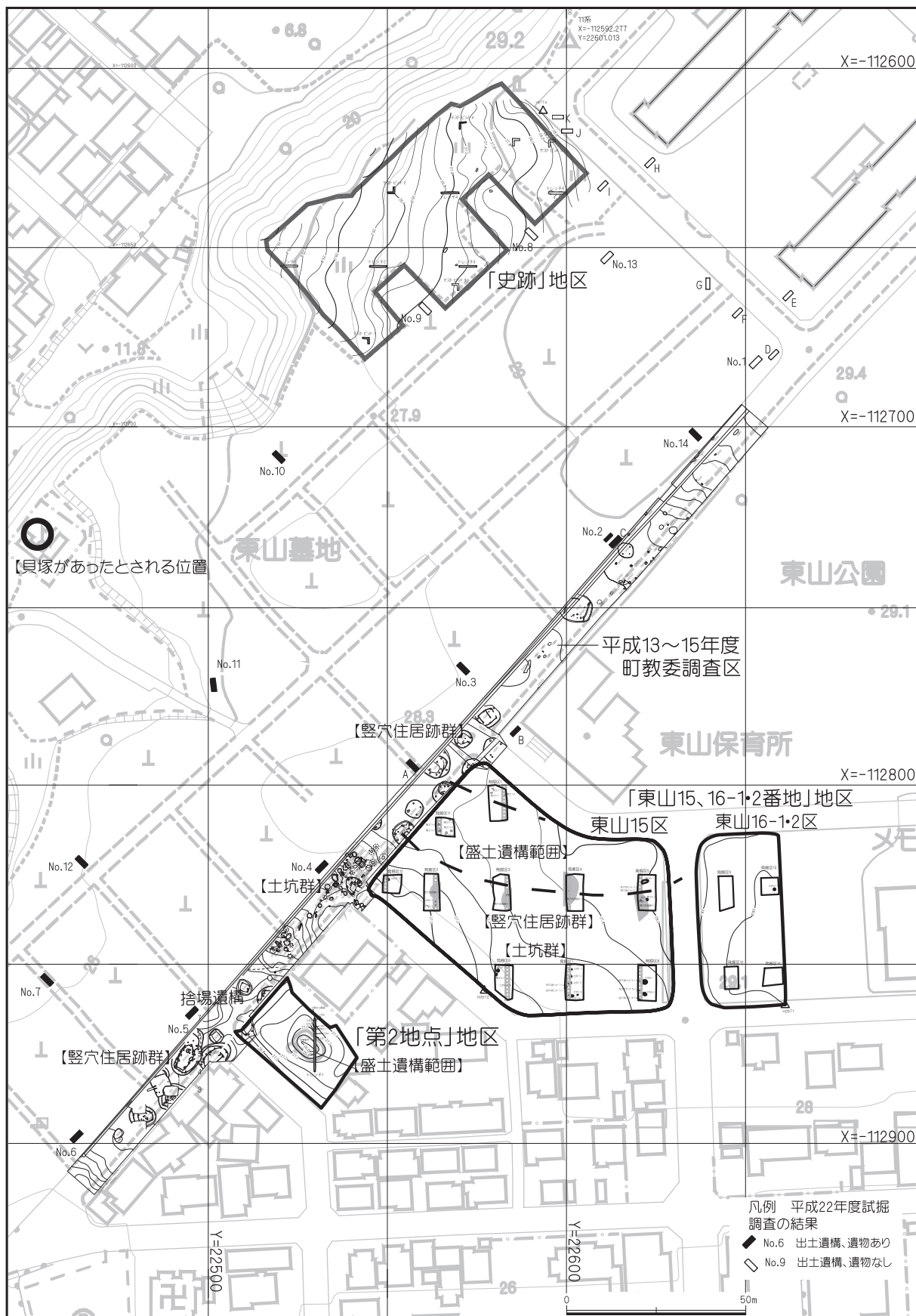
【今後の課題】

次年度の報告では今年度、昨年度の出土遺物についての整理作業の結果を報告する予定である。これを基に道指定有形文化財やさらには平成13～15年調査時に出土した遺物を比較し、各遺構の時期を整理することが可能になると思われる。

また、遺跡の範囲、盛土遺構の広がりを明らかにするには東山墓地内での調査が課題であり、特に墓地内の起伏に富んだ微地形は遺跡の内容を反映している可能性が高く、詳細な測量図を作成する必要も考えられる。また、盛土遺構や竪穴群、土坑群などの集落を構成する各要素を明らかにすることを目的としたさらなる試掘調査等も必要と思われる。

【引用文献】

- 大場利夫・桐井力蔵 1958 『岩内遺跡』岩内町・町教育委員会
 岩内町教育委員会 編 2004 『岩内町東山1遺跡』町道108号線特殊改良一種工事整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 同委員会
 岩内町教育委員会 編 2010 『岩内町東山1遺跡Ⅱ』岩内町公共下水道工事污水管渠敷設及び斎場新設に伴う埋蔵文化財保護のための工事立会 同委員会
 岩内町教育委員会 編 2015 『岩内町東山1遺跡Ⅲ』東山墓地平成22～26年度墓石新設・建替及び平成24年度排水管新設に伴う埋蔵文化財保護のための工事立会 同委員会
 阪口豊 1962 「岩内・瀬棚地方段丘堆積物の花粉分析」『第四紀研究』2巻4・5号



表Ⅱ－3 道指定有形文化財一覧

北海道文化財指定申請資料写真有形文化財東山遺跡発掘品（土器、石器類）195点 岩内町教育委員会

符号	品名	型式	状態	符号	品名	型式	状態	符号	品名	型式	状態
A-1	土器	円筒下層式	完型	A-66	石ゾク		完型品	A-131	石小刀	大円型スクレーパー	完型品
A-2	土器	円筒下層式	完型	A-67	石ゾク		完型品	A-132	石小刀	大円型スクレーパー	完型品
A-3	土器	円筒下層式	完型	A-68	石ゾク		完型品	A-133	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-4	土器	円筒下層式	完型	A-69	石ゾク		完型品	A-134	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-5	土器	円筒下層式	完型	A-70	石ゾク		完型品	A-135	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-6	土器	円筒下層式	完型	A-71	石ゾク		完型品	A-136	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-7	土器	円筒下層式	完型	A-72	石ゾク		完型品	A-137	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-8	土器	円筒下層式	完型	A-73	石ゾク		完型品	A-138	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-9	土器	円筒下層式	完型	A-74	石ゾク		完型品	A-139	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-10	土器	円筒下層式	完型	A-75	石ゾク		完型品	A-140	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-11	土器	円筒下層式	完型	A-76	石ゾク		完型品	A-141	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-12	土器	円筒下層式 中間	完型	A-77	石ゾク		完型品	A-142	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-13	土器	円筒下層式 中間	完型	A-78	石ゾク		完型品	A-143	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-14	土器	円筒下層式 中間	完型	A-79	石ゾク		完型品	A-144	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-15	土器	円筒下層式	完型	A-80	石ゾク		完型品	A-145	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-16	土器	円筒下層式 中間	完型	A-81	石ゾク		完型品	A-146	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-17	土器	円筒上層式	完型	A-82	石ゾク		完型品	A-147	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-18	土器	円筒上層式	完型	A-83	石ゾク		完型品	A-148	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-19	土器	円筒上層式	完型	A-84	石ゾク		完型品	A-149	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-20	土器	円筒上層式	完型	A-85	石ゾク		完型品	A-150	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-21	土器	円筒上層式	完型	A-86	石ゾク		完型品	A-151	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-22	土器	円筒上層式	完型	A-87	石ゾク		完型品	A-152	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-23	土器	円筒上層式	完型	A-88	石ゾク		完型品	A-153	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-24	土器	円筒上層式	完型	A-89	石ゾク		完型品	A-154	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-25	土器	円筒下層式	完型	A-90	石ゾク		完型品	A-155	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-26	土器	円筒上層式	完型	A-91	石ゾク		完型品	A-156	石小刀	不整型スクレイパー	完型品
A-27	土器	円筒上層式	完型	A-92	石ゾク		完型品	A-157	尖頭器用石器		
A-28	装身具	加工品		A-93	石キリ		完型品	A-158	尖頭器用石器		
A-29	装身具	未加工		A-94	石キリ		完型品	A-159	尖頭器用石器		
A-30	装身具			A-95	有柄石小刀		完型品	A-160	尖頭器用石器		
A-31	装身具			A-96	有柄石小刀		完型品	A-161	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-32	石オノ	磨製品	完型品	A-97	有柄石小刀		完型品	A-162	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-33	石オノ	磨製品	完型品	A-98	有柄石小刀		完型品	A-163	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-34	石オノ	磨製品	完型品	A-99	有柄石小刀		完型品	A-164	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-35	石オノ	磨製品	完型品	A-100	有柄石小刀		完型品	A-165	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-36	石オノ	磨製品	完型品	A-101	有柄石小刀		完型品	A-166	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-37	石オノ	磨製品	完型品	A-102	有柄石小刀		完型品	A-167	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-38	石オノ	磨製品	完型品	A-103	有柄石小刀		完型品	A-168	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-39	石オノ	磨製品	完型品	A-104	有柄石小刀		完型品	A-169	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-40	石オノ	磨製品	未完型	A-105	有柄石小刀		完型品	A-170	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-41	石オノ	磨製品	未完型	A-106	有柄石小刀		完型品	A-171	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-42	石オノ	磨製品	未完型	A-107	有柄石小刀		完型品	A-172	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-43	石オノ	磨製品	未完型	A-108	有柄石小刀		完型品	A-173	庖丁型石器	(石鋸)	完型品
A-44	石オノ	磨製品	未完型	A-109	有柄石小刀		完型品	A-174	石冠		完型品
A-45	石オノ	磨製品	未完型	A-110	有柄石小刀		完型品	A-175	石冠		完型品
A-46	石オノ	磨製品	未完型	A-111	有柄石小刀		完型品	A-176	石冠		完型品
A-47	石オノ	磨製品	未完型	A-112	有柄石小刀		完型品	A-177	石冠		完型品
A-48	石オノ	磨製品	未完型	A-113	有柄石小刀		完型品	A-178	石冠		完型品
A-49	石オノ	磨製品	未完型	A-114	有柄石小刀		完型品	A-179	石冠		完型品
A-50	石オノ	磨製品	未完型	A-115	有柄石小刀		完型品	A-180	石冠		完型品
A-51	石オノ	磨製品	未完型	A-116	有柄石小刀		完型品	A-181	石冠		完型品
A-52	石オノ	磨製品	未完型	A-117	有柄石小刀		完型品	A-182	石冠		完型品
A-53	石ノミ	磨製品	完型品	A-118	有柄石小刀		完型品	A-183	石冠		完型品
A-54	石オノ	打製	完型品	A-119	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-184	石冠		完型品
A-55	石オノ	打製	完型品	A-120	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-185	石冠		完型品
A-56	石オノ	打製	完型品	A-121	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-186	石冠		完型品
A-57	石ヤリ		完型品	A-122	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-187	石冠		完型品
A-58	石ヤリ		完型品	A-123	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-188	石冠		完型品
A-59	石ヤリ		完型品	A-124	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-189	石皿		完型品
A-60	石ヤリ		完型品	A-125	有柄石小刀	不整型スクレーパー	完型品	A-190	石垂		完型品
A-61	石ヤリ		完型品	A-126	石小刀	大円型スクレーパー	完型品	A-191	石垂		完型品
A-62	石ヤリ		完型品	A-127	石小刀	大円型スクレーパー	完型品	A-192	石垂		完型品
A-63	石ヤリ		完型品	A-128	石小刀	大円型スクレーパー	完型品	A-193	石垂		完型品
A-64	石ヤリ		完型品	A-129	石小刀	大円型スクレーパー	完型品	A-194	凹石	(発火器)	完型品
A-65	石ゾク		完型品	A-130	石小刀	大円型スクレーパー	完型品	A-195	凹石		完型品

表Ⅱ－４ 道指定有形文化財詳細内容一覧

土 器										
指定 番号	種 別	分 類		高 さ (cm)	口 径 (cm)	最大幅 (cm)	底 径 (cm)	特 徴	図版 番号	
		(文化財指定時)	現時点での分類							
A-1	土器	円筒下層式	縄文前期後半							
A-2	土器	円筒下層式	縄文前期後半							
A-3	土器	円筒下層式	(縄文前期後半)							
A-4	土器	円筒下層式	縄文前期後半							
A-5	土器	円筒下層式	縄文前期後半	43.5	24.0	同左	13.0	多軸絡条体 第2地点第5層出土 50図掲載	Ⅱ-10	
A-6	土器	円筒下層式	縄文前期後半	25.2	18.3	18.8	14.0	口縁～胴部。底部も残るが接合 していない。多軸絡状体	Ⅱ-10	
A-7	土器	円筒下層式	縄文前期後半	21.8	17.0	同左	10.0	口縁部縄線文、胴部捩糸文	Ⅱ-10	
A-8	土器	円筒下層式	縄文前期後半							
A-9	土器	円筒下層式	縄文前期後半	36.5	26.5	同左	17.0	第2地点第3層出土44図掲載	Ⅱ-10	
A-10	土器	円筒下層式	縄文前期後半	25.0	18.0	同左	(10.0)	口縁～底部。無文	Ⅱ-10	
A-11	土器	円筒下層式	(縄文前期後半)							
A-12	土器	円筒下層式	縄文前期後半							
A-13	土器	円筒下層式	縄文前期後半	19.4	13.0	同左	10.0	LR 横回転縄文 第1地点第3層出土 8 図掲載	Ⅱ-11	
A-14	土器	円筒下層式	縄文前期後半	13.0	13.0	同左	8.0	口縁～底部。結束羽状縄文	Ⅱ-11	
A-15	土器	円筒下層式	縄文前期後半	21.8	16.0	同左	8.2	口縁部縄線文、捩糸文	Ⅱ-11	
A-16	土器	円筒下層式	(縄文前期後半)							
A-17	土器	円筒上層式	縄文中期前半	37.5	34.0	同左	(20.4)	口縁～胴部。結束羽状縄文	Ⅱ-11	
A-18	土器	円筒上層式	縄文中期前半	40.0	(31.3)	同左	16.0	第1地点第3層出土12図掲載	Ⅱ-11	
A-19	土器	円筒上層式	縄文中期前半	(40.8)	(22.0)	同左	(13.0)	口縁部のみ。 第1地点第3層出土 11図掲載	Ⅱ-12	
A-20	土器	円筒上層式	(縄文中期前半)							
A-21	土器	円筒上層式	縄文中期前半	27.0	20.3	同左	10.0	結束羽状縄文 第1地点第3層出土 10図掲載	Ⅱ-12	
A-22	土器	円筒上層式	縄文中期前半	22.5	19.0	同左	10.0	口縁～底部。口縁に刻み、LR 横回転縄文	Ⅱ-12	
A-23	土器	円筒上層式	縄文中期前半	23.3	(17.0)	同左	10.0	口縁～底部。結束羽状縄文 第2地点第3層出土43図掲載	Ⅱ-12	
A-24	土器	円筒上層式	縄文中期前半	24.0	(20.0)	同左	(12.0)	口縁～胴部、一部底部 LR 横 回転縄文	Ⅱ-12	
A-25	土器	円筒上層式	縄文中期前半	13.8	15.5	16.0	－	口縁～胴部 結節斜行縄文	Ⅱ-13	
A-26	土器	円筒上層式	縄文中期前半	18.8	14.0	同左	9.0	LR 横回転 口唇部に刻み 第2地点第3層出土42図掲載	Ⅱ-13	
A-27	土器	円筒上層式	縄文中期前半	12.0	9.6	同左	7.0	完形 LR 横回転縄文 第1地点第3層出土 8 図掲載	Ⅱ-13	
※ () は申請写真から判断した										
石器、土・石製品										
指定 番号	種 別	分 類		高 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	石 材	特 徴	図版 番号
		(文化財指定時)	現時点での分類							
A-28	石製品	装身具	玉	4.6	3.5	2.2	70.4	ヒスイ	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-13
A-29	石製品	装身具	玉?	6.5	5.6	4.1	215.0	めのう		Ⅱ-13
A-30	土製品	装身具	環状土製品	3.9	1.5	0.9	10.6	土製品	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-13
A-31	石製品	装身具	玉?	4.9	3.9	2.1	41.8	安山岩	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-13
A-32	石器	石オノ	石斧	10.4	5.0	2.8	247.5	泥岩		Ⅱ-14
A-33	石器	石オノ	石斧	9.6	4.5	2.3	173.5	泥岩		Ⅱ-14
A-34	石器	石オノ	石斧	11.2	5.5	2.5	260.5	片岩		Ⅱ-14
A-35	石器	石オノ	石斧	10.9	5.1	2.2	218.5	片岩	未成品	Ⅱ-14
A-36	石器	石オノ	石斧	12.7	4.7	2.2	246.0	片岩		Ⅱ-14
A-37	石器	石オノ	石斧	11.9	4.5	1.4	99.5	片岩		Ⅱ-14
A-38	石器	石オノ	石斧	13.0	3.2	1.4	89.9	片岩	第2地点第4層出土 56図掲載	Ⅱ-14
A-39	石器	石オノ	石斧	9.9	4.3	1.0	72.8	泥岩	未成品 第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-14
A-40	石器	石オノ	石斧	9.5	4.3	2.7	216.5	泥岩	未成品	Ⅱ-14
A-41	石器	石オノ	石斧	(9.9)	4.9	2.4	197.5	泥岩		Ⅱ-14
A-42	石器	石オノ	石斧	(8.8)	6.5	2.2	274.0	泥岩		Ⅱ-14

Ⅱ 岩内町東山1遺跡の調査

指定 番号	種 別	分 類		高 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	石 材	特 徴	図版 番号
		(文化財指定時)	現時点での分類							
A-43	石器	石オノ	石斧	(9.8)	6.1	2.2	276.0	片岩	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-14
A-44	石器	石オノ	石斧	(7.7)	3.2	2.6	161.0	片岩		Ⅱ-14
A-45	石器	石オノ	石斧	(8.7)	3.6	2.4	131.0	泥岩	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-14
A-46	石器	石オノ	石斧	(8.0)	5.0	1.4	91.9	片岩		Ⅱ-14
A-47	石器	石オノ	石斧	(6.7)	3.7	2.0	85.5	泥岩		Ⅱ-14
A-48	石器	石オノ	石斧	(8.0)	5.7	0.7	111.2	片岩	未成品	Ⅱ-15
A-49	石器	石オノ	石斧	(6.4)	3.2	1.1	41.8	片岩	第2地点第4層出土 56図掲載	Ⅱ-15
A-50	石器	石オノ	石斧	(6.5)	3.1	0.8	30.4	片岩		Ⅱ-15
A-51	石器	石オノ	石斧	(6.2)	2.6	0.6	24.2	片岩	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-15
A-52	石器	石オノ	石斧	(11.5)	(11.5)	4.5	313.5	泥岩		Ⅱ-15
A-53	石器	石ノミ	石のみ	(7.6)	1.6	0.9	22.9	片岩	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-15
A-54	石器	石オノ	石斧	7.2	7.2	7.2	342.5	安山岩		Ⅱ-15
A-55	石器	石オノ	両面調整石器	5.6	5.6	5.6	148.5	頁岩	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-15
A-56	石器	石オノ	両面調整石器	5.2	5.2	5.2	232.5	頁岩	第1地点第4-5層 出土 16図掲載	Ⅱ-15
A-57	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	3.5	3.5	1.1	46.7	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-15
A-58	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	10.0	3.5	1.4	32.3	頁岩	第1地点第4-5層 出土 16図掲載	Ⅱ-15
A-59	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	9.2	2.9	1.2	19.4	頁岩		Ⅱ-15
A-60	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	7.4	2.3	0.6	27.1	頁岩	第1地点第4-5層 出土 16図掲載	Ⅱ-15
A-61	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	6.5	3.0	1.0	16.8	黒曜石		Ⅱ-15
A-62	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	6.0	3.2	0.9	17.2	黒曜石	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-15
A-63	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	6.4	2.4	0.8	12.4	黒曜石	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-15
A-64	石器	石ヤリ	石槍またはナイフ	5.7	2.5	0.7	10.8	頁岩		Ⅱ-15
A-65	石器	石ゾク	石鏃	4.9	2.6	0.6	6.6	頁岩	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-16
A-66	石器	石ゾク	石鏃	4.9	1.7	0.5	3.0	黒曜石	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-16
A-67	石器	石ゾク	石鏃	4.1	1.7	0.4	3.3	頁岩	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-16
A-68	石器	石ゾク	石鏃	4.6	1.9	0.5	2.9	黒曜石		Ⅱ-16
A-69	石器	石ゾク	石鏃	3.2	1.7	0.4	2.4	黒曜石	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-16
A-70	石器	石ゾク	石鏃	3.6	1.8	0.4	1.5	黒曜石	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-16
A-71	石器	石ゾク	石鏃	3.9	1.5	0.4	2.4	頁岩		Ⅱ-16
A-72	石器	石ゾク	石鏃	3.6	1.8	0.3	2.2	頁岩		Ⅱ-16
A-73	石器	石ゾク	石鏃	3.7	1.6	0.4	1.8	黒曜石		Ⅱ-16
A-74	石器	石ゾク	石鏃	4.5	1.5	0.3	2.0	頁岩	第2地点第6層出土 59図掲載	Ⅱ-16
A-75	石器	石ゾク	石鏃	(4.0)	1.3	0.4	1.9	頁岩		Ⅱ-16
A-76	石器	石ゾク	石鏃	(3.4)	1.5	0.4	1.9	黒曜石	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-16
A-77	石器	石ゾク	石鏃	2.8	1.4	0.4	1.7	頁岩		Ⅱ-16
A-78	石器	石ゾク	石鏃	3.0	1.4	0.3	1.6	頁岩		Ⅱ-16
A-79	石器	石ゾク	石鏃	3.3	1.4	0.3	1.5	頁岩		Ⅱ-16
A-80	石器	石ゾク	石鏃	3.4	1.2	0.4	1.4	頁岩		Ⅱ-16
A-81	石器	石ゾク	石鏃	3.0	1.2	0.5	1.3	黒曜石	第2地点第5層出土 57図掲載	Ⅱ-16
A-82	石器	石ゾク	石鏃	3.3	1.7	0.4	1.9	黒曜石	被熱	Ⅱ-16
A-83	石器	石ゾク	石鏃	2.9	1.4	0.2	0.9	黒曜石		Ⅱ-16
A-84	石器	石ゾク	石鏃	3.2	1.4	0.3	1.2	黒曜石		Ⅱ-16
A-85	石器	石ゾク	石鏃	2.7	1.4	0.3	1.2	黒曜石		Ⅱ-16
A-86	石器	石ゾク	石鏃	3.1	1.8	0.5	2.7	黒曜石	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-16
A-87	石器	石ゾク	石鏃	3.4	1.7	0.5	2.0	黒曜石	被熱	Ⅱ-16
A-88	石器	石ゾク	石鏃	2.7	1.6	0.4	1.3	黒曜石		Ⅱ-16
A-89	石器	石ゾク	石鏃	3.5	1.6	0.4	1.4	黒曜石		Ⅱ-16
A-90	石器	石ゾク	石鏃	3.2	1.1	0.5	1.3	頁岩		Ⅱ-16
A-91	石器	石ゾク	石鏃	1.8	1.5	0.4	0.8	黒曜石		Ⅱ-16
A-92	石器	石ゾク	石鏃	2.2	1.2	0.2	0.6	黒曜石		Ⅱ-16

重要遺跡確認調査報告書

指定 番号	種 別	分 類		高 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	石 材	特 徴	図版 番号
		(文化財指定時)	現時点での分類							
A-93	石器	石キリ	石錐	5.5	1.0	0.6	4.1	頁岩		Ⅱ-16
A-94	石器	石キリ	石錐	3.9	3.1	0.8	7.9	黒曜石	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-16
A-95	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	90.0	3.5	0.9	19.9	頁岩	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-17
A-96	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	8.0	3.0	1.3	32.4	頁岩	第1地点第3層出土 15図掲載	Ⅱ-17
A-97	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	(8.8)	2.6	0.8	13.4	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-98	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.4	3.1	1.7	26.2	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-99	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	8.1	2.9	1.5	24.3	頁岩		Ⅱ-17
A-100	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.8	4.0	1.0	19.9	頁岩		Ⅱ-17
A-101	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.4	4.1	0.9	16.8	頁岩		Ⅱ-17
A-102	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.2	2.3	2.0	14.6	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-17
A-103	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.1	2.2	0.4	6.8	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-104	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.0	2.3	0.8	8.9	頁岩		Ⅱ-17
A-105	石器	有柄石小刀	スクレイパー?	7.3	2.8	1.2	20.9	頁岩		Ⅱ-17
A-106	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.7	2.6	0.8	14.8	頁岩		Ⅱ-17
A-107	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.6	2.5	1.1	16.0	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-17
A-108	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.1	2.6	1.0	9.8	頁岩		Ⅱ-17
A-109	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	5.6	2.3	0.8	7.0	頁岩	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-17
A-110	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	5.4	2.4	0.6	6.1	頁岩		Ⅱ-17
A-111	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	5.6	2.5	0.4	10.0	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-17
A-112	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.3	3.0	1.3	14.8	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-113	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.3	2.4	1.5	12.7	頁岩		Ⅱ-17
A-114	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.1	3.0	1.1	15.0	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-115	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.6	3.1	0.8	9.9	頁岩	第2地点第3層出土 54図掲載	Ⅱ-17
A-116	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	(5.6)	3.1	0.9	16.6	頁岩		Ⅱ-17
A-117	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	8.5	3.1	1.1	42.3	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-17
A-118	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	7.1	4.5	0.9	23.8	頁岩		Ⅱ-17
A-119	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	6.5	4.6	0.6	18.3	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-120	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	4.7	3.8	1.1	9.6	黒曜石	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-17
A-121	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	5.0	3.7	0.4	9.8	頁岩		Ⅱ-17
A-122	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	4.5	2.9	0.5	5.0	頁岩		Ⅱ-17
A-123	石器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	4.2	2.8	0.8	6.5	黒曜石		Ⅱ-17
A-124	石製品	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	4.0	5.6	1.1	21.9	頁岩	第2地点第4層出土 55図掲載	Ⅱ-18
A-125	土器	有柄石小刀	つまみ付きナイフ	4.8	6.0	0.7	17.0	頁岩	第2地点第5層出土 58図掲載	Ⅱ-18
A-126	土製品	石小刀	つまみ付きナイフ	8.8	5.3	1.4	60.3	頁岩	第2地点第6層出土 60図掲載	Ⅱ-18
A-127	石器	石小刀	スクレイパー	8.0	4.5	2.3	81.3	頁岩	第2地点第6層出土 60図掲載	Ⅱ-18
A-128	石器	石小刀	スクレイパー	7.5	4.7	1.3	31.9	頁岩	第2地点第6層出土 60図掲載	Ⅱ-18
A-129	石器	石小刀	スクレイパー	5.1	7.8	1.8	61.7	頁岩	第2地点第4層出土 56図掲載	Ⅱ-18
A-130	石器	石小刀	スクレイパー	7.6	4.5	1.1	34.1	頁岩		Ⅱ-18
A-131	石器	石小刀	スクレイパー	8.3	4.0	1.4	45.3	頁岩		Ⅱ-18
A-132	石器	石小刀	スクレイパー	8.4	4.6	2.1	113.4	安山岩	第2地点第6層出土 61図掲載	Ⅱ-18
A-133	石器	石小刀	スクレイパー	13.9	7.5	4.2	306.0	頁岩		Ⅱ-18
A-134	石器	石小刀	スクレイパー	8.0	6.3	2.1	99.7	頁岩		Ⅱ-18
A-135	石器	石小刀	スクレイパー	7.1	7.1	1.9	69.9	頁岩		Ⅱ-18
A-136	石器	石小刀	スクレイパー	7.3	6.6	1.3	50.0	頁岩		Ⅱ-18
A-137	石器	石小刀	スクレイパー	9.1	5.6	1.3	54.9	頁岩		Ⅱ-18
A-138	石器	石小刀	スクレイパー	7.1	5.5	2.1	60.3	頁岩		Ⅱ-18
A-139	石器	石小刀	スクレイパー	5.8	5.8	1.4	31.9	頁岩	第2地点第6層出土 59図掲載	Ⅱ-18

Ⅱ 岩内町東山 1 遺跡の調査

指定 番号	種 別	分 類		高 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	石 材	特 徴	図版 番号
		(文化財指定時)	現時点での分類							
A-140	石器		石小刀	5.6	5.4	1.3	29.5	頁岩		Ⅱ-19
A-141	石器		石小刀	5.1	3.6	1.1	17.4	頁岩		Ⅱ-19
A-142	石器		石小刀	5.0	3.9	1.4	22.4	頁岩		Ⅱ-19
A-143	石器		石小刀	4.3	4.0	1.0	12.7	頁岩		Ⅱ-19
A-144	石器		石小刀	5.7	5.4	0.9	21.7	頁岩		Ⅱ-19
A-145	石器		石小刀	6.7	3.0	0.9	12.9	頁岩		Ⅱ-19
A-146	石器		石小刀	6.4	2.9	1.5	20.1	頁岩	第 2 地点第 5 層出土 58図掲載	Ⅱ-19
A-147	石器		石小刀	6.4	5.0	1.1	16.9	頁岩		Ⅱ-19
A-148	石器		石小刀	7.3	2.9	1.6	21.6	頁岩	第 1 地点第 3 層出土 15図掲載	Ⅱ-19
A-149	石器		石小刀	6.6	3.5	1.3	18.7	頁岩		Ⅱ-19
A-150	石器		石小刀	6.9	4.4	1.4	26.1	頁岩		Ⅱ-19
A-151	石器		石小刀	6.6	4.7	1.4	25.2	頁岩	第 2 地点第 6 層出土 59図掲載	Ⅱ-19
A-152	石器		石小刀	7.4	3.1	1.6	25.7	頁岩		Ⅱ-19
A-153	石器		石小刀	5.2	3.0	1.2	17.4	頁岩		Ⅱ-19
A-154	石器		石小刀	5.5	2.3	0.8	7.3	頁岩		Ⅱ-19
A-155	石器		石小刀	5.5	2.8	1.3	15.0	頁岩		Ⅱ-19
A-156	石器		石小刀	6.9	3.1	1.5	18.3	頁岩		Ⅱ-19
A-157	石器		尖頭器用石器	10.8	4.4	2.7	126.5	頁岩		Ⅱ-19
A-158	石器		尖頭器用石器	9.8	4.1	2.8	84.1	頁岩		Ⅱ-19
A-159	石器		尖頭器用石器	9.1	3.7	2.4	88.8	頁岩		Ⅱ-19
A-160	石器		尖頭器用石器	8.9	4.3	1.8	52.4	頁岩	第 2 地点第 6 層出土 59図掲載	Ⅱ-19
A-161	石器		庖丁型石器	8.9	18.8	2.4	480.0	安山岩		Ⅱ-20
A-162	石器		庖丁型石器	7.6	15.8	1.6	240.0	安山岩		Ⅱ-20
A-163	石器		庖丁型石器	9.3	15.4	1.6	470.0	安山岩		Ⅱ-20
A-164	石器		庖丁型石器	9.0	15.6	2.7	520.0	安山岩	第 2 地点第 4 層出土 56図掲載	Ⅱ-20
A-165	石器		庖丁型石器	10.2	16.1	2.6	610.0	安山岩		Ⅱ-20
A-166	石器		庖丁型石器	10.8	15.3	2.3	550.0	安山岩		Ⅱ-20
A-167	石器		庖丁型石器	11.0	16.5	2.7	720.0	安山岩		Ⅱ-20
A-168	石器		庖丁型石器	8.1	14.8	3.1	420.0	安山岩		Ⅱ-20
A-169	石器		庖丁型石器	8.0	15.0	5.1	260.0	安山岩		Ⅱ-20
A-170	石器		庖丁型石器	7.5	16.4	2.9	370.0	安山岩		Ⅱ-20
A-171	石器		庖丁型石器	10.0	14.6	2.2	450.0	安山岩		Ⅱ-20
A-172	石器		庖丁型石器	7.5	16.3	2.6	380.0	安山岩		Ⅱ-20
A-173	石器		庖丁型石器	12.0	18.1	1.2	310.0	安山岩		Ⅱ-20
A-174	石器		石冠	12.2	13.8	6.4	1170.0	安山岩		Ⅱ-21
A-175	石器		石冠	10.7	15.1	7.3	1400.0	安山岩		Ⅱ-21
A-176	石器		石冠	8.8	14.1	6.3	920.0	安山岩		Ⅱ-21
A-177	石器		石冠	12.6	17.8	8.6	2490.0	安山岩		Ⅱ-21
A-178	石器		石冠	8.0	14.1	6.4	880.0	安山岩		Ⅱ-21
A-179	石器		石冠	8.9	12.2	5.5	910.0	安山岩		Ⅱ-21
A-180	石器		石冠	12.2	13.8	8.2	1580.0	安山岩		Ⅱ-21
A-181	石器		石冠	13.0	17.6	9.0	2460.0	安山岩	62図掲載	Ⅱ-21
A-182	石器		石冠	12.8	12.7	6.8	1600.0	安山岩		Ⅱ-21
A-183	石器		石冠	11.5	18.6	7.2	2170.0	安山岩	62図掲載	Ⅱ-21
A-184	石器		石冠	9.8	11.5	6.7	800.0	安山岩		Ⅱ-21
A-185	石器		石冠	12.0	12.3	7.4	1830.0	安山岩		Ⅱ-21
A-186	石器		石冠	11.8	15.8	7.1	1480.0	安山岩		Ⅱ-22
A-187	石器		石冠	12.2	14.5	9.1	1560.0	安山岩	63図掲載	Ⅱ-22
A-188	石器		石冠	7.0	7.1	5.5	260.0	安山岩		Ⅱ-22
A-189	石器		石皿・石皿	25.3	35.9	9.4	13750.0	安山岩		Ⅱ-23
A-190	石器		石垂	12.3	7.3	3.1	452.5	安山岩		Ⅱ-22
A-191	石器		石垂	15.5	12.6	7.9	1660.0	安山岩		Ⅱ-22
A-192	石器		石垂	9.8	11.9	3.2	496.5	安山岩	第 2 地点第 6 層出土 61図掲載	Ⅱ-22
A-193	石器		石垂	12.6	14.0	15.0	1190.0	安山岩		Ⅱ-22
A-194	石器		凹石	7.2	12.4	4.0	400.5	安山岩		Ⅱ-22
A-195	石器		凹石	5.9	15.0	3.1	446.5	安山岩		Ⅱ-22

※「特徴」欄の図掲載は『岩内遺跡』1958 掲載の図番号を示す。

※「分類」についての詳細は次年度あらためて調査報告する予定である。

Ⅲ 湧別町シブノツナイ竪穴住居群の調査

1 調査の概要

(1) 調査要項

調 査 名 称 重要遺跡確認調査

調 査 対 象 湧別町シブノツナイ竪穴住居群（埋蔵文化財包蔵地登録番号 I-21-35）
北海道指定史跡「シブノツナイ竪穴住居跡」（昭和42年3月17日指定）

所 在 地 紋別郡湧別町川西499-1・2、930、722-1・2・3、719、720、503、
502-1・2、714、717、718番地

対 象 面 積 139,486㎡

(2) 調査の経緯

【調査に至るまで】

本遺跡ではこれまでに2度の発掘調査が行われている。最初は昭和38年（1963年）、網走市立郷土博物館の米村哲英により3軒の竪穴住居跡が発掘され、カマドの存在や擦文式土器の出土から擦文文化期の遺跡であることが確認された（米村哲英「北海道紋別郡湧別町字川西シブノツナイ遺跡調査概報」）。2度目の調査は昭和41年（1966年）、大場利夫を発掘担当者として湧別町が実施した。2軒の擦文文化期の竪穴住居跡（238、318号）が調査されたほか、測量調査により竪穴住居跡が665軒確認された。この調査の後の昭和42年（1967年）に北海道の史跡に指定され、指定名称は「シブノツナイ竪穴住居跡」となった（平成12年に「シブノツナイ竪穴住居群」と改称）。なお、指定時の竪穴住居跡軒数は515軒である。

【重要遺跡確認調査】

平成26～29年度の4年間で、現況平面図の作成及び空中写真撮影などの現況確認調査、竪穴群の構築時期や分布状況などの確認を目的とした竪穴の発掘調査、既往の調査などに関する関連資料の収集を行うことが道教委より指示された。

昨年度の調査では、遺跡に関する資料収集、現地踏査及び現況の写真撮影などを行った。特に、年度末には残雪時の竪穴群を撮影することができ、本報告書に掲載した。

(3) 調査体制

北海道立埋蔵文化財センター指定管理者 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター

理 事 長 越田賢一郎

副 理 事 長 中田 仁

事 務 局 長 山田 寿雄

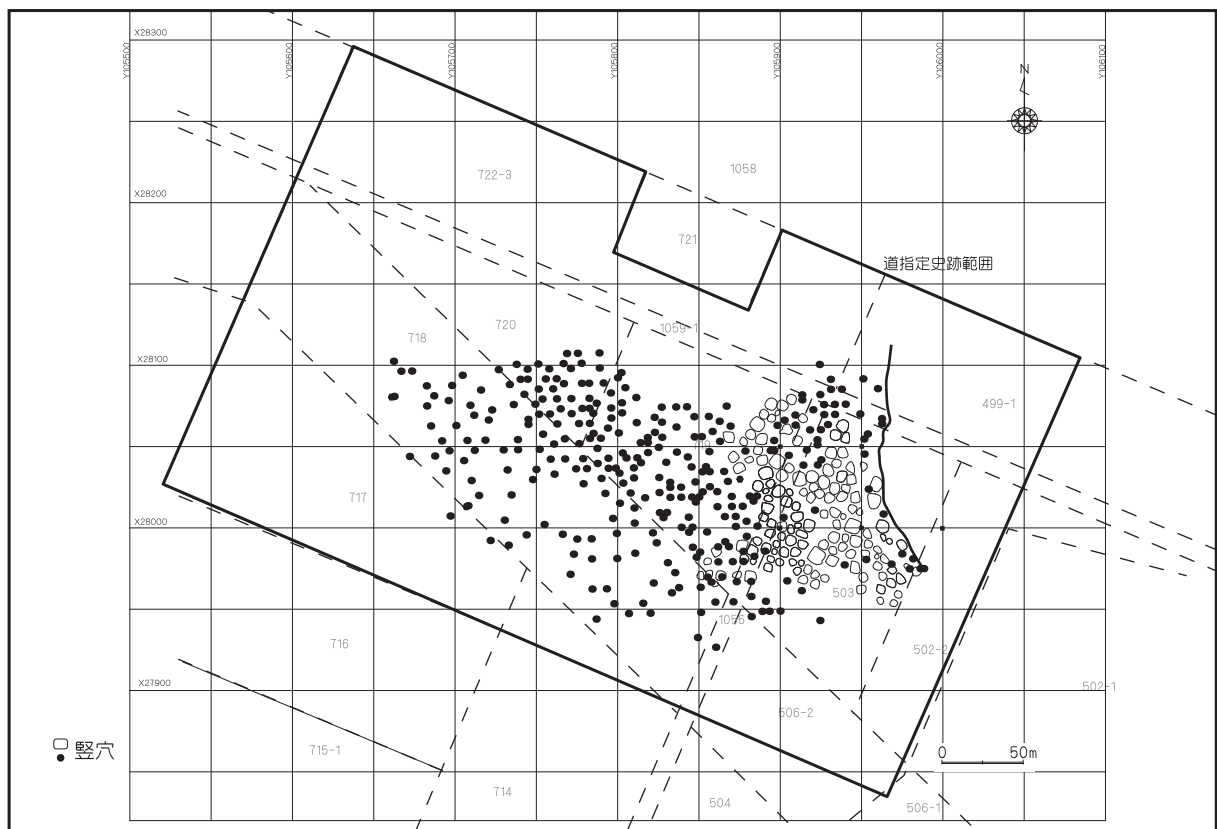
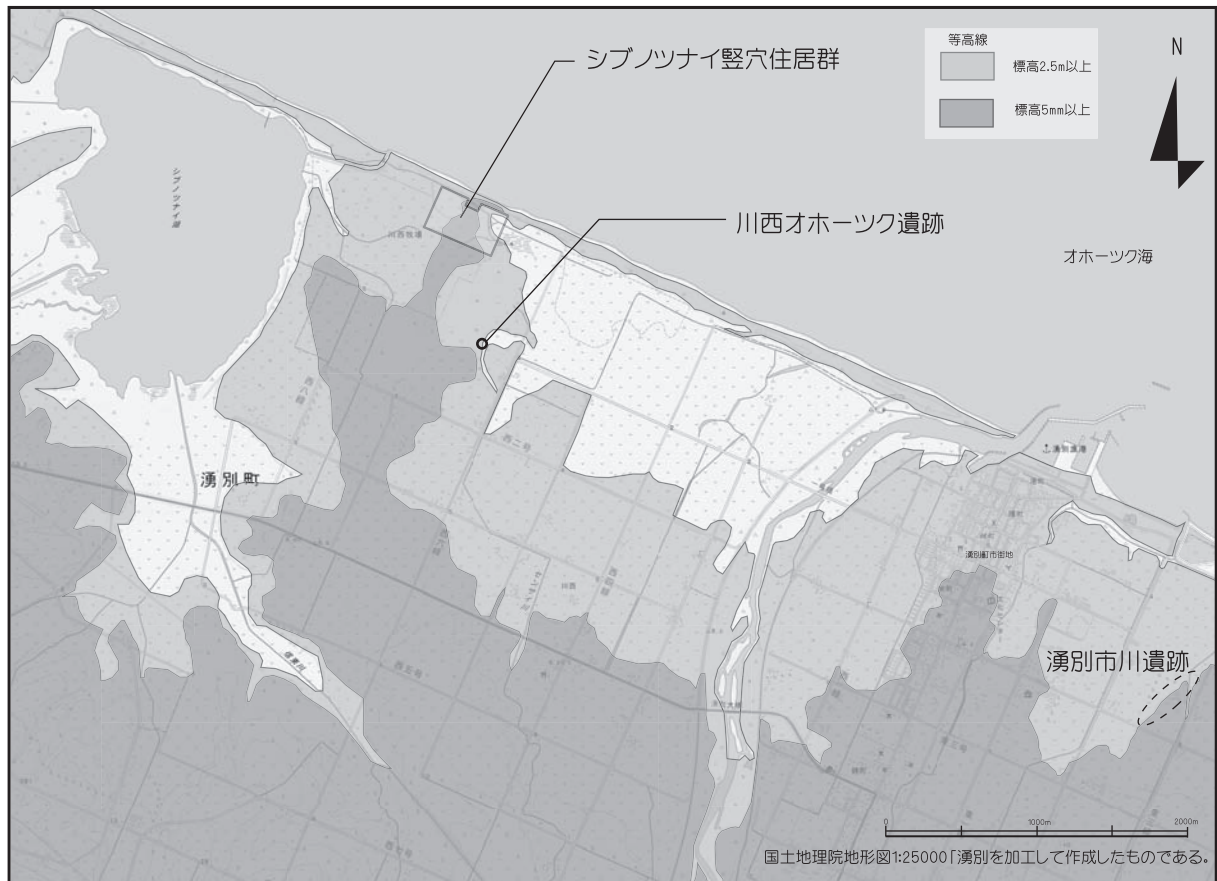
常 務 理 事 長沼 孝

総 務 部 部長 和田 基興

第1調査部 部長 長沼 孝

普及活用課 課長 鎌田 望

主査 藤井 浩



図Ⅲ－１ 遺跡の位置と道指定史跡範囲

第1調査課 主査 吉田裕吏洋

(4) 調査の経過

本調査は「平成26～29年度重要遺跡確認調査実施要領」に基づき、平成27年5月19日（火）に道教委文化財・博物館課と、6月26日（金）に湧別町教委との打ち合わせを経て計画したものである。

現地周辺は湧別町農業協同組合により牛の放牧地として使用されており、遺跡への進入方法、時期などについて綿密に打ち合わせを行った。放牧時期の調整や進入時の消毒などについて農協の協力を得ることが出来た。

調査に先行して9月29日（火）、30日（水）に基準杭の設置を(株)シン技術コンサルに委託して行った。

測量調査は平成27年10月1日（木）に着手した。最大3名の調査員と4名の作業員により、延べ10日にわたって作業を行い、10月9日（金）に現地の作業を終了した。期間中には大規模な放牧があり、低気圧及び台風の通過を受け、作業の中断を余儀なくされたこともある。

2 遺跡周辺の環境

(1) 遺跡の立地（図Ⅲ－1）

シブノツナイ堅穴住居群は湧別町川西地区に位置する。川西地区は湧別町内の北東部にあたり、北はオホーツク海に面し、東に湧別川、西はシブノツナイ湖の間にある。地区の大半が2m以下の低地帯であるが、湧別川の支流センサイ川とシブノツナイ湖との間には海に向かって細長く標高5mの段丘が延びている。この海岸段丘の先端部に堅穴群が立地する。この段丘のセンサイ川に面した側には川西オホーツク遺跡が立地する。川西オホーツク遺跡では昭和35年に米村喜男衛により「川西遺跡」として発掘調査が行われ、オホーツク文化期の堅穴と擦文文化期の堅穴が確認されているが、当時はシブノツナイ堅穴住居群と川西オホーツク遺跡とは一体のものと考えられていたようである。

(2) 窪みで残る大規模な堅穴群の分布について（表Ⅲ－1、図Ⅲ－2）

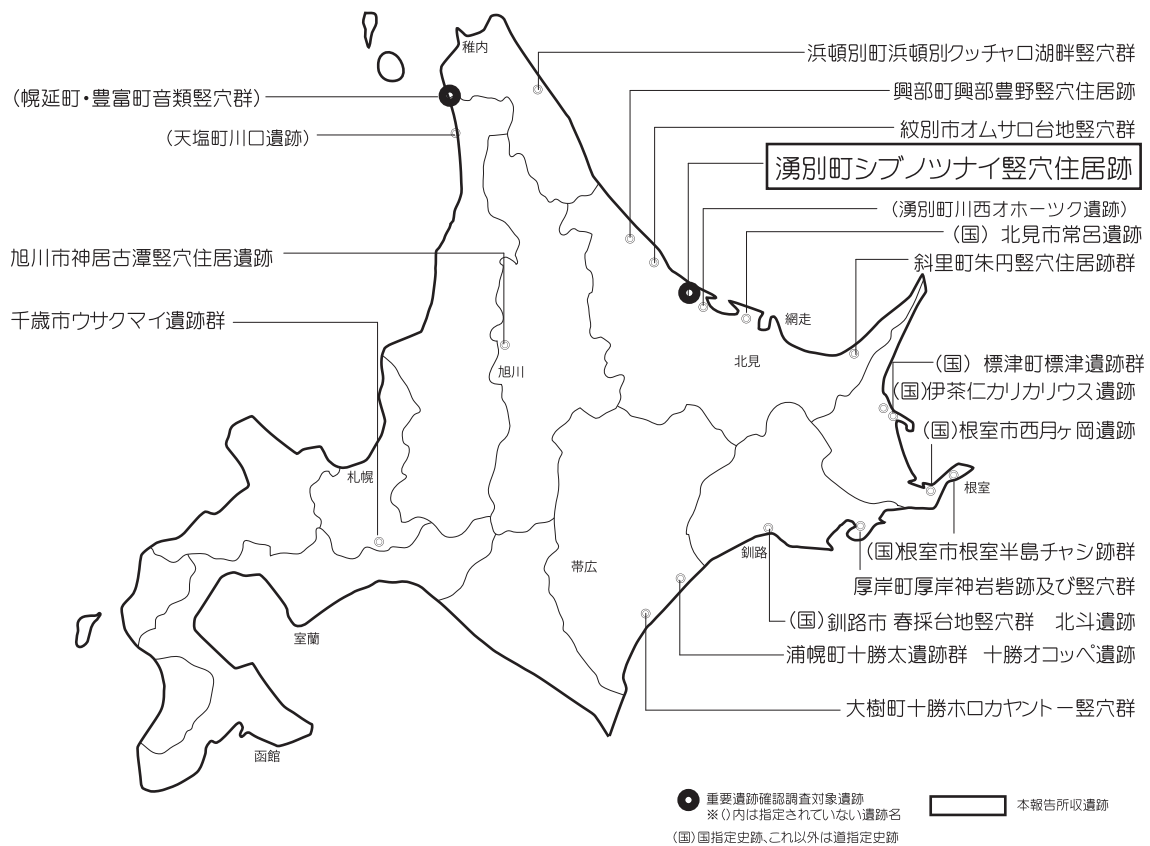
比較の基礎資料作成の手がかりとして、道内に窪みで残る堅穴群について国または道指定史跡を中心に概観する。

オホーツク海沿岸には北から枝幸町、紋別市、湧別町、北見市常呂町、斜里町、標津町、根室市まで堅穴群が分布する。この中には北見市常呂遺跡や標津町標津遺跡群など2000軒を超える堅穴が確認されている大規模堅穴群がある。その多くは海岸砂丘上に立地している。時期は擦文文化期を中心に、オホーツク文化期が含まれるところも多い。また、規模の大きいところでは続縄文時代や縄文時代に及ぶところもある。

釧路市を中心とした太平洋側では、東から厚岸町、釧路市、大樹町、浦幌町などに分布している。立地は海岸段丘上に多く、擦文文化期の遺跡がほとんどであるが、十勝地域の堅穴群ではオホーツク文化期も確認されている。

史跡には指定されていないが、日本海側北部にも幌延町、豊富町、天塩町に大規模な堅穴群が分布している。幌延町、豊富町にまたがる音類堅穴群は重要遺跡確認調査によって765軒の窪みで残る堅穴を確認した。擦文文化期の堅穴が主体である。

内陸部では石狩川流域の旭川市神居古潭堅穴住居遺跡、千歳川流域の千歳市ウサクマイ遺跡群が知られている。石狩川流域では旭川市から深川市に至る周辺においても堅穴群が確認されている。また、



図Ⅲ－２ 窪みで残る堅穴群の位置

表Ⅲ－１ 窪みで残る堅穴群一覧（国、道指定史跡を中心に）

地 域	史跡指定区分	遺 跡 名		指 定 日	堅穴数	時 期
オホーツク 海沿岸	道指定 史跡	浜頓別町	浜頓別クッチャロ湖畔堅穴群	S41.7.7	173	擦文
	道指定 史跡	興部町	興部豊野堅穴住居跡	S43.12.18	40	縄文 擦文
	道指定 史跡	斜里町	朱門堅穴住居跡群	S42.6.22	750	縄文 続縄文 擦文 オホーツク
	道指定 史跡	紋別市	オムサロ台地堅穴群	S39.10.3	208	縄文、続縄文、 オホーツク、擦文
	道指定 史跡	湧別町	シブノツナイ 堅穴住居跡	S42.3.17	(515) 指定時	縄文、続縄文、 オホーツク、擦文
		湧別町	オホーツク川西遺跡		49	擦文 オホーツク文化
	国指定 史跡	北見市	常呂遺跡	S49.3.12	2706	縄文 続縄文 擦文 オホーツク
	国指定 史跡	標津町	標津遺跡群	伊茶仁カリカリウス遺跡 S54.5.22 古道遺跡 S51.6.21 三本木遺跡 H1.10.20	2496 (+1893)	縄文 続縄文 擦文 オホーツク
	国指定 史跡	根室市	西月ヶ岡遺跡	S51.8.28	約350	擦文
太平洋沿岸	道指定 史跡	浦幌町	十勝オコッベ遺跡	S51.5.21	20	擦文
	道指定 史跡	浦幌町	十勝太遺跡群	S51.5.21	約500	擦文 オホーツク
	道指定 史跡	大樹町	十勝ホロカヤントー堅穴群	S41.7.7	約130	擦文 オホーツク
	道指定 史跡	厚岸町	厚岸神岩砦跡及び堅穴群	S41.7.7	763	擦文
	国指定 史跡	釧路市	春採台地堅穴群	S10.12.24	59	擦文
	国指定 史跡	釧路市	北斗遺跡	S52.7.14	386	縄文 続縄文 擦文
石狩川流域	道指定 史跡	旭川市	神居古潭堅穴住居遺跡	S32.12.20	219	擦文
千歳川流域	国指定 史跡	千歳市	ウサクマイ 遺跡群	S54.5.23	75	擦文
日本海沿岸		幌延町 豊富町	音類堅穴群		796	擦文
		天塩町	川口遺跡		230	続縄文 擦文 オホーツク

史跡には指定されていないが札幌市内の旧琴似川流域の遺跡なども窪みで残る竪穴群も確認されている。これらのいずれもが擦文文化期のものが主である。

今後、史跡以外の遺跡も含めて竪穴群についての資料収集を行い、成果を報告する予定である。

3 測量調査

(1) 調査の方法

【調査対象と範囲】

調査対象は北海道指定史跡「湧別町シブノツナイ竪穴住居跡」の指定範囲内である。史跡の指定範囲については、昨年度の報告に触れているが、現時点で境界標などを確認できていないため、今回は指定時の図面を基に地籍図と照合して測量図を作成した。

【測量】

測量作業については、基準点測量や図化を(株)シン技術コンサルに委託し、竪穴の詳細な実測は調査員、作業員で行った。基準点は現地周辺に3級基準点を3か所設置した。平面直角座標系XⅡ系に基づき、H27T1 (X=28023.035 Y=105954.852)、H27T2 (X=28194.267 Y=10586.322)、H27T3 (X=27945.352 Y=105742.691)である。水準点は各基準点にH27T1 (4.298m)、H27T2 (5.010m)、H27T3 (4.702m)に水準点を設置することが出来た。

史跡範囲内には発掘調査のための測量基準杭を5か所設置した。平面直角座標系(第XⅡ系)に基づき、No1 (X=28000.0 Y=105900.0 Z=4.013)、No2 (X=28050.0 Y=105900.0 Z=4.511)、No3 (X=28000.0 Y=105950.0 Z=4.437)、No4 (X=28050.0 Y=105950.0 Z=4.266)、No5 (X=28000.0 Y=106000.0 Z=2.371)である。

また、詳細測量に並行して、竪穴の分布範囲を把握するため、簡易GPS機器(Garmin社製eTrex Venture)を用いた測量も行った。各竪穴の窪みの中心位置を計測し、座標値を得ることで竪穴の分布図及び分布範囲図を作成した。簡易GPSの計測精度は誤差約0.5～1mであり、最小の竪穴でも径1mあるので、1000分の1程度の分布図を作成するには問題ないと思われる。

各竪穴番号については昭和41年度調査時のものなどがあるが、すでに特定が困難になっているため、新規に付与することとした。概ね竪穴群の東から西に向かって順に番号を振ったが、保安林内など進入の困難な場所にある竪穴などについては順不同である。

【現地撮影】(図版Ⅲ-1～11)

現地での撮影には6×7判のカメラを主体にし、4×5判のカメラとデジタルカメラを用いた。竪穴群の撮影については竪穴分布概況とともに個々の竪穴の撮影を行い、竪穴群東部から中央部までを完了した。

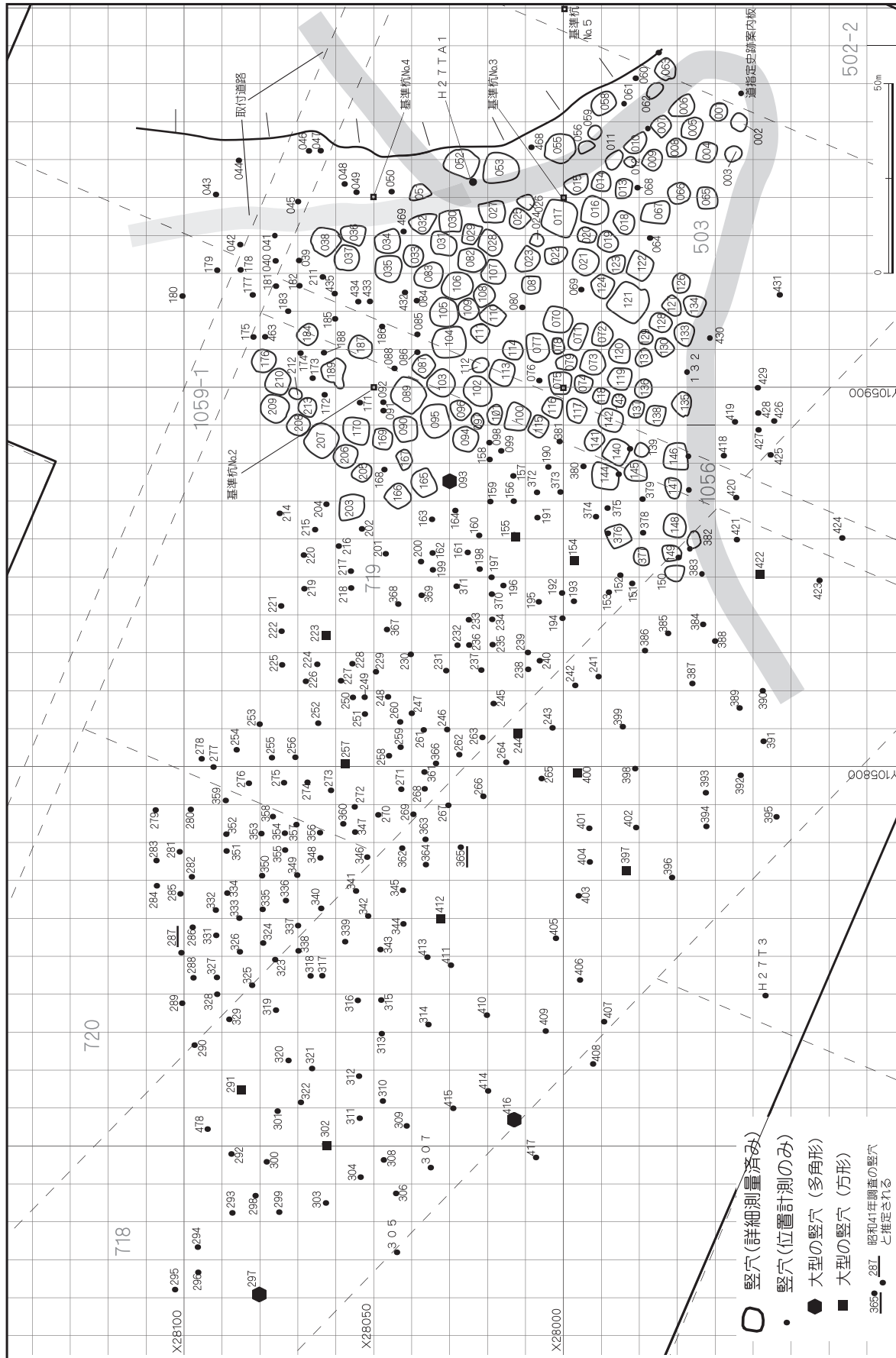
(2) 測量調査の成果

今回の測量では竪穴分布図(縮尺1/1000)と詳細測量図(縮尺1/100)を作成した。作成に伴い各竪穴の詳細な観察記録、分布範囲確認のための周辺踏査もおこなった。

【竪穴分布図の作成と成果】(表Ⅲ-2 図Ⅲ-3)

竪穴分布図の作成にあたり、大小合わせて435か所の竪穴の分布を確認し、観察のうえ、その位置について簡易GPS機器を用いて記録した。その中には竪穴を示す窪みか明らかではない不確実のものも含まれている。

竪穴の分布範囲は西北西から南南東方向の長軸が350m、幅が150m～180mの長楕円形を呈してい



図Ⅲ-3 シブノツナイ堅穴住居群 堅穴分布図 (図の上が北を示す)

る。分布範囲の北側は中央部を除く西側、東側に湿地帯があり、海岸砂丘の後背湿地にあたる。丘陵の際は湿地との比高3mの急崖となっているが、堅穴の分布は崖際まで及んでいる。北側の中央部は標高5mの丘陵が海岸砂丘にまで延びており、平坦面が続くが堅穴の分布は見られない。

分布範囲の南側は防風林となっているが、林内にも堅穴が分布している。砂利道以南の防風林内は牧草地外のため除草などが行われず、笹が繁茂しており堅穴が視認しづらい状態であったが、堅穴418～431までを確認することが出来た。特に堅穴422は1辺9m近い大型の方形堅穴である。さらに南東方向にも堅穴の分布を確認したところ、分布は途切れ、50～60mのところ湿地帯によって遮られた。その先には川西オホーツク遺跡へと続く丘陵が見えたため、連続する可能性のあった両遺跡間は地形によって分断されていることが明らかになった。防風林よりもさらに南側は平坦な地形が続いているが、堅穴分布は及んでいない。現況は牧場となっているので、地形が改変されている可能性も考えられる。また、堅穴の中には道路の敷設によって一部埋められているものも見られた。

分布状況は概ね東側に密度が高く、西側に低くなる傾向が見られる。特に防風林内は疎らである。堅穴のない部分が少なく、径20m以上の空白は3か所程度見られるのみである。堅穴の規模については大型の堅穴が20～60mの間隔で分布し、多角形の大型堅穴も100m以上の間隔で分布している。

【詳細測量図の作成と成果】(図Ⅲ-4)

詳細測量図では分布図作成で確認した堅穴435か所のうち堅穴群東側の149か所について詳細測量を行った。堅穴群の中でも最も密度の高い部分に当たる。現地での観察と同様、詳細測量図からも堅穴群の密集度、近接状況がこの堅穴群の最大の特徴と言え、50m四方の中で50軒近い堅穴が確認された。堅穴の周囲は平坦ではなく、起伏が見られることから、堅穴の掘り上げ土も残存していることがうかがえる。また、堅穴間の間隔がわずかであることから掘り上げ土が重複していることも推測された。

大小または方形、円形など平面形も様々に入り混じって近接するのも特徴の一つである。堅穴は、その規模について径または一辺が5mより少ないものを小、5～8mを中、8～10mが大、10mを超えるものを特大とした。最も多いのは径5～8mの中規模の堅穴である。さらに堅穴の深さについてはその最大深が0.5m以下のものを「浅い」、0.5～0.8mを「やや深い」、0.8～1mを「深い」、1m以上のものを「特に深い」と分類した。中でも「深い」に分類した堅穴が最も多くみられた。

【湧別町シブノツナイ遺跡立て穴位置図との照合】

昭和41年調査時に作成されたと考えられる「湧別町シブノツナイ遺跡立て穴位置図」(縮尺1/1000)と今回作成した堅穴分布図との照合を行うことができた。これにより「立て穴位置図」ではベースとなる地籍図と「立て穴」の位置にずれがあることが明らかになった。詳細を確認すると地籍図そのものに誤りがなく、また「立て穴」の分布状況にも大きな誤りがないため、地籍図と分布図を合成した際に何らかのずれが生じたものと思われる。

「立て穴位置図」の「立て穴」分布に誤りがなかったため、今回の堅穴分布図と照合することが可能になった。その結果、明らかになったことについて下記の2点が挙げられる。

- 「立て穴位置図」に記載されて、今回の堅穴分布図では確認できなかった堅穴がある。

堅穴群内を通る道路の敷設によって、堅穴が埋められている可能性がある。また堅穴群東部及び北辺の一部で堅穴が確認できなかった部分があり、整地または盛土されている可能性も考えられる。これらのことから堅穴の数が当初の515軒から今回の435軒に減少した背景と考えられる。

- 昭和41年に発掘された2か所の堅穴住居跡(旧238号、318号堅穴)について、およその位置を特定することが出来た。

昭和41年度の調査では、昭和41年6月に大場利夫を担当者とする調査では堅穴665か所を確認し、



図Ⅲ－４ シブノツナイ竪穴住居群 竪穴詳細測量図（図の上が北を示す）

そのうちの238号、318号住居跡の2か所で発掘が行われた。この238号、318号が今回測量した365号、287号竪穴の可能性はある。いずれも方形の中規模の深い竪穴である。

4 調査成果と課題

竪穴が竪穴住居跡であることは昭和38年、41年の調査によっても明らかである。最も多くみられる方形の住居跡がかまどを伴うなど擦文文化期の特徴をもつものであることもこれまでの調査によって明らかである。今回の竪穴観察によると方形のほかにも円形や多角形、張り出しのある不整形の竪穴なども観察された。また長軸10mを超える大型のものや径が2～3mの小型のものも確認された。これらのことから、竪穴の中には縄文時代や続縄文時代、オホーツク文化期などそれぞれの特徴ある形状の竪穴が含まれていることがわかる。

また、詳細測量によってより明確になった竪穴分布密度の高さは周辺の竪穴群と比較しても類のないほど高いものと思われる。これには平坦な地形が広範囲に広がる海岸段丘に立地していることが影響しているものと思われる。同様な立地条件の竪穴群と比較することでその背景が明らかになると考えられる。

次年度は竪穴群全域の詳細測量を完成させ、周辺の地形測量にも着手する予定である。また、旧調査の竪穴について明らかにするためにも当時の出土遺物に関連する資料の充実に努めていきたいと考えている。

【参考文献】

- 米村喜男衛 1961 『紋別郡湧別町川西遺跡調査報告書』昭和36年8月
米村哲英(1963)『北海道紋別郡湧別町字川西シブノツナイ遺跡調査概報』(昭和36年8月) 湧別町
湧別町教育委員会 1966 『湧別町シブノツナイ遺跡調査概要』昭和41年
北海道立北方民族博物館 1995 『北方民族博物館調査報告 湧別町川西遺跡』平成7年3月

表Ⅲ－２ 確認堅穴一覧

堅穴 確認番号	堅穴位置 X 座標	堅穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
1	27950	105960 105970	詳細測量	小型	5 m	浅い	0.3m	円形	
2	27950	105960 105970	詳細測量	小型	長軸4.5m	浅い	0.3m	長方形	
3	27950	105960	詳細測量	中型	長軸 5 m	やや深い	0.5m	不整形	
4	27960	105960	詳細測量	中型	長軸 7 m	やや深い	0.4m	長方形	
5	27960	105960	詳細測量	中型	長軸 7 m	やや深い	0.4m	楕円形	
6	27960 27970	105970	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.5m	方形	砂利道で一部埋められる
7	27970	105960 105970	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.4m	方形	砂利道で一部埋められる
8	27960 27970	105960	詳細測量	中型	径 5 m	やや深い	0.5m	円形	
9	27970	105950 105960	詳細測量	中型	一辺 6 m	浅い	0.2m	不明瞭な方形	
10	27970 27980	105960	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.5m	方形	砂利道で一部埋められる
11	27980	105950 105960	詳細測量	中型	一辺 5 m	浅い	0.2m	方形	
12	27980	105950 105960	詳細測量	小型	径 3 m	浅い	0.2m	円形	
13	27980	105940 105950	詳細測量	中型	長辺 7 m	浅い	0.3m	長方形	
14	27980 27990	105950	詳細測量	小型	径 4 m	浅い	0.3m	円形	
15	27990	105950	詳細測量	大型	一辺 7 m	やや深い	0.5m	不明瞭な方形	砂利道で一部埋められる
16	27980 27990	105940	詳細測量	大型	一辺 8 m	深い	0.6m	方形	
17	27990 28000	105940	詳細測量	大型	一辺 9 m	深い	0.7m	方形	
18	27980	105940	詳細測量	中型	一辺 6 m	深い	0.6m	方形	
19	27980	105930 105940	詳細測量	小型	径 5 m	深い	0.6m	やや円形	
20	27990	105930 105940	詳細測量	小型	長辺 5 m	浅い	0.3m	長方形	
21	27990	105930	詳細測量	大型	一辺 8 m	とても深い	0.8m	不明瞭な方形	
22	27990 28000	105930	詳細測量	小型	長径 7 m	やや深い	0.5m	楕円形	
23	28000 28010	105930	詳細測量	小型	一辺 4 m	浅い	0.2m	方形	
24	28000	105930	詳細測量	小～中型	一辺 6 m	浅い	0.2m	方形	
25	28010	105940	詳細測量	小型	径 4 m	やや深い	0.5m	円形	
26	28000 28010	105940	詳細測量	大型	一辺 7 m	浅い	0.3m	方形	
27	28010 28020	105940	詳細測量	大型	一辺 6 m	やや深い	0.5m	方形	
28	28010 28020	105930	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.5m	方形	
29	28020	105930 105940	詳細測量	中～大型	一辺 5 m	浅い	0.3m	長方形	
30	28020 28030	105940	詳細測量	中型	一辺 6 m	浅い	0.3m	方形	
31	28020 28030	105930	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.5m	不明瞭な方形	
32	28030	105940	詳細測量	大型	一辺 8 m	やや深い	0.4m	方形	砂利道（旧道）で一部埋められる
33	28030 28040	105930	詳細測量	中型	径 6 m	深い	0.6m	円形	
34	28040	105930 105940	詳細測量	中型	径 7 m	深い	0.7m	円形	
35	28040	105920 105930	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.4m	不明瞭な方形	
36	28050	105930 105940	詳細測量	中型	7 * 5 m	やや深い	0.4m	楕円形	
37	28050	105930	詳細測量	中型	一辺 7 m	深い	0.6m	不明瞭な方形	
38	28060	105930 105940	詳細測量	中型	径 7 m	深い	0.6m	円形	
39	28060	105930	簡易 GPS	中～大型		浅い		不明瞭な方形	
40	28070	105930	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	砂利道で一部埋められる
41	28070	105930	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
42	28080	105930	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
43	28090	105950	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
44	28080	105950	簡易 GPS	大型		浅い		方形	最北に位置する
45	28070	105940	簡易 GPS	大型		浅い		不明瞭	段丘縁に位置する
46	28060	105960	簡易 GPS	中型		浅い		不整形	
47	28060	105960	簡易 GPS	中型		浅い		不整形	
48	28050	105950	簡易 GPS	大型		浅い		不明瞭	段丘縁に位置する
49	28050	105950	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	
50	28040	105950	簡易 GPS	大型		浅い		不明瞭な方形	段丘縁に位置する
51	28030	105950	詳細測量	小型		やや深い	0.4m	不明瞭	
52	28020	105950 105960	詳細測量	大型		とても深い	0.8m	不明瞭な方形	砂利道で一部埋められる
53	28010	105950 105960	詳細測量	大型		深い	0.6m	円形	砂利道で一部埋められる
54	28000	105960	簡易 GPS	小型		浅い		長方形	
55	27990 28000	105960	詳細測量	大型		深い	0.6m	円形	砂利道で一部埋められる
56	27990	105960	詳細測量	中型		浅い	0.2m	不明瞭	砂利道で一部埋められる

重要遺跡確認調査報告書

堅穴 確認番号	堅穴位置 X 座標	堅穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
57	27980	105960	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
58	27990	105970	詳細測量	中型		やや深い	0.4m	円形	
59	27990	105960	詳細測量	小型		浅い	0.2m	方形	
60	27980	105980	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	
61	27980	105970	簡易 GPS	小型		浅い		円形	砂利道で一部埋められる
62	27970	105920	詳細測量	小型		浅い	0.2m	不明瞭	砂利道で一部埋められる
63	27970	105980	詳細測量	中型	径 6 m	浅い	0.3m	円形	
64	27970	105930	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	
65	27960	105940 105950	詳細測量	中型	一辺 6 m	深い	0.6m	方形	
66	27960 27970	105940 105950	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.4m	方形	
67	27970	105940	詳細測量	中型	長辺 7 m	深い	0.7m	長方形	
68	27980	105950	簡易 GPS	中型		深い		円形	
69	27990	105920	簡易 GPS	中～大型		浅い		方形	
70	28000	105910	詳細測量	中型	一辺 8 m	深い	0.6m	不明瞭な方形	
71	27990	105910	詳細測量	中型	7 * 4 m	浅い	0.3m	長方形	
72	27980 27990	105910	詳細測量	中型	7 * 5 m	深い	0.6m	長方形	
73	27980	105900	詳細測量	中型	長辺 7 m	深い	0.6m	長方形	
74	27990	105900	詳細測量	小型	一辺 5 m	深い	0.6m	方形	
75	27990	105900	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.5m	方形	
76	28000	105890	簡易 GPS	中型		深い		方形	
77	28000	105900 105910	詳細測量	中型	8 * 6 m	やや深い	0.5m	楕円形	
78	28000	105900 105910	詳細測量	小型	一辺 4 m	やや深い	0.5m	不明瞭な方形	
79	27990 28000	105900	詳細測量	小型	5 * 4 m	浅い	0.3m	楕円形	
80	28010	105920	簡易 GPS	中型		浅い		円形	
81	28000 28010	105920	詳細測量	中型	一辺 6 m	浅い	0.2m	方形	
82	28020	105930	詳細測量	大型	長径 8 m	深い	0.7m	楕円形	
83	28030	105920 105930	詳細測量	中型	長径 8 m	深い	0.7m	楕円形	
84	28030	105920	簡易 GPS	小型		深い		不明瞭	
85	28030	105910	簡易 GPS	大型		深い		方形	
86	28030	105900	簡易 GPS	小型		深い		方形	
87	28030	105900	詳細測量	中型	一辺 6 m	とても深い	0.8m	方形	
88	28040	105900	簡易 GPS	大型		深い		方形	
89	28030 28040	105890 105900	詳細測量	特大型	一辺10m	とても深い	0.8m	方形または六角形	
90	28040	105880 105890	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.4m	方形	
91	28040	105890	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
92	28040	105890	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
93	28030	105870	簡易 GPS	特大型		深い		六角形	
94	28020	105880	詳細測量	大型	一辺 7 m	深い	0.6m	不明瞭な方形	
95	28030	105880 105890	詳細測量	大型	一辺 9 m	とても深い	0.8m	方形	
96	28020	105890	詳細測量	中型	一辺 5 m	浅い	0.3m	方形	
97	28020	105890	詳細測量	小型	径 3 m	浅い	0.3m	円形	
98	28010	105880	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
99	28010	105880	簡易 GPS	中型		深い		円形	
100	28000 28010	105890	詳細測量	中型	一辺 7 m	深い	0.6m	方形	
101	28010	105890	詳細測量	中型	6 * 3 m	やや深い	0.4m	楕円形	
102	28020	105890	詳細測量	大型	一辺 8 m	深い	0.7m	不明瞭な方形	
103	28020 28030	105890 105900	詳細測量	中型	一辺 7 m	とても深い	0.8m	不明瞭な方形	
104	28020	105900	詳細測量	特大型	一辺10m	深い	0.6m	方形	
105	28020	105910	詳細測量	大型	一辺 8 m	深い	0.7m	方形	
106	28020	105920	詳細測量	大型	長径 9 m	深い	0.6m	楕円形	
107	28010	105920	詳細測量	中型	径 6 m	深い	0.6m	不明瞭	
108	28020	105920	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.4m	方形	
109	28020	105920	詳細測量	中型	一辺5.5m	やや深い	0.5m	方形	
110	28020	105910	詳細測量	小型	5 * 3 m	深い	0.6m	楕円形	
111	28020	105910	詳細測量	小型	径 4 m	やや深い	0.4m	円形	
112	28020	105900	詳細測量	小型	4 * 2 m	やや深い	0.4m	楕円形	
113	28010	105900	詳細測量	大型	一辺 7 m	やや深い	0.4m	方形	
114	28010	105900	詳細測量	中型	5.5m	やや深い	0.5m	円形	
115	28000	105880	詳細測量	小型	一辺 5 m	深い	0.6m	方形	
116	28000	105890	詳細測量	中型	一辺 6 m	深い	0.6m	方形	
117	27990	105890	詳細測量	中型	一辺 5 m	深い	0.6m	方形	
118	27990	105890	詳細測量	小型	径 4 m	深い	0.6m	円形	
119	27980	105900	詳細測量	中型	長径 7 m	深い	0.6m	楕円形	
120	27980	105900	詳細測量	中型	一辺 6 m	深い	0.7m	方形	
121	27970 27980	105910 105920	詳細測量	特大型	一辺10m	深い	0.7m	方形	かまどと思われる部分が残る
122	27980	105930	詳細測量	大型	一辺 8 m	深い	0.6m	方形	
123	27980	105930	詳細測量	小型	一辺5*3m	やや深い	0.4m	やや長方形	
124	27980 27990	105920	詳細測量	小型	一辺 5 m	深い	0.7m	方形	
125	27970	105920	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
126	27960 27970	105920	詳細測量	小型	径 5 m	やや深い	0.4m	円形	

Ⅲ 湧別町シブノツナイ堅穴住居群の調査

堅穴 確認番号	堅穴位置 X 座標	堅穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
127	27970	105920	詳細測量	小型	一辺 4 m	深い	0.6m	不明瞭な方形	
128	27970	105910	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.5m	不明瞭な方形	
129	27970	105910	詳細測量	小型	長径 4 m	やや深い	0.4m	楕円形	
130	27970	105910	詳細測量	中型	一辺 5.5 m	やや深い	0.4m	不明瞭な方形	
131	27970	105900	詳細測量	小型	径 5 m	深い	0.6m	円形	やや細長い
132	27960	105900	簡易 GPS	大型		深い		方形	砂利道で半分埋められる
133	27960	105910	詳細測量	大型	径 6 m	深い	0.6m	円形	砂利道で一部埋められる
134	27960	105920	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.4m	方形	砂利道で一部埋められる
135	27960	105890	詳細測量	大型	一辺 6 m	やや深い	0.5m	方形	砂利道で一部埋められる
136	27970	105900	詳細測量	中型	長径 6 m	深い	0.6m	楕円形	細長い形状に特徴がある
137	27970 27980	105890	詳細測量	小型	5 * 3 m	浅い	0.3m	長方形	
138	27970	105890	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.5m	方形	
139	27970 27980	105880	詳細測量	小型	径 4 m	やや深い	0.4m	円形	
140	27980	105880	詳細測量	大型	一辺 7 m	深い	0.6m	方形	
141	27990	105880	詳細測量	中型	径 5 m	やや深い	0.4m	円形	
142	27980	105890	詳細測量	中～大型	一辺 7 m	深い	0.6m	方形	
143	27980	105890	詳細測量	小型	径 3 m	やや深い	0.4m	円形	
144	27980 27990	105870	詳細測量	大型	一辺 7 m	とても深い	0.8m	方形	
145	27970	105870	詳細測量	中型	一辺 6.5 m	とても深い	0.9m	方形	
146	27960	105880	詳細測量	大型	一辺 7.5 m	やや深い	0.5m	方形	南半分砂利道に切られる
147	27960	105870	詳細測量	中型	径 5.5 m	やや深い	0.4m	円形	
148	27970	105860	詳細測量	大型	一辺 6 m	深い	0.6m	不明瞭な方形	
149	27960	105850	詳細測量	小型	一辺 4 m	やや深い	0.5m	方形	
150	27960	105820	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.4m	方形	
151	27980	105840	簡易 GPS	中型		深い		方形	
152	27980	105850	簡易 GPS	小～中型		やや深い		方形	
153	27980	105840	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
154	27990	105850	簡易 GPS	特大型		深い		方形	
155	28010	105860	簡易 GPS	特大型		とても深い		方形	
156	28010	105870	簡易 GPS	大型		深い		方形	
157	28010	105870	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
158	28010	105890	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
159	28010	105860	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
160	28020	105860	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
161	28020	105850	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
162	28030	105850	簡易 GPS	中型		深い		方形	
163	28030	105860	簡易 GPS	中型		やや深い		不整形	
164	28020	105860	簡易 GPS	中型		やや深い		楕円形	
165	28030	105870	詳細測量	中型	一辺 7 m	とても深い	0.8m	不明瞭な方形	
166	28040	105860 105870	詳細測量	中型	一辺 6 m	とても深い	0.8m	方形	
167	28040	105880	詳細測量	小～中型	径 5 m	浅い	0.3m	円形	168と接続している
168	28040	105870	簡易 GPS	小型		深い		円形	167と接続している
169	28040	105880	詳細測量	中型	一辺 5.5 m	やや深い	0.4m	方形	
170	28050	105880	詳細測量	大型	一辺 7 m	深い	0.6m	方形	
171	28050	105890	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
172	28060	105890	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
173	28060	105900	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
174	28060	105900	簡易 GPS	中～大型		浅い		方形	
175	28080	105910	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	
176	28070	105900	詳細測量	中型	径 7 m	深い	0.6m	円形	
177	28080	105920	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
178	28080	105930	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
179	28090	105930	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
180	28100	105920	簡易 GPS	中型		浅い		方形	堅穴群の北辺に位置する
181	28070	105920	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
182	28060	105920	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
183	28070	105920	簡易 GPS	大型		深い		方形	
184	28060	105910	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.4m	方形	174と接続している
185	28060	105910	簡易 GPS	大型		深い		方形	
186	28040	105910	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
187	28050	105900	詳細測量	大型	一辺 7 m	やや深い	0.5m	方形	
188	28060	105900	簡易 GPS	中～大型		浅い		不明瞭な方形	
189	28060	105900	詳細測量	中型	径 7 m	やや深い	0.5m	不整形	円形の張り出しがある
190	28000	105870	簡易 GPS	大型	一辺 6 m	やや深い		方形	
191	28000	105860	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
192	28000	105840	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭	
193	27990	105840	簡易 GPS	小型		やや深い		円形	
194	28000	105830	簡易 GPS	大型		深い		方形	
195	28000	105840	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
196	28010	105840	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
197	28020	105840	簡易 GPS	小型		浅い		方形	
198	28020	105850	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭な方形	
199	28030	105850	簡易 GPS	小～中型		浅い		不明瞭な方形	
200	28030	105850	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
201	28040	105850	簡易 GPS	中～大型		浅い		不明瞭な方形	
202	28050	105860	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	
203	28050	105860 105870	詳細測量	大型	一辺 9 m	とても深い	1.0m	不明瞭な方形	
204	28060	105860	簡易 GPS	大型		深い		方形	
205	28050	105870	詳細測量	中型	一辺 5 m	やや深い	0.5m	不明瞭な方形	
206	28050	105880	詳細測量	中型	径 7 m	深い	0.6m	円形	

重要遺跡確認調査報告書

竪穴 確認番号	竪穴位置 X 座標	竪穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
207	28060	105880	詳細測量	大型	一辺 9 m	深い	0.6m	方形	
208	28060	105890	詳細測量	中型	径 6 m	深い	0.6m	円形	
209	28070	105890	詳細測量	大型	一辺 8 m	とても深い	0.8m	方形	
210	28070	105900	詳細測量	中型	一辺 7 m	やや深い	0.4m	不明瞭な方形	皿状の窪み
211	28060	105920	簡易 GPS	中型		やや深い		楕円形	
212	28060	105900	詳細測量	小型	長径 3 m	浅い	0.2m	楕円形	段丘北縁に位置する
213	28060	105890	詳細測量	中型	径 5 m	やや深い	0.5m	円形	段丘北縁に位置する
214	28070	105860	簡易 GPS	中型		とても深い		不明瞭な方形	
215	28060	105860	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭	
216	28050	105850	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	一部埋められる
217	28050	105850	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭	
218	28060	105840	簡易 GPS	中型		深い		方形	
219	28070	105840	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭	
220	28060	105850	簡易 GPS	大型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する
221	28140	105830	簡易 GPS	大型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する
222	28070	105830	簡易 GPS	中型		浅い		不整形	竪穴群の北縁に位置する
223	28060	105830	簡易 GPS	特大型		深い		方形	
224	28060	105820	簡易 GPS	中型		深い		方形	
225	28070	105820	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する
226	28060	105820	簡易 GPS	小型		深い		円形	
227	28050	105820	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	
228	28050	105820	簡易 GPS	小型		浅い		楕円形	
229	28040	105820	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭な方形	
230	28040	105820	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	231と同規模
231	28030	105820	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	230と同規模
232	28020	105830	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭な方形	皿状の窪み
233	28020	105830	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
234	28010	105830	簡易 GPS	中～大型		浅い		方形	
235	28010	105830	簡易 GPS	小～中型		やや深い		方形	
236	28020	105830	簡易 GPS	小型		やや深い		方形	
237	28020	105820	簡易 GPS	小型		深い		不明瞭な方形	
238	28000	105820	簡易 GPS	大型		浅い		方形	中心部に立木
239	28000	105830	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭な方形	238を切る
240	28000	105820	簡易 GPS	小型		やや深い		不明瞭な円形	中心部に立木
241	27990	105820	簡易 GPS	大型		深い		方形	
242	27990	105820	簡易 GPS	大型		深い		方形	
243	28000	105810	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	
244	28010	105810	簡易 GPS	特大型		やや深い		方形	
245	28010	105810	簡易 GPS	大型		深い		方形	
246	28030	105800	簡易 GPS	中～大型		深い		不明瞭な方形	
247	28040	105810	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
248	28040	105810	簡易 GPS	中型		深い		不整形	
249	28050	105810	簡易 GPS	小型		やや深い		方形	
250	28050	105810	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	
251	28050	105810	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
252	28060	105810	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
253	28080	105810	簡易 GPS	大型		浅い		方形	竪穴群の北縁に位置する
254	28080	105800	簡易 GPS	中型		浅い		方形	竪穴群の北縁に位置する
255	28070	105800	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
256	28070	105800	簡易 GPS	小～中型		浅い		長方形	
257	28050	105800	簡易 GPS	特大型	一辺10m	深い		方形	
258	28040	105800	簡易 GPS	中型		深い		方形	
259	28040	105800	簡易 GPS	小型		浅い		方形	
260	28040	105810	簡易 GPS	小型		浅い		長方形	
261	28030	105800	簡易 GPS	小型		浅い		長方形	
262	28020	105800	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	中心部に立木
263	28020	105800	簡易 GPS	小～中型		浅い		方形	
264	28010	105800	簡易 GPS	中～大型		やや深い		方形	中心部に立木
265	28000	105790	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
266	28020	105790	簡易 GPS	中～大型		やや深い		方形	
267	28030	105780	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	
268	28030	105790	簡易 GPS	小～中型		やや深い		方形	
269	28030	105780	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
270	28040	105780	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
271	28040	105790	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
272	28050	105780	簡易 GPS	大型		深い		方形	
273	28060	105790	簡易 GPS	小型		やや深い		方形	
274	28060	105790	簡易 GPS	小型		浅い		方形	
275	28070	105790	簡易 GPS	小型		浅い		方形	
276	28080	105790	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
277	28090	105790	簡易 GPS	中型		浅い		方形	細い踏み分け道が通る
278	28090	105800	簡易 GPS	小型		浅い		円形	竪穴群の北縁に位置する
279	28100	105780	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	竪穴群の北縁に位置する
280	28090	105780	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	細長い形状に特徴がある
281	28100	105770	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	竪穴群の北縁に位置する
282	28090	105770	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	竪穴群の北縁に位置する
283	28100	105770	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	竪穴群の北縁に位置する
284	28100	105760	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	竪穴群の北縁に位置する
285	28100	105760	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
286	28090	105750	簡易 GPS	中型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する
287	28100	105750	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する 旧調査時の318号の可能性が有る
288	28090	105740	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	竪穴群の北縁に位置する
289	28100	105730	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	竪穴群の北縁に位置する

Ⅲ 湧別町シブノツナイ堅穴住居群の調査

堅穴 確認番号	堅穴位置 X 座標	堅穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
290	28090	105720	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	堅穴群の北縁に位置する
291	28080	105710	簡易 GPS	特大型		深い		方形	堅穴群の北縁に位置する
292	28080	105690	簡易 GPS	中型		深い		方形	堅穴群の北縁に位置する
293	28080	105680	簡易 GPS	小型		深い		円形	堅穴群の北縁に位置する
294	28090	105770	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	堅穴群の北縁に位置する
295	28090	105660	簡易 GPS	小型		やや深い		方形	
296	28080	105660	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
297	28080	105660	簡易 GPS	特大型		浅い		多角形	堅穴群の最西端に位置する
298	28080	105680	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
299	28070	105680	簡易 GPS	中型		深い		方形	埋められている
300	28070	105690	簡易 GPS	大型		深い		方形	
301	28070	105700	簡易 GPS	中～大型		やや深い		方形	
302	28060	105700	簡易 GPS	特大型		深い		方形	
303	28060	105680	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	シダ林の中
304	28050	105690	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	防風林内に所在
305	28040	105670	簡易 GPS	大型		深い		方形	防風林内に所在
306	28040	105680	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	防風林内に所在
307	28030	105690	簡易 GPS	大型		深い		方形	防風林内に所在
308	28040	105690	簡易 GPS	中型		深い		方形	防風林内に所在
309	28040	105700	簡易 GPS	大型		深い		方形	防風林内に所在
310	28040	105710	簡易 GPS	大型		深い		方形	
311	28050	105700	簡易 GPS	中～大型		深い		不明瞭な方形	
312	28050	105710	簡易 GPS	小～中型		やや深い		円形	
313	28040	105720	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
314	28030	105730	簡易 GPS	特大型	最長12m	深い		不明瞭な六角形	シダ林の中
315	28040	105730	簡易 GPS	小～中型		浅い		不明瞭	
316	28050	105730	簡易 GPS	大型		深い	1.0m	方形	
317	28060	105740	簡易 GPS	中型		やや深い		楕円形	
318	28060	105740	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	
319	28070	105730	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
320	28070	105720	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	
321	28060	105720	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
322	28060	105710	簡易 GPS	小型	径 1 m	やや深い		円形	
323	28070	105740	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
324	28070	105750	簡易 GPS	中型		深い		方形	
325	28080	105740	簡易 GPS	中型		深い		方形	
326	28080	105750	簡易 GPS	小～中型		浅い		不明瞭な方形	
327	28090	105740	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
328	28090	105740	簡易 GPS	中型		浅い		楕円形	
329	28080	105730	簡易 GPS	大型		深い		方形	
330	28090	105700	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
331	28090	105750	簡易 GPS	小～中型		やや深い		方形	
332	28090	105760	簡易 GPS	小型		やや深い		不整形	細長い形状に特徴がある
333	28080	105760	簡易 GPS	小～中型		浅い		円形	底面中央がマウンド状
334	28080	105760	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
335	28070	105760	簡易 GPS	中型		深い		方形	
336	28070	105760	簡易 GPS	中型		深い		方形	
337	28070	105750	簡易 GPS	小～中型		深い		不明瞭な方形	
338	28070	105750	簡易 GPS	小～中型		深い		不整形	
339	28050	105750	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
340	28060	105760	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	中心部に立木
341	28050	105760	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
342	28050	105760	簡易 GPS	中型		深い		方形	
343	28040	105750	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	
344	28040	105750	簡易 GPS	中型		とても深い		方形	
345	28040	105760	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
346	28050	105770	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
347	28050	105780	簡易 GPS	中型		深い		方形	
348	28060	105770	簡易 GPS	中型		深い		方形	
349	28070	105770	簡易 GPS	中型		深い		方形	
350	28070	105770	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
351	28080	105770	簡易 GPS	大型		深い		方形	
352	28080	105780	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
353	28070	105780	簡易 GPS	小～中型		やや深い		方形	
354	28070	105780	簡易 GPS	小型		浅い		楕円形	
355	28070	105770	簡易 GPS	小～中型		深い		不明瞭な方形	
356	28060	105780	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭な方形	細長い形状に特徴がある
357	28070	105780	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
358	28070	105780	簡易 GPS	小型		深い		不明瞭	
359	28080	105790	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	堅穴群の北縁に位置する
360	28050	105780	簡易 GPS	中～大型		深い		不明瞭な方形	
361	28030	105790	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭な方形	
362	28040	105770	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
363	28030	105780	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
364	28030	105770	簡易 GPS	小～中型		深い		不明瞭な方形	
365	28020	105770	簡易 GPS	小～中型		深い		方形	旧調査時の238号堅穴の可能性ある
366	28030	105800	簡易 GPS	小型		浅い		不整形	細長い形状に特徴がある
367	28040	105830	簡易 GPS	中型		深い		方形	
368	28040	105840	簡易 GPS	大型		深い		方形	
369	28040	105840	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭な方形	
370	28010	105840	簡易 GPS	小～中型		やや深い		楕円形	
371	28030	105840	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
372	28000	105870	簡易 GPS	小～中型		やや深い		不明瞭な方形	
373	28000	105870	簡易 GPS	大型		深い		方形	

重要遺跡確認調査報告書

竪穴 確認番号	竪穴位置 X 座標	竪穴位置 Y 座標	測量種別	規模 (観察)	規模 (計測値)	深さ (観察)	深さ (計測値)	平面形状	特記
374	27990	105860	簡易 GPS	大型		浅い		方形	
375	27980	105860	簡易 GPS	小型		浅い		楕円形	
376	27980	105860	詳細測量	中型	一辺 6 m	やや深い	0.5m	方形	
377	27980	105850	詳細測量	中型	径 5 m	やや深い	0.4m	円形	
378	27970	105860	簡易 GPS	小型		やや深い		楕円形	
379	27970	105870	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
380	27990	105870	簡易 GPS	中型		浅い		方形	
381	27960	105850	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	
382	27960	105850	詳細測量	小型	5 * 3 m	やや深い	0.4m	楕円形	砂利道際の排水路に加工
383	27960	105830	簡易 GPS	大型		深い		不明瞭な方形	砂利道で一部埋められる
384	28000	105880	簡易 GPS	中型		浅い		方形	防風林内に所在
385	27970	105830	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	防風林内に所在
386	27970	105830	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	防風林内に所在
387	27960	105820	簡易 GPS	大型		深い		方形	
388	27960	105830	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な方形	中心部に立木
389	27950	105810	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	
390	27940	105820	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭	中心部に立木
391	27940	105800	簡易 GPS	中型		浅い		方形	中心部に立木
392	27950	105790	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	中心部に立木
393	27960	105790	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な円形	中心部に立木
394	27960	105780	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	中心部に立木
395	27940	105780	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
396	27970	105770	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	中心部に立木
397	27980	105770	簡易 GPS	特大型		やや深い		方形	中心部に立木
398	27980	105790	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	中心部に立木
399	27980	105810	簡易 GPS	大型		やや深い		方形	中心部に立木
400	27990	105790	簡易 GPS	特大型		やや深い		方形	中心部に立木
401	27990	105780	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	中心部に立木
402	27980	105780	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
403	27990	105760	簡易 GPS	小型		浅い		方形	
404	27990	105770	簡易 GPS	小型		深い		方形	
405	28000	105750	簡易 GPS	中～大型		やや深い		方形	中心部に立木
406	27990	105740	簡易 GPS	中型		浅い		方形	中心部に立木
407	27980	105730	簡易 GPS	小型		やや深い		不明瞭な方形	
408	27990	105720	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	牧場を望む側
409	28000	105730	簡易 GPS	中～大型		浅い		方形	中心部に立木
410	28020	105730	簡易 GPS	大型		やや深い		不整形	
411	28020	105740	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	
412	28030	105760	簡易 GPS	特大型		深い		方形	
413	28030	105740	簡易 GPS	小型		やや深い		不明瞭	
414	28020	105710	簡易 GPS	中型		やや深い		方形	
415	28020	105700	簡易 GPS	中～大型		やや深い		方形	
416	28010	105700	簡易 GPS	特大型		やや深い		多角形	皿状の掘り込み、オホーツク文化期のものか
417	28000	105690	簡易 GPS	小型		浅い		円形	
418	27950	105880	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭	砂利道で一部埋められる
419	27950	105890	簡易 GPS	中型		深い		不明瞭な方形	
420	27950	105870	簡易 GPS	大型		深い		方形	
421	27950	105850	簡易 GPS	大型		深い		不明瞭な方形	一部砂利道
422	27940	105850	簡易 GPS	特大型		深い		方形	砂利道南側の林内
423	27930	105840	簡易 GPS	中～大型		浅い		不明瞭な方形	
424	27920	105860	簡易 GPS	小型		浅い		円形	土坑の可能性もある
425	27940	105880	簡易 GPS	大型		深い		方形	
426	27940	105890	簡易 GPS	大型		深い		方形	
427	27940	105880	簡易 GPS	小型		やや深い		不明瞭	
428	27940	105890	簡易 GPS	小～中型		深い		方形	
429	27940	105890	簡易 GPS	中～大型		深い		方形	中心部に立木
430	27960	105910	簡易 GPS	中型		やや深い		不明瞭な方形	砂利道で一部埋められる
431	27940	105920	簡易 GPS	小型		深い		不明瞭	
432	28040	105920	簡易 GPS	小型		浅い		不明瞭な円形	
433	28050	105920	簡易 GPS	小～中型		浅い		不明瞭な円形	
434	28050	105920	簡易 GPS	中型		浅い		不明瞭な円形	
435	28060	105920	簡易 GPS	小～中型		浅い		楕円形	
規模のめやす 特大（径または一辺が10mを超えるもの） 大（8～10mのもの） 中（5～8mのもの） 小（5mを下回るもの）									
深さのめやす（竪穴の底面から堀上土上面までの高さ） 特に深い（1mを超えるもの） 深い（0.8～1mのもの） やや深い（0.5～0.8mのもの） 浅い（0.5～0.3mのもの）									

写真図版



1 遺跡遠景（南東から）



2 「史跡」地区西側段丘崖（西から）

図版Ⅱ－1 東山1遺跡の立地環境



1 東から



2 西から



1 トレンチ2調査状況（東から）



2 トレンチ5調査状況（東から）



3 トレンチ3調査状況（東から）



4 トレンチ1（東から）



1 トレンチ 2 (西から)



2 トレンチ 3 (西から)



3 トレンチ 4 (西から)



4 トレンチ 5 (西から)



1 テストピット1（北西から）



2 テストピット3（北から）



3 テストピット2（東から）



4 テストピット2土層断面（西から）



5 テストピット4（南から）



6 テストピット5（北西から）



1 調査前状況（南から）



2 トレンチ調査状況（北から）



3 トレンチ完掘状況（北から）



4 トレンチ北側完掘状況（南から）



1 盛土遺構遺物出土状況（南から）



2 トレンチ北側完掘状況（南から）



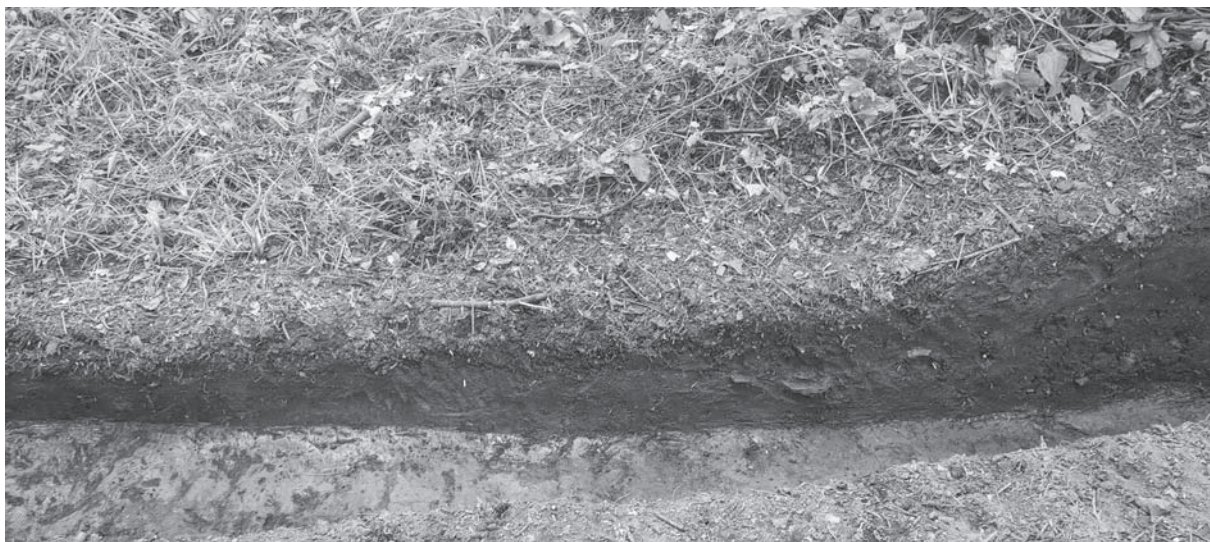
3 トレンチ北側遺構確認状況（南から）



4 トレンチ南側完掘状況（北から）



1 トレンチ北側盛土遺構土層断面（西から）



2 トレンチ中央旧調査部土層断面（西から）



3 トレンチ南側盛土遺構土層断面（西から）



1 「史跡」地区（東から）



2 「史跡」地区作業状況（東から）



3 「第2地点」地区作業状況（西から）



4 「第2地点」地区トレンチ1（西から）



A-5



A-6



A-7



A-9



A-10



A-13



A-17



A-14



A-18



A-15



A-19



A-22



A-23



A-21



A-24



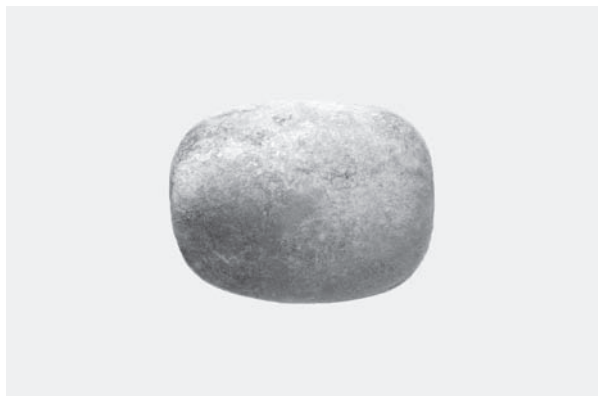
A-25



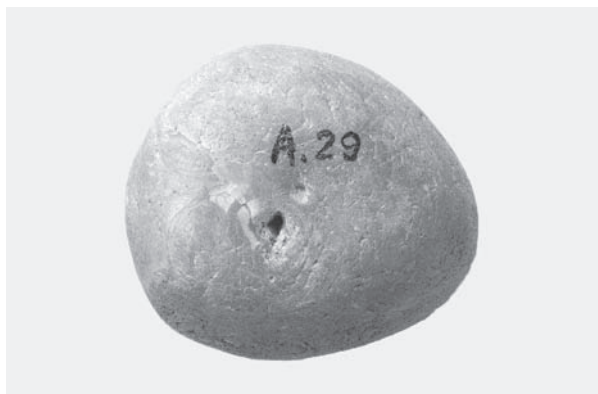
A-26



A-27



A-28



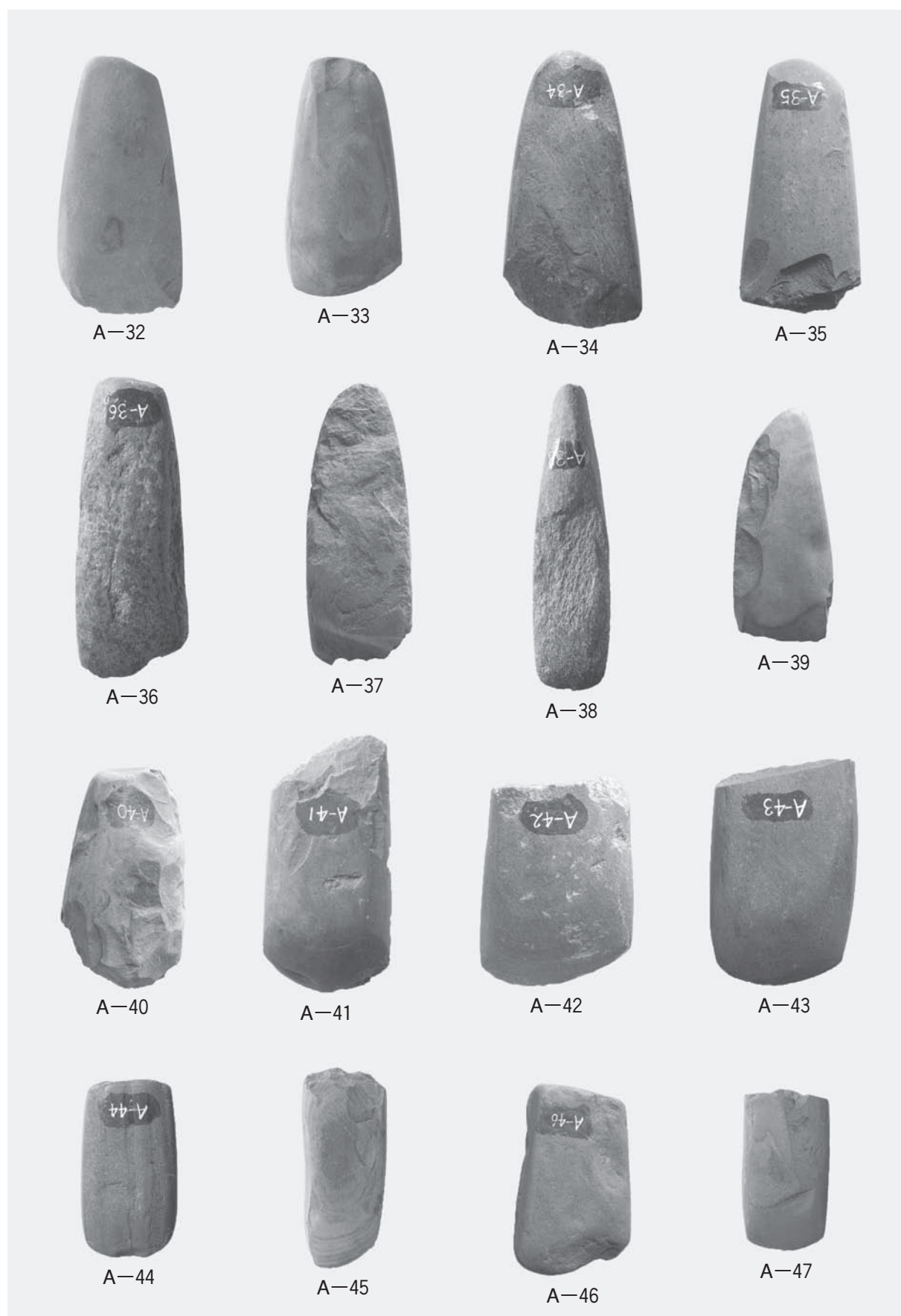
A-29



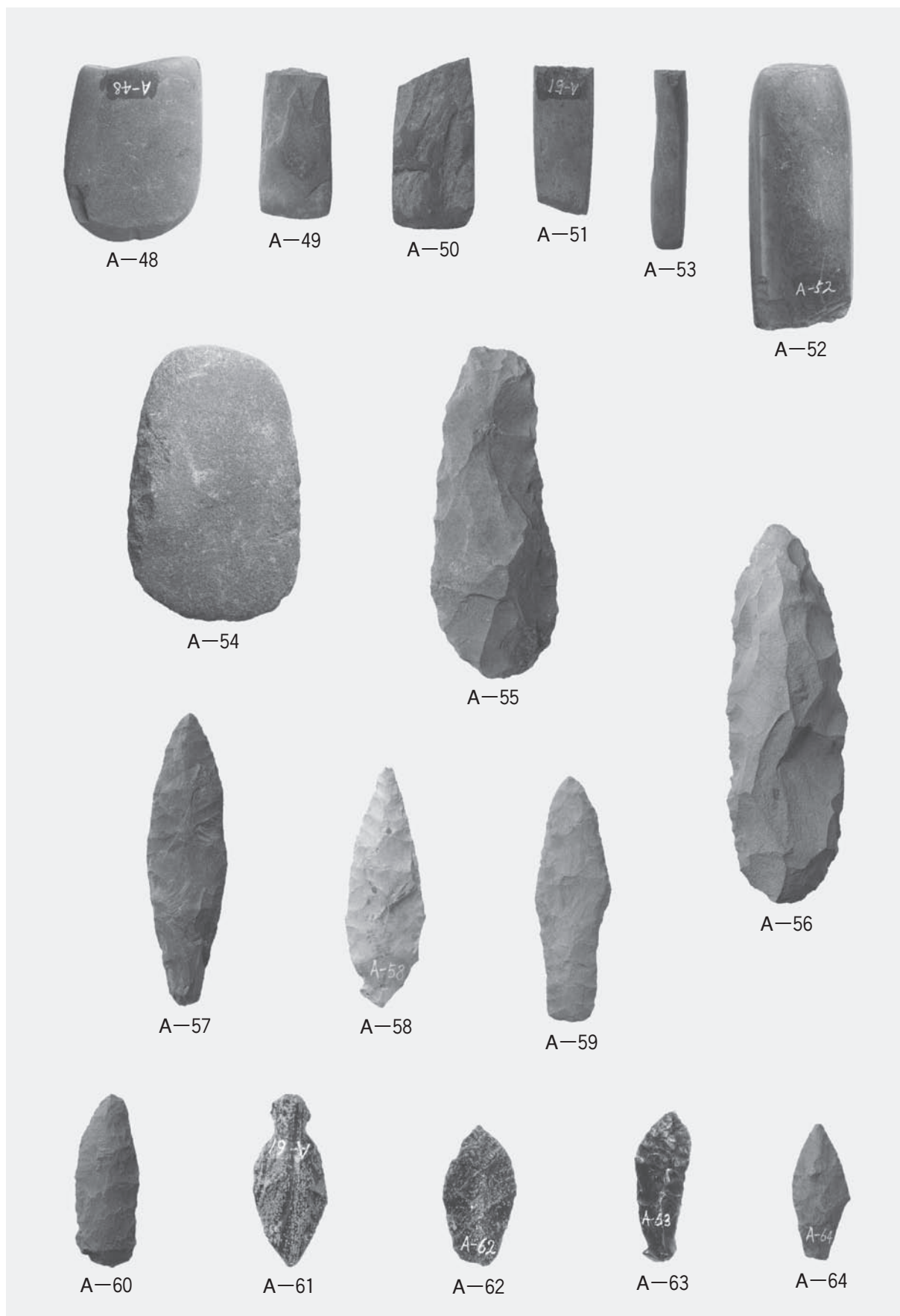
A-30



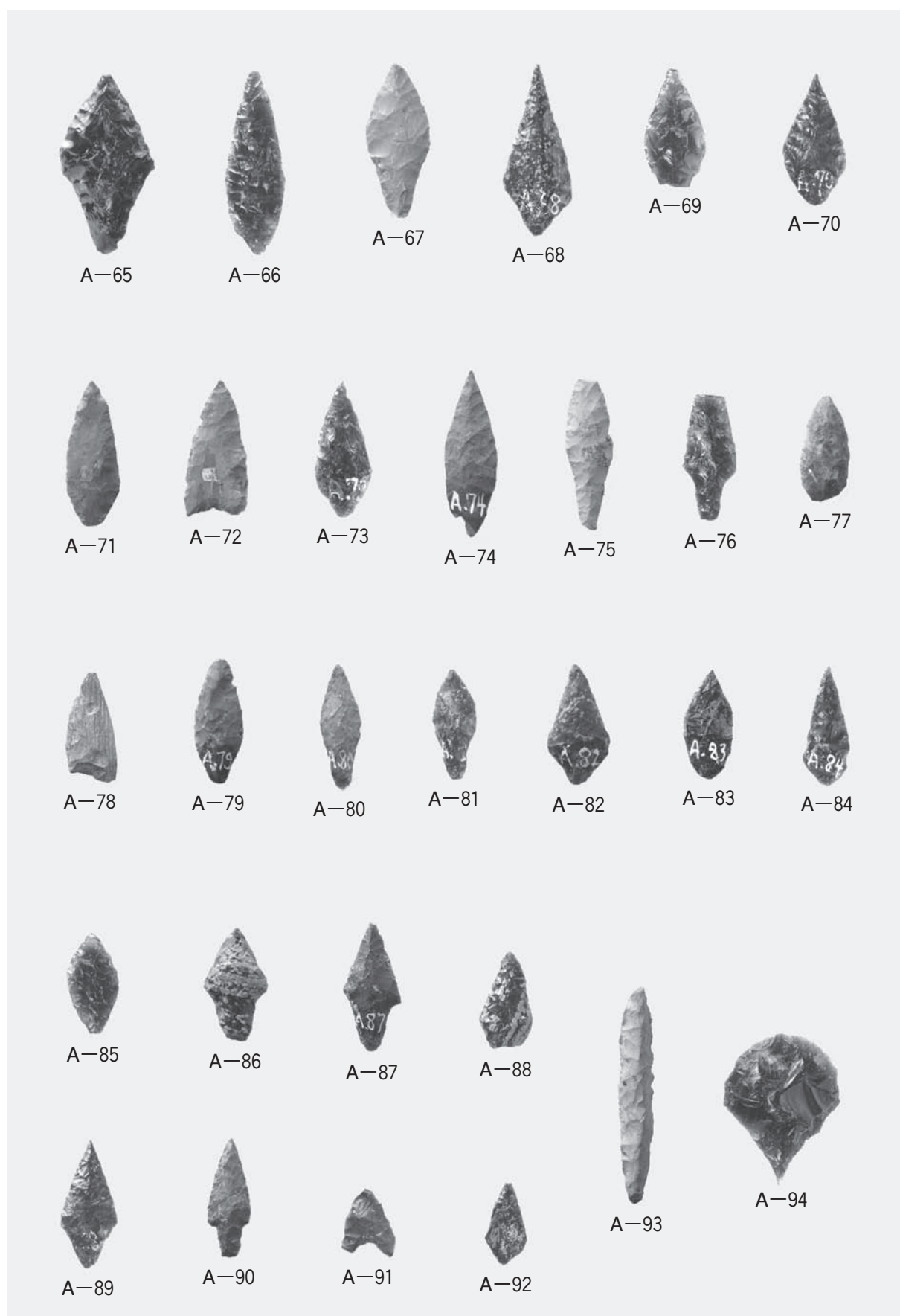
A-31



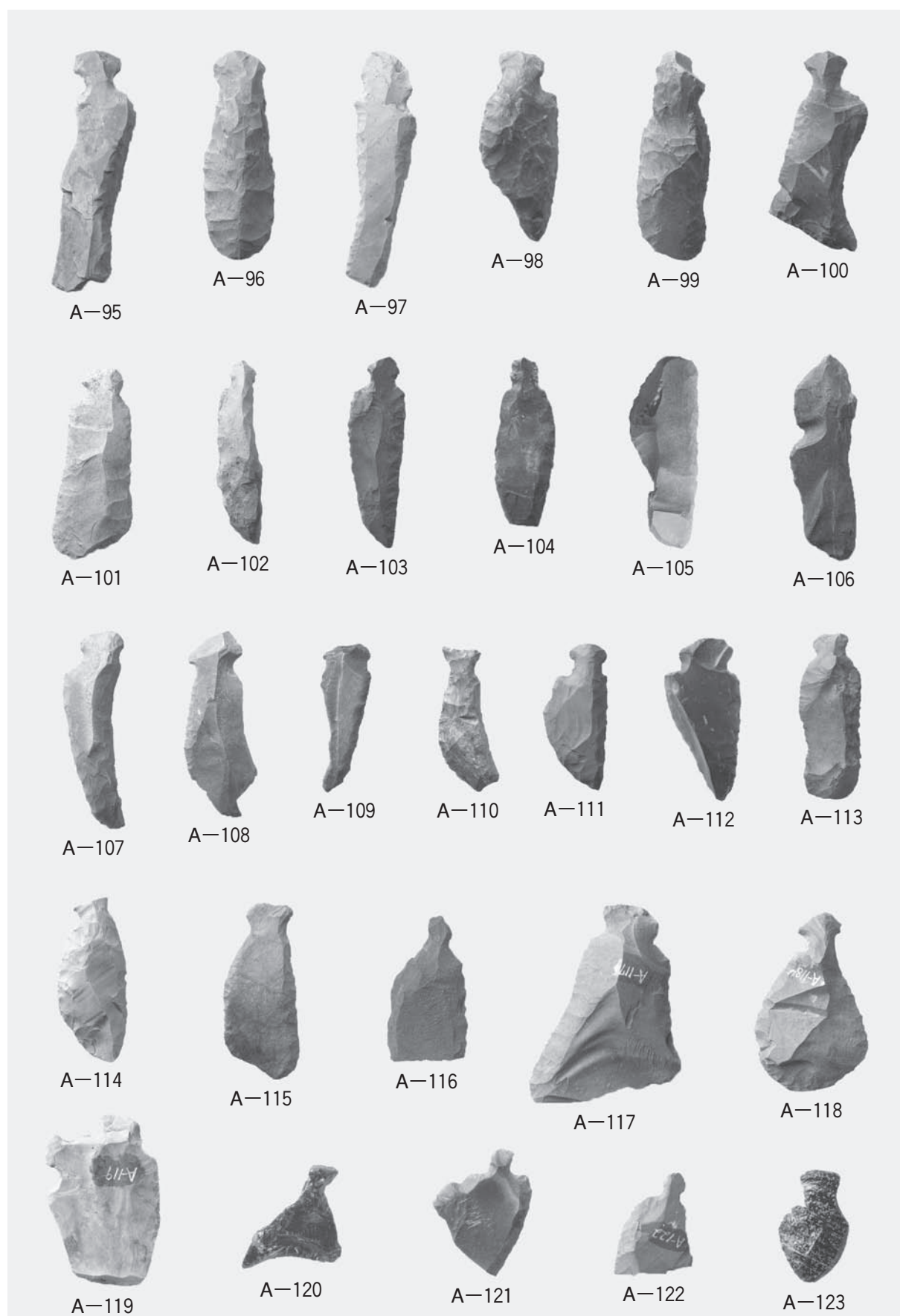
図版Ⅱ—14 道指定有形文化財(5)石器



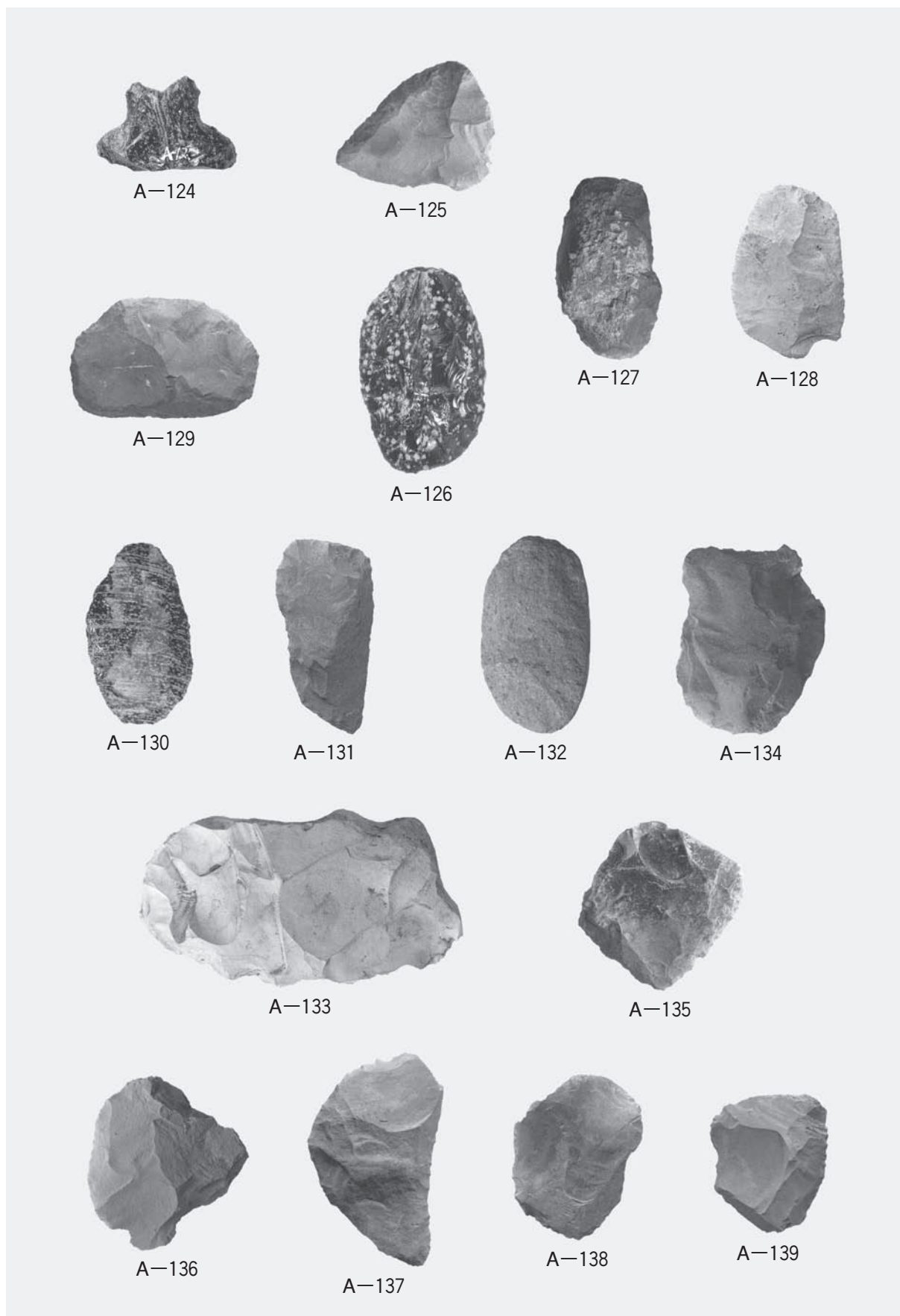
図版Ⅱ—15 道指定有形文化財(6)石器



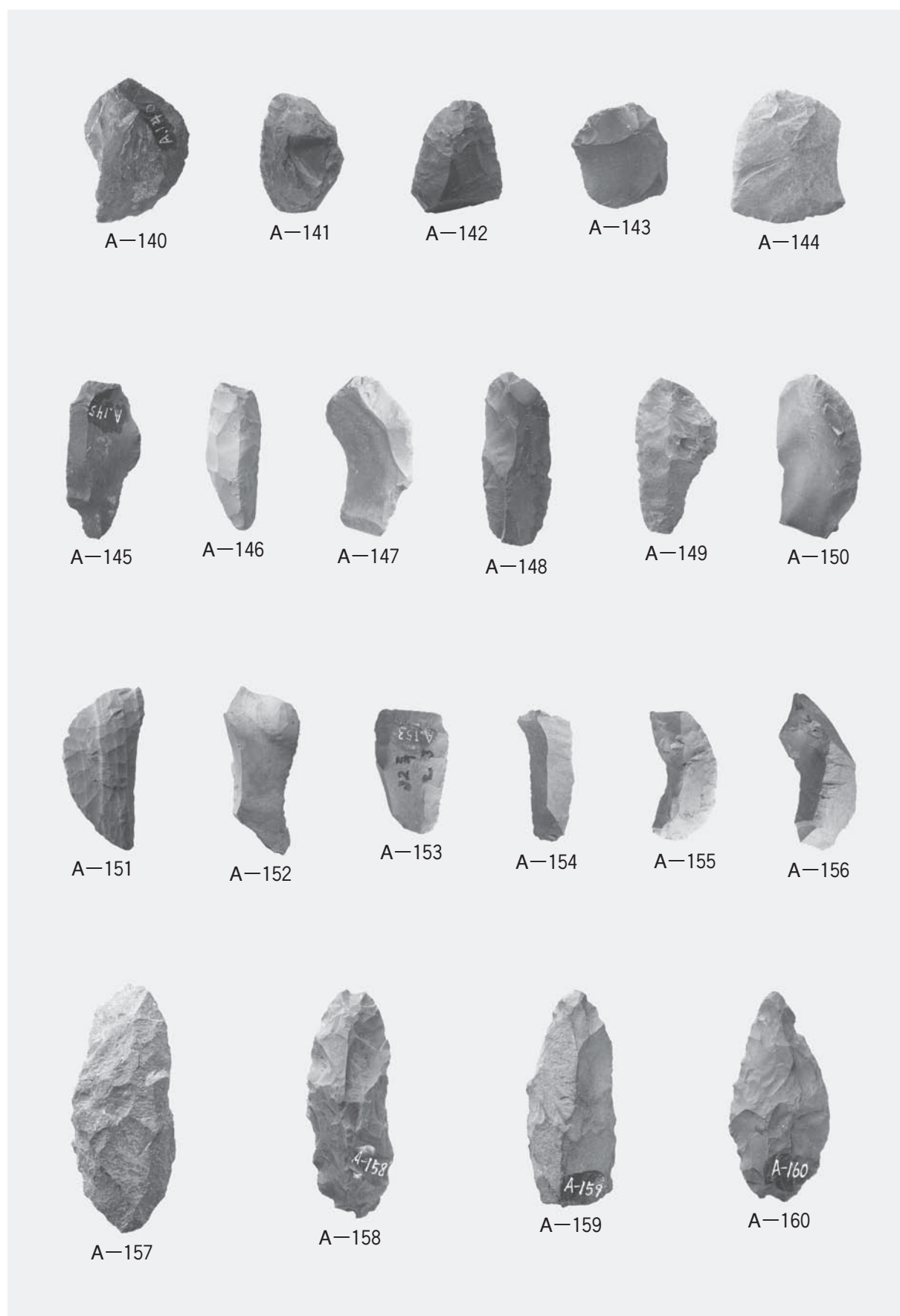
図版Ⅱ-16 道指定有形文化財(7)石器



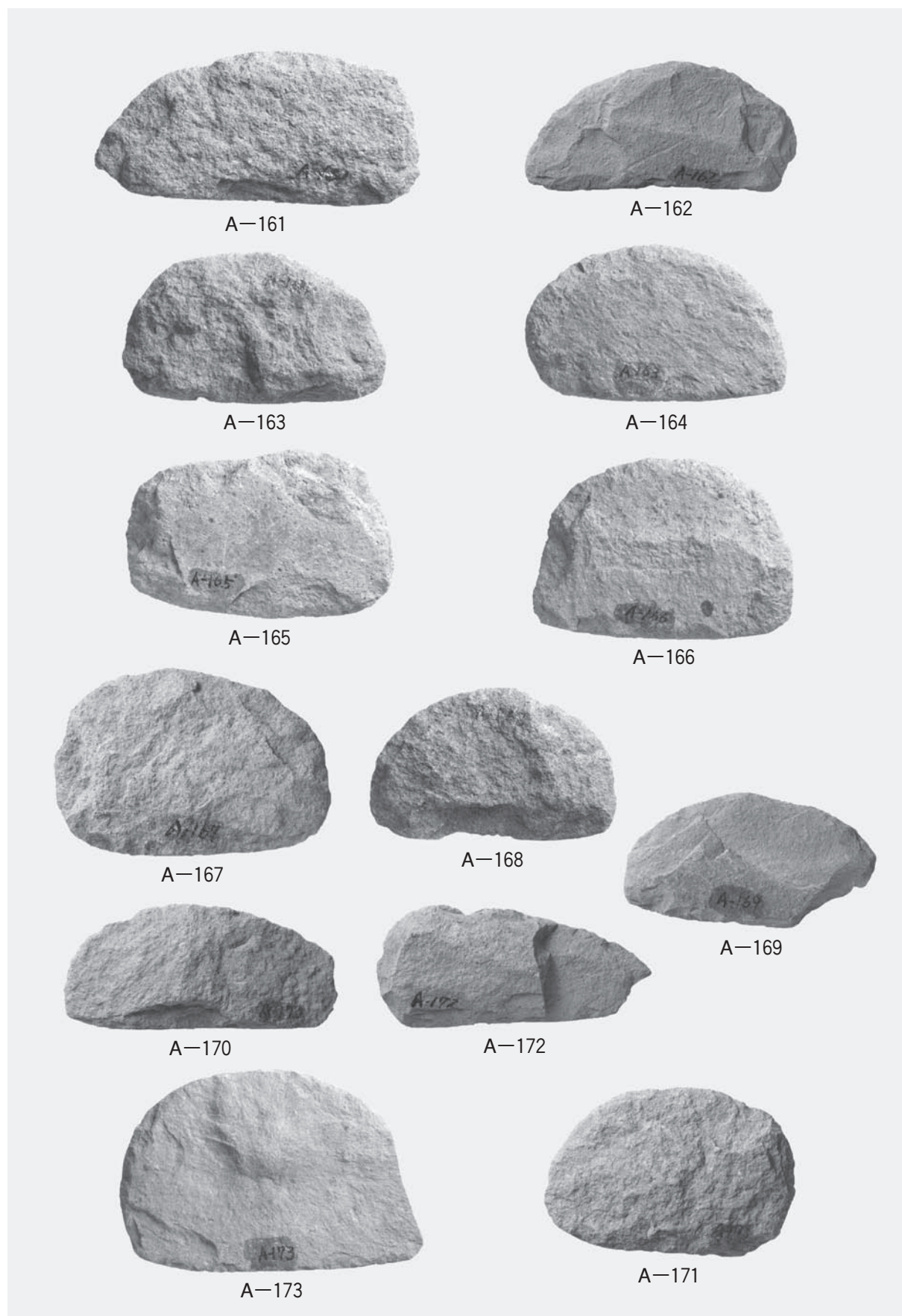
図版Ⅱ-17 道指定有形文化財⁽⁸⁾石器



図版Ⅱ-18 道指定有形文化財(9)石器



図版Ⅱ-19 道指定有形文化財(10)石器



図版Ⅱ—20 道指定有形文化財(11)石器



A-174



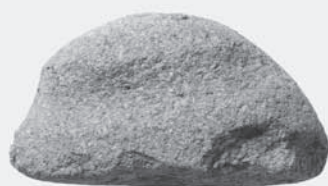
A-175



A-176



A-177



A-178



A-179



A-180



A-181



A-182



A-183



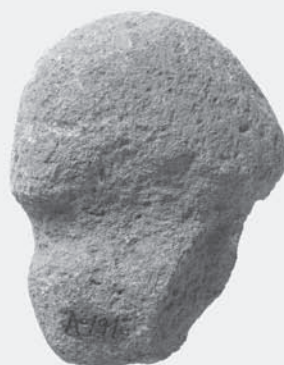
A-184



A-185



A-186



A-191



A-187



A-188



A-190



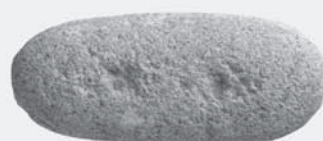
A-192



A-193



A-195



A-194



A-189



第2地点の調査



第2地点の調査



第1地点と思われる調査状況



第1地点内の住居跡



1 オホーツク海とシブノツナイ竪穴住居群（西から）



2 シブノツナイ湖（西から）

図版Ⅲ－1 シブノツナイ竪穴住居群の立地環境



1 豎穴群東縁（北から）



2 豎穴群北東縁（西から）

図版Ⅲ－2 豎穴群の概況(1)



1 竪穴群中央部東寄り（東から）



2 竪穴群中央部西寄り（西から）



1 豎穴群南西部防風林内の状況（西から）



2 豎穴群西側段丘縁の状況（西から）



1 第8号（中型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群東端部分 北から）



2 第21号（大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群東部分 北から）



1 第121号（特大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群東部分 東から）



2 第105号（大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群北東部分 西から）



1 第144号（特大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群中央部分 北西から）



2 第189号（大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群北部分 北東から）

図版Ⅲ－7 竪穴群の状況(3)



1 第177号（特大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群北東部分 北から）



2 第268号（大型）竪穴周辺の竪穴群（竪穴群西部分 西から）



1 豎穴群西部（西から）



2 豎穴群西部（西から）



1 残雪時の竖穴（竖穴群西部 西から）



2 台風直後の竖穴（竖穴群北東部 南西から）



1 詳細測量の状況（南から）



2 放牧時の状況（南から）

報 告 書 抄 録

ふ り が な	ほっかいどうりつまいぞうぶんかざいせんたー じゅうよういせきかくにんちょうさほうこくしょ							
書 名	北海道立埋蔵文化財センター 重要遺跡確認調査報告書							
副 書 名	岩内町東山1 遺跡 湧別町シブノツナイ 竪穴住居群							
巻 次								
シ リ ー ズ 名								
シリーズ番号	第11集							
編 著 者 名	藤井浩 吉田裕吏洋							
編 集 機 関	北海道立埋蔵文化財センター指定管理者 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター							
所 在 地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 TEL 011-386-3231							
発 行 年 月 日	西暦 2016年 3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
りがしやま いせき 東山1 遺跡 (道指定史跡 いわないりがしやまえんとう 岩内東山円筒 ぶんかいせき 文化遺跡)	ほっかいどういわないぐん 北海道岩内郡 いわないちようあざりがしやま 岩内町字東山 ばんち 2番地1、 ばんち 14番地1	01402	D-13-01	42度 59分 8.67秒	140度 31分 36.33秒	2015 0723 ～ 2015 0807 (発掘調査)	60㎡ (トレンチ 調査等 面積)	詳細分布 調査 (重要遺跡 確認調査)
				2番地1(中央部)				
				42度 59分 1.21秒	140度 31分 33.90秒			
				14番地1(中央部)				
しぶのつな シブノツナイ たてあなじょうきょぐん 竪穴住居群 (道指定史跡 いわたにりがしやまえんとう シブノツナイ たてあなじょうきょぐん 竪穴住居跡)	ほっかいどうゆうべつぐん 北海道湧別郡 ゆうべつちようあざかわにし 湧別町字川西 499-1・2、930、 722-1・2・3、 720、719、503、 502-1・2、714、 ばんち 717、718番地	01559	I-21-35	44度 14分 40.14 秒	143度 34分 32.56 秒	2015 1001 ～ 2015 1009	139,486㎡ (史跡指定 範囲及び 測量範囲)	詳細分布 調査 (重要遺跡 確認調査)
				史跡範囲内 中央部				
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
岩内町 東山1 遺跡 (道指定史跡 岩内東山円筒 文化遺跡を 含む)	集落跡	縄文時代前期 ～中期		盛土遺構 1 土坑 6		縄文土器 (円筒土器 下層式～上層式) 石器 (北海道式石冠、 扁平打製石器など礫 石器多数)		
湧別町 シブノツナイ 竪穴住居群 (道指定史跡 シブノツナイ 竪穴住居跡)	集落跡	擦文文化期ほ か		竪穴を435か所確認した。 多角形の大規模な竪穴 や張り出し部のある竪穴 なども確認できた。				測量調査 (分布調査と 詳細測量)

北海道立埋蔵文化財センター
重要遺跡確認調査報告書 第11集

発行年月日 平成28年 3 月31日

編集 北海道立埋蔵文化財センター指定管理者
公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター

発行 北海道立埋蔵文化財センター

〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1

TEL 011-386-3231 FAX 011-386-3238

URL <http://www.domaibun.or.jp>

印刷：社会福祉法人 北海道リハビリー

〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1

TEL 011-375-2116(代)・FAX 011-375-2115
